

MEGASOFT®

STARFAX® **パーソナル**

ユーザーズ・マニュアル

STARFAX[®] **パーソナル**

ユーザーズ・マニュアル

■おことわり

- ・本書の内容の全部または一部を弊社に無断で転載、あるいは複製することは、法令に別段の定めのある他は、固く禁じられております。
- ・本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更することがあります。
- ・本書の内容につきましては万全を期して制作しておりますが、万一分りにくい点や記載もれなどお気づきの点がございましたら、メガソフト株式会社ユーザーサポート係までご連絡ください。
- ・本製品を使用した事によるお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品をご利用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。インストール中に表示される許諾条項同意のダイアログで、 はい いいえ をクリックし、インストールを継続した時点で、同条項へのご同意があったものとさせていただきます。

版權所有 平成15年メガソフト株式会社

(C)2003 by MEGASOFT Inc. All rights reserved.

■ユーザー登録のご案内

本書の最後のページにありますユーザー登録ハガキまたは、弊社ホームページから、かならずご登録ください。

ご登録いただかない場合は、ユーザーサポート、バージョンアップなどのサービスをご利用いただけません。

■商標について

STARFAX、筆美人、MEGASOFTは、メガソフト株式会社の登録商標です。

以下の商標名などは、各社の商標または登録商標です。

- ・ NEC、PC-NX：日本電気株式会社
- ・ Microsoft®、Windows®：米国Microsoft Corporation
- ・ Outlook®、Outlook Express：米国Microsoft Corporation
- ・ Office：米国Microsoft Corporation
- ・ Word、Excel：米国Microsoft Corporation
- ・ 筆まめ：株式会社クレオ

その他、記載されている会社名、製品名などは各社の商標または登録商標です。

このたびは、STARFAXパーソナル（以下「STARFAX」と表記）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、お手元のパーソナルコンピュータ（以下「パソコン」と呼ぶ）をファクシミリとしてお使いいただくためのアプリケーションです。

日本語 Microsoft®Windows®98/Windows®Me/Windows®2000/Windows®XP®上で動作するアプリケーションで作成した文書、図、表などのファイルを電話回線やインターネットを通して、直接相手先のファクシミリ機やパソコンに送ることができます。

STARFAXには、以下の特長があります。

●パソコンで作成した文書をその場でFAX送信

パソコンで作成した文書をプリンタに印刷する感覚で、相手先のファクシミリ機に送ることができます。

FAXデータを相手先のファクシミリ機に送ると、紙の汚れやカスレ、ゆがみの無い鮮明な文書を届けることができ、プリンタで印刷してFAX作業を行う手間と時間が省けます。

●パソコンで受信文書の確認

FAXの受信にSTARFAXを利用すると、直接パソコンでFAXデータの確認ができ、用紙コストの削減が可能になります。

受信したFAXデータは、必要に応じて検索して再確認ができます。

また、受信したFAXデータにコメントをつけて返信することもできます。もちろん、プリンタで印刷することも可能です。

このユーザーズマニュアルでは、STARFAXをパソコンにインストールする手順と操作手順について説明しています。

お使いになる前に「STEP 1 STARFAXの準備をしましょう」で機器構成や動作環境を確認してください。

また、STEP 1に記載の手順に従ってSTARFAXをインストールしてください。

■このユーザーズマニュアルについて

このユーザーズマニュアルでは、STARFAXをお使いいただくための基本的な操作手順について説明しています。

実際に操作を行いながら、STARFAXの基礎知識を身につけていただくことができます。

また、日常でSTARFAXを活用する具体的なヒントについて説明しています。

このユーザーズマニュアルは以下の構成になっています。

- STEP 1. STARFAXを準備しましょう
- STEP 2. STARFAXを使ってみましょう
- STEP 3. STARFAXにはこんな機能もあります

設定を正確にしておけば、送信の段階で、FAX番号を入力したSTARFAXステーション上のボタンを一つクリックするだけで変更することができます。

■ヘルプもご覧ください。

このユーザーズマニュアルには、基本的な送受信とそれに付随する情報を載せています。

あわせて、ヘルプファイルもご覧ください。

■仕様

FAX通信規格	G3 規格準拠
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 (通信相手の状態により自動的に減速)
モデム制御規格	Class1 (EIA-578) Class2 (Rockwell Class2 準拠) Class2.0
通信機能	G3FAX の送受信 MMR/MR/MH 圧縮に対応
送受信原稿サイズ	A3/B4/A4/B5/A5/ステートメント/レター/リーガル/タブロイド (ただし、相手機がそのサイズを受信できない場合は自動で縮小して送信します。)

■動作環境

対応OS	Windows98/Me	Windows2000/XP [※]
対応パソコン	上記OSが動作可能なDOS/Vパソコン、NEC PC-NXシリーズ VM Wareなどのエミュレーション環境上で対応OSを動作させた場合などは、動作環境に含まれません。	
CPU	Pentium II 233MHz 以上。または、OSが必要とする以上のCPU	
必要メモリ	64MB以上	128MB以上
ハードディスク	インストール時 約 200MB の空き容量が必要	
通信機器	Class1、Class2、Class2.0のいずれかに対応したFAX モデムまたは、携帯・PHS用 FAXアダプタが必要	
ディスプレイ	解像度：800×600dpi以上 発色数：3万2千色以上	
サウンドデバイス	音声ガイドを利用するには、サウンドカードおよびスピーカーが必要	

※WindowsXPにはアプリケーションを起動したまま、ログオンユーザーを切り替える機能がありますが、この機能には対応していません。

CONTENTS

STEP 1 STARFAXの準備をしましょう

パソコンにインストールしましょう

- ・ STARFAX旧製品がインストール済みの場合2
- ・ STARFAXのインストール5

環境設定を行いましょ

- ・ パソコン環境の設定10
- ・ FAXモデム・送信元情報の設定12

STEP 2 STARFAXを使ってみましょう

こんなプログラムを使用します

- ・ STARFAXでは、こんなプログラムを使用します.....16

STARFAXで送信しましょう

- ・ 送信原稿の準備18
- ・ 原稿を送信する26
- ・ 送付状の使い方36

STARFAXで受信しましょう

- ・ 自動受信46
- ・ 手動受信48

FAX原稿を表示しましょう

- ・ 受信原稿の表示50
- ・ 受信原稿の印刷52

エージェントフォルダについて

- ・ エージェントフォルダ作成方法54
- ・ エージェントフォルダの削除58

短縮ダイヤルを活用しましょう

- ・ 短縮ダイヤルの詳細60

電話帳を活用しましょう

- ・ 電話帳の詳細62

複数の相手先へ送信しましょう

- ・ 短縮ダイヤルからの同報送信66
- ・ 電話帳からの同報送信68

STEP 3 STARFAXにはこんな機能もあります

ユーティリティプログラム

- ・送付状エディタ72
- ・STARFAX ビューア96
- ・STARFAX ログコピーツール108
- ・住所録コンバータ112
- ・オンラインアップデート118
- ・原稿取り込みツール122

STARFAXのアンインストール.....124

トラブルシューティング

- ・サポートセンターに問い合わせの多い質問130
- ・プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法144
- ・メッセージリスト168

STARFAXのサポート

- ・ユーザーサポートを利用する172
- ・ユーザー登録内容の変更について176

STEP
1

STARFAXの準備をしましょう

パソコンにインストールしましょう

STARFAXをご利用いただくための準備

「接続ガイド」の
3ページをご覧ください

STARFAX旧製品がインストール済みの場合

2
ページ

STARFAXのインストール

5
ページ

環境設定を行いましょ

10
ページ

STARFAX旧製品がインストール済みの場合

STARFAXの旧製品をインストール済みのパソコンへ新たにSTARFAXをインストールする場合は、基本的に上書きインストールを行ってください。

STARFAX旧製品の電話帳や通信ログなどのデータは新たにインストールしたSTARFAXへ引き継がれます。

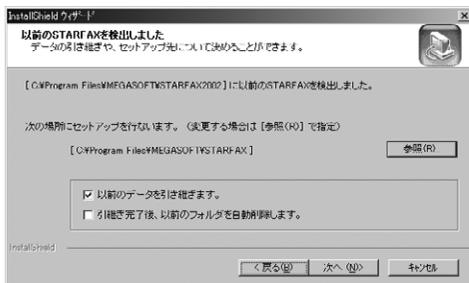
導入先の指定

STARFAX旧製品を検出した場合、下図のような画面が表示されます。

以前のSTARFAXがインストールされているフォルダが選択されており、**次へ(N)>**をクリックすると上書きでインストールされます。



参照(R)をクリックしてインストール先を変更することができます。その場合、[以前のデータを引き継ぎます。]と[引継ぎ完了後、以前のフォルダを自動削除します。]のオプションをそれぞれ選択します。



[以前のデータを引き継ぎます。]のチェックボックスにチェックを入れると、STARFAX旧製品の電話帳などのデータを引き継ぐことができます。[引継ぎ完了後、以前のフォルダを自動削除します。]のチェックボックスにチェックを入れると、STARFAX旧製品を削除します。



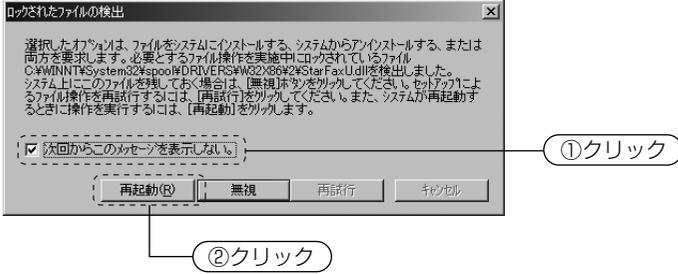
以前のSTARFAXを削除しない場合、STARFAX旧製品のプログラムは残りますが、使用することはできません。

●ロックされたファイルが検出された場合

セットアップ中に「ロックされたファイルの検出」というダイアログが表示されることがあります。



[次回からこのメッセージを表示しない。] にチェックを入れて、**再起動(R)** をクリックします。



ユーザー登録を行う場合は **今すぐ登録する(R)...** をクリックします。ブラウザーが起動して、弊社ホームページのユーザー登録ページが表示されます。
後でユーザー登録を行う場合は **次へ(N)>** をクリックします。



ユーザー登録は後でも行うことができます。

●再起動を促すダイアログが表示された場合



[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して、**完了** をクリックします。



●セットアップの完了

再起動を促すダイアログが表示されない場合は、以下のような画面が表示されます。



完了 をクリックして、インストールを完了します。



[すぐに環境設定を行なう。] にチェックを入れておくと、自動的に環境設定に移ります。
環境設定をしていない場合は、最初に STARFAX プログラムを起動した際、自動的に環境設定に移ります。

STARFAXのインストール

インストール操作方法

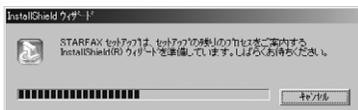
関連項目 旧バージョンのSTARFAXがパソコンにインストールされている場合は、2ページ [STARFAX旧製品がインストール済みの場合] をご覧ください。

操作 パソコンのCD-ROMドライブにSTARFAXのCD-ROMをセットします。

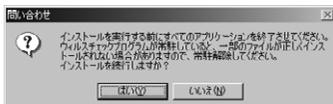
確認 インストールメニューが表示されます。



操作 **STARFAX パーソナル** をクリックします。
セットアップの準備が開始されます。



操作 [問い合わせ] のダイアログが表示されます。
セットアップを続ける場合は、**はい** をクリックします。



NTFSでフォーマットされている、Windows 2000/XPの環境にインストールする場合、Administratorsの権限でログインしてから、インストールを行ってください。



CD-ROMの自動挿入の通知をしない設定になっている場合は、このダイアログは表示されません。この場合は、CD-ROMドライブを開いて出てくるウィンドウの中にあるAutosel.exeを実行してください。



ウイルスチェックプログラムなどが起動している場合に、正しくインストールされない場合があります。[いいえ] をクリックしてインストールを中止し、すべてのアプリケーションを終了してから再度インストールを行ってください。

パソコンにインストールしましょう

STEP 1



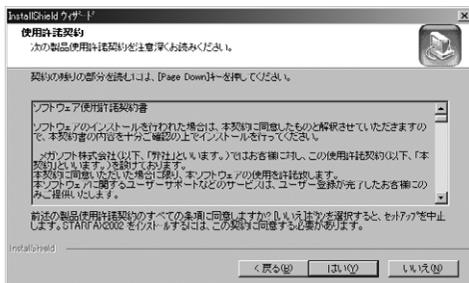
下図の画面が表示されましたら、**次へ(N) >** をクリックします。



使用許諾契約をよくお読みください。使用許諾契約の内容に同意し、STARFAXのインストールを進める場合は、**はい(Y)** をクリックしてください。使用許諾契約の内容に同意できない場合、またはSTARFAXのインストールを中止する場合は、**いいえ(N)** をクリックしてください。



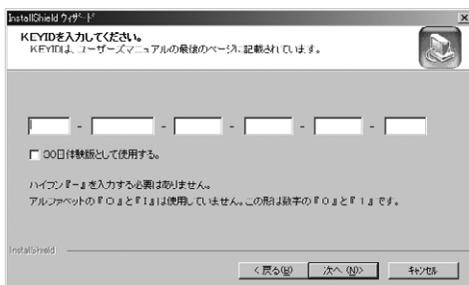
ここで「はい」をクリックし、インストールを進めた時点で、契約に同意したとみなします。



本書の最後のページに記載されているKEYIDを入力し、**次へ(N) >** をクリックします。



KEY IDには、アルファベットのO (オー)とI (アイ)は使用してなりません。この形のもは数字の0 (ゼロ)と1 (いち)です。

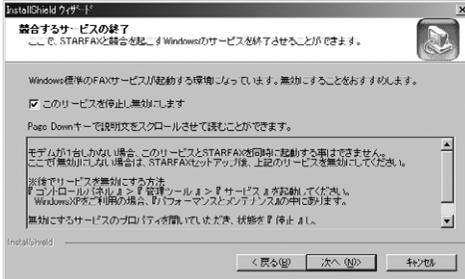


STARFAXと競合を起こすプログラムがすでにインストールされている場合、下図のようなダイアログが表示されます。



操作

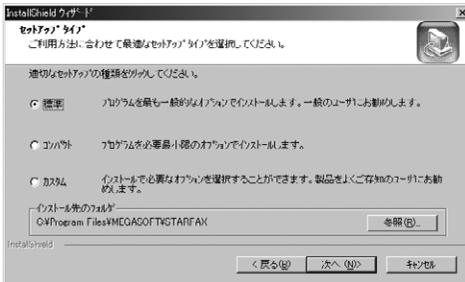
[このサービスを停止し無効にします] のチェックボックスにチェックを入れ、**次へ (N>)** をクリックします。



操作

セットアップのタイプを選択します。
インストール先のフォルダを変更する場合は **参照 (R)...** をクリックします。

次へ (N>) をクリックします。



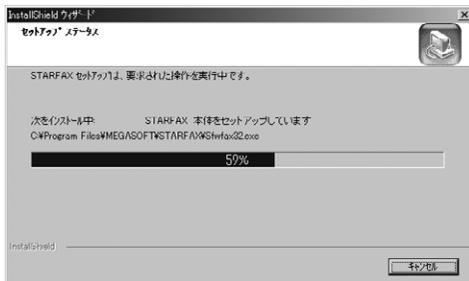
操作

登録するショートカットのチェックボックスにチェックを入れて **次へ (N>)** をクリックします。





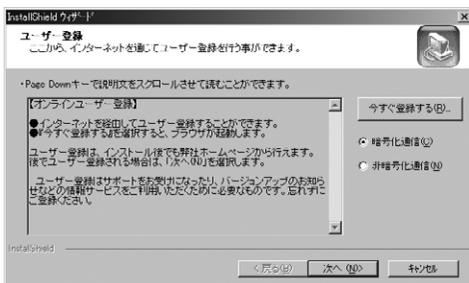
インストールが開始されます。



STARFAXではインストール時に自動的にプリンタドライバが登録されます。再登録する方法については、144ページ [プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法] をご覧ください。



ユーザー登録を行う場合は **今すぐ登録する(B)** をクリックします。ブラウザが起動して、弊社ホームページのユーザー登録ページが表示されます。後でユーザー登録を行う場合は **次へ(N)** をクリックします。



ユーザー登録は後でも行うことができます。



完了 をクリックして、インストールを完了します。



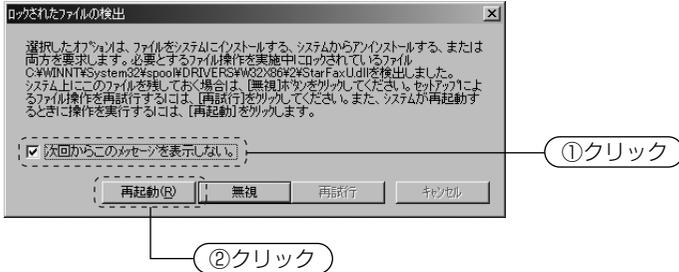
[すぐに環境設定を行う。] にチェックを入れておくと、自動的に環境設定に移ります。環境設定をしていない場合は、最初にSTARFAXプログラムを起動した際、自動的に環境設定に移ります。

●ロックされたファイルが検出された場合

セットアップ中に「ロックされたファイルの検出」というダイアログが表示されることがあります。



[次回からこのメッセージを表示しない。] にチェックを入れて、**再起動(R)** をクリックします。



●再起動を促すダイアログが表示された場合



[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して、**完了** をクリックします。

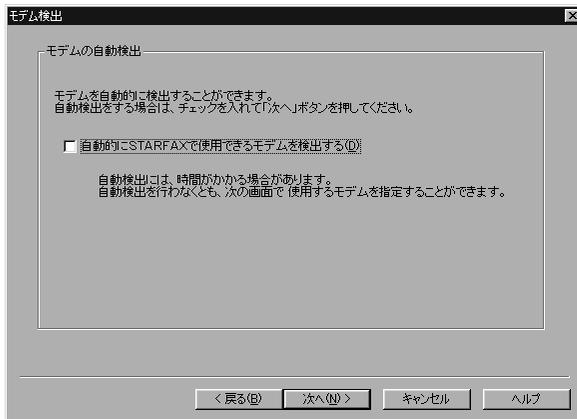


再起動を促すダイアログが表示された場合は、最初にSTARFAXを起動したときに下記ダイアログが表示され、環境設定画面に自動的に移行します。



パソコン環境の設定

インストールの完了画面で [すぐに環境設定を行う。] にチェックを入れておくと、自動的に環境設定に移ります。
 また、環境設定をしていない場合は、最初にSTARFAXプログラムを起動した際、自動的に環境設定に移ります。



[自動的にSTARFAXで使えるモデムを検出する] にチェックを入れておくと、パソコンに接続されているモデムを自動的に検出することができます。



「次へ(N) >」をクリックします。

STARFAXで使用するモデムを選んでください

モデム/ポートの選択: (S)

COM1 (F) COM2 (G) COM3 (H) COM4 (I) COM5 (J) COM6 (K) COM7 (L) COM8 (M) COM9 (N) COM10 (O) COM11 (P) COM12 (Q) COM13 (R) COM14 (S) COM15 (T) COM16 (U) COM17 (V) COM18 (W) COM19 (X) COM20 (Y) COM21 (Z) COM22 (AA) COM23 (AB) COM24 (AC) COM25 (AD) COM26 (AE) COM27 (AF) COM28 (AG) COM29 (AH) COM30 (AI) COM31 (AJ) COM32 (AK) COM33 (AL) COM34 (AM) COM35 (AN) COM36 (AO) COM37 (AP) COM38 (AQ) COM39 (AR) COM40 (AS) COM41 (AT) COM42 (AU) COM43 (AV) COM44 (AW) COM45 (AX) COM46 (AY) COM47 (AZ) COM48 (BA) COM49 (BB) COM50 (BC) COM51 (BD) COM52 (BE) COM53 (BF) COM54 (BG) COM55 (BH) COM56 (BI) COM57 (BJ) COM58 (BK) COM59 (BL) COM60 (BM) COM61 (BN) COM62 (BO) COM63 (BP) COM64 (BQ) COM65 (BR) COM66 (BS) COM67 (BT) COM68 (BU) COM69 (BV) COM70 (BW) COM71 (BX) COM72 (BY) COM73 (BZ) COM74 (CA) COM75 (CB) COM76 (CC) COM77 (CD) COM78 (CE) COM79 (CF) COM80 (CG) COM81 (CH) COM82 (CI) COM83 (CJ) COM84 (CK) COM85 (CL) COM86 (CM) COM87 (CN) COM88 (CO) COM89 (CP) COM90 (CQ) COM91 (CR) COM92 (CS) COM93 (CT) COM94 (CU) COM95 (CV) COM96 (CW) COM97 (CX) COM98 (CY) COM99 (CZ) COM100 (DA) COM101 (DB) COM102 (DC) COM103 (DD) COM104 (DE) COM105 (DF) COM106 (DG) COM107 (DH) COM108 (DI) COM109 (DJ) COM110 (DK) COM111 (DL) COM112 (DM) COM113 (DN) COM114 (DO) COM115 (DP) COM116 (DQ) COM117 (DR) COM118 (DS) COM119 (DT) COM120 (DU) COM121 (DV) COM122 (DW) COM123 (DX) COM124 (DY) COM125 (DZ) COM126 (EA) COM127 (EB) COM128 (EC) COM129 (ED) COM130 (EE) COM131 (EF) COM132 (EG) COM133 (EH) COM134 (EI) COM135 (EJ) COM136 (EK) COM137 (EL) COM138 (EM) COM139 (EN) COM140 (EO) COM141 (EP) COM142 (EQ) COM143 (ER) COM144 (ES) COM145 (ET) COM146 (EU) COM147 (EV) COM148 (EW) COM149 (EX) COM150 (EY) COM151 (EZ) COM152 (FA) COM153 (FB) COM154 (FC) COM155 (FD) COM156 (FE) COM157 (FF) COM158 (FG) COM159 (FH) COM160 (FI) COM161 (FJ) COM162 (FK) COM163 (FL) COM164 (FM) COM165 (FN) COM166 (FO) COM167 (FP) COM168 (FQ) COM169 (FR) COM170 (FS) COM171 (FT) COM172 (FU) COM173 (FV) COM174 (FW) COM175 (FX) COM176 (FY) COM177 (FZ) COM178 (GA) COM179 (GB) COM180 (GC) COM181 (GD) COM182 (GE) COM183 (GF) COM184 (GG) COM185 (GH) COM186 (GI) COM187 (GJ) COM188 (GK) COM189 (GL) COM190 (GM) COM191 (GN) COM192 (GO) COM193 (GP) COM194 (GQ) COM195 (GR) COM196 (GS) COM197 (GT) COM198 (GU) COM199 (GV) COM200 (GW) COM201 (GX) COM202 (GY) COM203 (GZ) COM204 (HA) COM205 (HB) COM206 (HC) COM207 (HD) COM208 (HE) COM209 (HF) COM210 (HG) COM211 (HH) COM212 (HI) COM213 (HJ) COM214 (HK) COM215 (HL) COM216 (HM) COM217 (HN) COM218 (HO) COM219 (HP) COM220 (HQ) COM221 (HR) COM222 (HS) COM223 (HT) COM224 (HU) COM225 (HV) COM226 (HW) COM227 (HX) COM228 (HY) COM229 (HZ) COM230 (IA) COM231 (IB) COM232 (IC) COM233 (ID) COM234 (IE) COM235 (IF) COM236 (IG) COM237 (IH) COM238 (II) COM239 (IJ) COM240 (IK) COM241 (IL) COM242 (IM) COM243 (IN) COM244 (IO) COM245 (IP) COM246 (IQ) COM247 (IR) COM248 (IS) COM249 (IT) COM250 (IU) COM251 (IV) COM252 (IW) COM253 (IX) COM254 (IY) COM255 (IZ) COM256 (JA) COM257 (JB) COM258 (JC) COM259 (JD) COM260 (JE) COM261 (JF) COM262 (JG) COM263 (JH) COM264 (JI) COM265 (JJ) COM266 (JK) COM267 (JL) COM268 (JM) COM269 (JN) COM270 (JO) COM271 (JP) COM272 (JQ) COM273 (JR) COM274 (JS) COM275 (JT) COM276 (JU) COM277 (JV) COM278 (JW) COM279 (JX) COM280 (JY) COM281 (JZ) COM282 (KA) COM283 (KB) COM284 (KC) COM285 (KD) COM286 (KE) COM287 (KF) COM288 (KG) COM289 (KH) COM290 (KI) COM291 (KJ) COM292 (KK) COM293 (KL) COM294 (KM) COM295 (KN) COM296 (KO) COM297 (KP) COM298 (KQ) COM299 (KR) COM300 (KS) COM301 (KT) COM302 (KU) COM303 (KV) COM304 (KW) COM305 (KX) COM306 (KY) COM307 (KZ) COM308 (LA) COM309 (LB) COM310 (LC) COM311 (LD) COM312 (LE) COM313 (LF) COM314 (LG) COM315 (LH) COM316 (LI) COM317 (LJ) COM318 (LK) COM319 (LL) COM320 (LM) COM321 (LN) COM322 (LO) COM323 (LP) COM324 (LQ) COM325 (LR) COM326 (LS) COM327 (LT) COM328 (LU) COM329 (LV) COM330 (LW) COM331 (LX) COM332 (LY) COM333 (LZ) COM334 (MA) COM335 (MB) COM336 (MC) COM337 (MD) COM338 (ME) COM339 (MF) COM340 (MG) COM341 (MH) COM342 (MI) COM343 (MJ) COM344 (MK) COM345 (ML) COM346 (MN) COM347 (MO) COM348 (MP) COM349 (MQ) COM350 (MR) COM351 (MS) COM352 (MT) COM353 (MU) COM354 (MV) COM355 (MW) COM356 (MX) COM357 (MY) COM358 (MZ) COM359 (NA) COM360 (NB) COM361 (NC) COM362 (ND) COM363 (NE) COM364 (NF) COM365 (NG) COM366 (NH) COM367 (NI) COM368 (NJ) COM369 (NK) COM370 (NL) COM371 (NM) COM372 (NO) COM373 (NP) COM374 (NQ) COM375 (NR) COM376 (NS) COM377 (NT) COM378 (NU) COM379 (NV) COM380 (NW) COM381 (NX) COM382 (NY) COM383 (NZ) COM384 (OA) COM385 (OB) COM386 (OC) COM387 (OD) COM388 (OE) COM389 (OF) COM390 (OG) COM391 (OH) COM392 (OI) COM393 (OJ) COM394 (OK) COM395 (OL) COM396 (OM) COM397 (ON) COM398 (OO) COM399 (OP) COM400 (OQ) COM401 (OR) COM402 (OS) COM403 (OT) COM404 (OU) COM405 (OV) COM406 (OW) COM407 (OX) COM408 (OY) COM409 (OZ) COM410 (PA) COM411 (PB) COM412 (PC) COM413 (PD) COM414 (PE) COM415 (PF) COM416 (PG) COM417 (PH) COM418 (PI) COM419 (PJ) COM420 (PK) COM421 (PL) COM422 (PM) COM423 (PN) COM424 (PO) COM425 (PP) COM426 (PQ) COM427 (PR) COM428 (PS) COM429 (PT) COM430 (PU) COM431 (PV) COM432 (PW) COM433 (PX) COM434 (PY) COM435 (PZ) COM436 (QA) COM437 (QB) COM438 (QC) COM439 (QD) COM440 (QE) COM441 (QF) COM442 (QG) COM443 (QH) COM444 (QI) COM445 (QJ) COM446 (QK) COM447 (QL) COM448 (QM) COM449 (QN) COM450 (QO) COM451 (QP) COM452 (QQ) COM453 (QR) COM454 (QS) COM455 (QT) COM456 (QU) COM457 (QV) COM458 (QW) COM459 (QX) COM460 (QY) COM461 (QZ) COM462 (RA) COM463 (RB) COM464 (RC) COM465 (RD) COM466 (RE) COM467 (RF) COM468 (RG) COM469 (RH) COM470 (RI) COM471 (RJ) COM472 (RK) COM473 (RL) COM474 (RM) COM475 (RN) COM476 (RO) COM477 (RP) COM478 (RQ) COM479 (RR) COM480 (RS) COM481 (RT) COM482 (RU) COM483 (RV) COM484 (RW) COM485 (RX) COM486 (RY) COM487 (RZ) COM488 (SA) COM489 (SB) COM490 (SC) COM491 (SD) COM492 (SE) COM493 (SF) COM494 (SG) COM495 (SH) COM496 (SI) COM497 (SJ) COM498 (SK) COM499 (SL) COM500 (SM) COM501 (SN) COM502 (SO) COM503 (SP) COM504 (SQ) COM505 (SR) COM506 (SS) COM507 (ST) COM508 (SU) COM509 (SV) COM510 (SW) COM511 (SX) COM512 (SY) COM513 (SZ) COM514 (TA) COM515 (TB) COM516 (TC) COM517 (TD) COM518 (TE) COM519 (TF) COM520 (TG) COM521 (TH) COM522 (TI) COM523 (TJ) COM524 (TK) COM525 (TL) COM526 (TM) COM527 (TN) COM528 (TO) COM529 (TP) COM530 (TQ) COM531 (TR) COM532 (TS) COM533 (TT) COM534 (TU) COM535 (TV) COM536 (TW) COM537 (TX) COM538 (TY) COM539 (TZ) COM540 (UA) COM541 (UB) COM542 (UC) COM543 (UD) COM544 (UE) COM545 (UF) COM546 (UG) COM547 (UH) COM548 (UI) COM549 (UJ) COM550 (UK) COM551 (UL) COM552 (UM) COM553 (UN) COM554 (UO) COM555 (UP) COM556 (UQ) COM557 (UR) COM558 (US) COM559 (UT) COM560 (UU) COM561 (UV) COM562 (UW) COM563 (UX) COM564 (UY) COM565 (UZ) COM566 (VA) COM567 (VB) COM568 (VC) COM569 (VD) COM570 (VE) COM571 (VF) COM572 (VG) COM573 (VH) COM574 (VI) COM575 (VJ) COM576 (VK) COM577 (VL) COM578 (VM) COM579 (VN) COM580 (VO) COM581 (VP) COM582 (VQ) COM583 (VR) COM584 (VS) COM585 (VT) COM586 (VU) COM587 (VV) COM588 (VW) COM589 (VX) COM590 (VY) COM591 (VZ) COM592 (WA) COM593 (WB) COM594 (WC) COM595 (WD) COM596 (WE) COM597 (WF) COM598 (WG) COM599 (WH) COM600 (WI) COM601 (WJ) COM602 (WK) COM603 (WL) COM604 (WM) COM605 (WN) COM606 (WO) COM607 (WP) COM608 (WQ) COM609 (WR) COM610 (WS) COM611 (WT) COM612 (WU) COM613 (WV) COM614 (WW) COM615 (WX) COM616 (WY) COM617 (WZ) COM618 (XA) COM619 (XB) COM620 (XC) COM621 (XD) COM622 (XE) COM623 (XF) COM624 (XG) COM625 (XH) COM626 (XI) COM627 (XJ) COM628 (XK) COM629 (XL) COM630 (XM) COM631 (XN) COM632 (XO) COM633 (XP) COM634 (XQ) COM635 (XR) COM636 (XS) COM637 (XT) COM638 (XU) COM639 (XV) COM640 (XW) COM641 (XZ) COM642 (YA) COM643 (YB) COM644 (YC) COM645 (YD) COM646 (YE) COM647 (YF) COM648 (YG) COM649 (YH) COM650 (YI) COM651 (YJ) COM652 (YK) COM653 (YL) COM654 (YM) COM655 (YN) COM656 (YO) COM657 (YP) COM658 (YQ) COM659 (YR) COM660 (YS) COM661 (YT) COM662 (YU) COM663 (YV) COM664 (YW) COM665 (YZ) COM666 (ZA) COM667 (ZB) COM668 (ZC) COM669 (ZD) COM670 (ZE) COM671 (ZF) COM672 (ZG) COM673 (ZH) COM674 (ZI) COM675 (ZJ) COM676 (ZK) COM677 (ZL) COM678 (ZM) COM679 (ZN) COM680 (ZO) COM681 (ZP) COM682 (ZQ) COM683 (ZR) COM684 (ZS) COM685 (ZT) COM686 (ZU) COM687 (ZV) COM688 (ZW) COM689 (ZZ)

モデムテスト (M) モデムを選択してテストを行うことができます。

電話オプション

ダイヤル方法: トーン (T) パルス (P) 外線発信番号 (O): *0*発信が必要な場合に指定

受信設定

自動受信する (A) 受信までのコール回数 (C) 回

<戻る (B) 次へ (N) > キャンセル ヘルプ

[モデム/ポートの選択]
パソコンに接続しているFAXモデムの機種を選択します。

[モデムテスト]
選択されているFAXモデムが利用可能か確認します。

[外線発信番号]
外線発信番号が必要な回線にFAXモデムが接続されている場合に番号を入力します。

[受信設定]
STARFAXステーションが起動しているときに自動受信を行う場合チェックを入れます。また自動受信までの呼出音の設定を行えます。

[ダイヤル方法]
FAXモデムに接続されている回線の種類に合わせて選択します。



使用するモデムなど、ご使用の環境に合わせて設定を行い、**次へ (N) >** をクリックします。

環境設定ウィザードの終了

環境設定はこれで終了です。
すぐにSTARFAXを起動させたい場合は、「STARFAXを起動する」にチェックを入れて「完了」ボタンを押してください。

STARFAXを起動する (S)

<戻る (B) 完了 キャンセル ヘルプ

環境設定完了後、すぐにSTARFAXを起動する場合は [STARFAXを起動する] にチェックを入れておきます。



完了 をクリックし、インストールを終了します。

FAXモデム・送信元情報の設定

パソコンに接続されている、もしくは内蔵されている、FAXモデムの設定を行います。これによって、FAXモデムからFAXの送受信を行うことができるようになります。

モデムの設定



Windows [スタート] — [プログラム] — [STARFAX パーソナル] — [STARFAX環境設定] を選択します。



ご利用の環境にあわせてモデムの設定を行います。

[モデムテスト]

選択されているFAXモデムが利用可能かどうか確認します。

[モデム/ポートの選択]

パソコンに接続しているFAXモデムの種類を選択します。



[スピーカー設定]

FAX通信時にFAXモデムから聞こえる音に関して設定します。

[再試行の設定]

FAX通信エラーの際、自動的に再試行する回数を設定します。

[ダイヤル方法]

FAXモデムに接続されている回線の種類に合わせて選択します。

[外線発信番号]

外線発信番号が必要な回線にFAXモデムが接続されている場合に番号を入力します。



選択されたモデムが使用可能かどうか[テスト]を実行して確認しておく事をお勧めします。



[外線発信番号]欄に、不必要な番号を入力すると送信先に正しくダイヤルできなくなります。「0発信」などの外線発信番号が必要な場合は、空欄にしておきます。



NTT DoCoMoのPHSをご利用の場合、[ダイヤル方法]で[パルス]を選択してください。



マニュアルの画面上で選択されているモデムは例です。実際にパソコンに接続されているFAXモデムを選択してください。



適用(A) OK をクリックします。

送信元情報の設定

送付状に差し込む、送信元情報を登録します。



Windows [スタート] — [プログラム] — [STAR-FAX パーソナル] — [STARFAX 環境設定] を選択します。



[ユーザー情報] タブをクリックします。



[モデム設定] から引き続き [ユーザー情報] の設定を行う場合は、「環境設定」のダイアログを閉じずに [ユーザー情報] タブをクリックすることで続けて設定を行うことができます。

環境設定

モデム設定 | 送受信設定 | システム | **ユーザー情報** | 画像表示 | ログ管理 | ガイド

送付状へ差し込む送信元情報を設定してください。

名前 (N):

〒 (Z):

住所 (A):

国番号 (C): 日本 (81)

市外局番 (Q): 電話番号 (I):

FAX番号 (E):

会社名 (O):

所属 (B):

役職 (P):

海外送信用設定 (E)...

OK キャンセル 適用 (A) ヘルプ



送信元の情報を登録し、 をクリックします。

環境設定

モデム設定 | 送受信設定 | システム | **ユーザー情報** | 画像表示 | ログ管理 | ガイド

送付状へ差し込む送信元情報を設定してください。

名前 (N): 岡田 稔

〒 (Z): 564-0053

住所 (A): 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

国番号 (C): 日本 (81)

市外局番 (Q): 06 電話番号 (I): 6386-2043

FAX番号 (E): 6386-8994

会社名 (O): ソフトバンク

所属 (B): サポートセンター

役職 (P):

海外送信用設定 (E)...

OK キャンセル 適用 (A) ヘルプ

STEP
2

STARFAXを使ってみましょう

こんなプログラムを使用します

16
ページ

STARFAXで送信しましょう

18
ページ

STARFAXで受信しましょう

46
ページ

FAX原稿を表示しましょう

50
ページ

短縮ダイヤルを活用しましょう

60
ページ

電話帳を活用しましょう

62
ページ

複数の相手先へ送信しましょう

66
ページ

STARFAXでは、こんなプログラムを使用します

STARFAXをインストールすると、ショートカットがWindows [スタート] - [プログラム] - [STARFAXパーソナル] に登録されます。

それらの名称と主な特徴は次の通りです。

[STARFAXパーソナル] に登録されるショートカット群

●STARFAX ステーション



FAXの送受信を受け持つ、STARFAXのメインアプリケーションです。普通のファクシミリ機と同じ感覚で操作できるインターフェースを備えています。

●STARFAX ヘルプ



STARFAXをいっそうご活用いただくためのオンラインヘルプです。操作上の不明点などがありましたら本書とあわせてご活用ください。

●STARFAX 環境設定



STARFAXの各アプリケーションを起動することなく、モデム設定やユーザー情報、STARFAXのオプションなどを設定可能です。

●オンラインアップデート



弊社アップデートサイトに接続して、最新のアップデートが登録されているかを確認します。アップデートが登録されている場合は、ダウンロードを行い、自動的にプログラムを更新します。

[STARFAXパーソナル] – [STARFAX TOOLS] に登録されるショートカット群

●STARFAX マネージャ



通信ログや送付状、電話帳のデータを一覧表示して、STARFAXの効率的な運用・管理をサポートします。

●STARFAX バージョン情報



STARFAXのアプリケーションやモジュールのバージョン情報を表示します。

●STARFAX ビューア



やりとりしたFAX原稿を表示します。また、さまざまな編集機能を搭載していますので、FAX原稿の編集や手書きFAXにも適しています。

●STARFAX 送付状エディタ



送付状の作成・編集に使用します。

●STARFAX ログコピーツール



送受信ログ、電話帳、短縮ダイヤルのバックアップと復元を行います。

●STARFAX 住所録コンバータ



STARFAXのファイル形式（SFTファイル）以外で作成された住所録ファイルを、STARFAX電話帳にコンバートすることができます。

●STARFAX ライセンス登録



STARFAXのライセンスを追加登録・削除します。



[STARFAXパーソナル] のグループには、本書に掲載のない最新情報を紹介したドキュメントや弊社webページへのショートカットも登録されています。

STARFAXを操作される際には、あらかじめ目を通していただくことをお勧めいたします。

送信原稿の準備

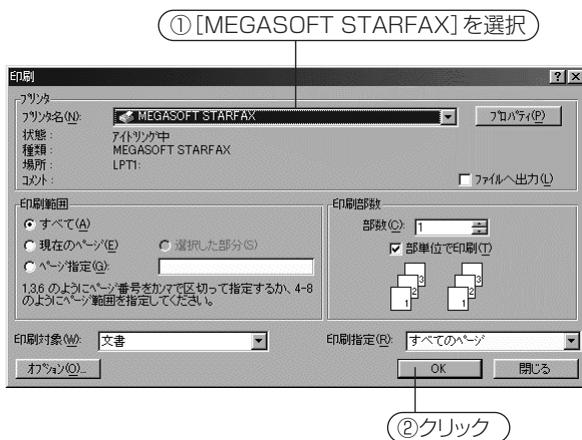
ワープロやペイントソフトなどからの送信

通常使用しているアプリケーションで、送信原稿を作成、すぐに送信することができます。



アプリケーションを起動して、原稿を作成します。
アプリケーションから印刷操作を行います。

プリンタ名としてMEGASOFT STARFAXを選択します。
下図は、Wordの場合です。



印刷ダイアログの **OK** をクリックします。

送信原稿のデータが作成され、自動的に「STARFAX ステーション」が起動します。



送信については、26ページをご覧ください。
送付状については、36ページをご覧ください。

送信原稿の保存

作成された原稿をすぐに送信せずにSTARFAX用の送信原稿として保存しておくことができます。



プリンタ名の右横にある **プロパティ(P)** をクリックします。
表示された「MEGASOFT STARFAXのドキュメントのプロパティ」の **詳細設定(D)...** をクリックします。



「用紙／出力」の「送信原稿フォルダへ登録する」を設定して **OK** をクリックします。



「送信原稿フォルダに登録する」を選択すると「STARFAX マネージャ」の「送信原稿」フォルダへ登録されます。

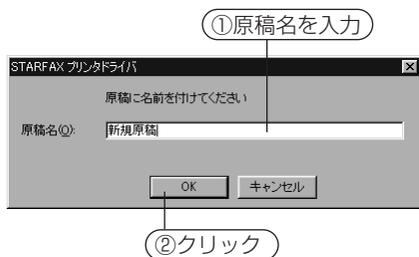


「印刷」に戻ったら **OK** をクリックします。

STARFAXで送信しましょう



「STARFAXプリンタドライバ」で原稿の保存名を指定して **OK** をクリックします。



作成されていた元原稿の保存先を移動したり削除した場合、STARFAX用に登録したリンクが切れて選択できなくなります。



「STARFAXステーション」の「送信原稿」から選択する事ができます。

送信原稿フォルダからのFAX送信

「送信原稿」フォルダに保存した原稿ファイルをFAX送信する方法について説明します。



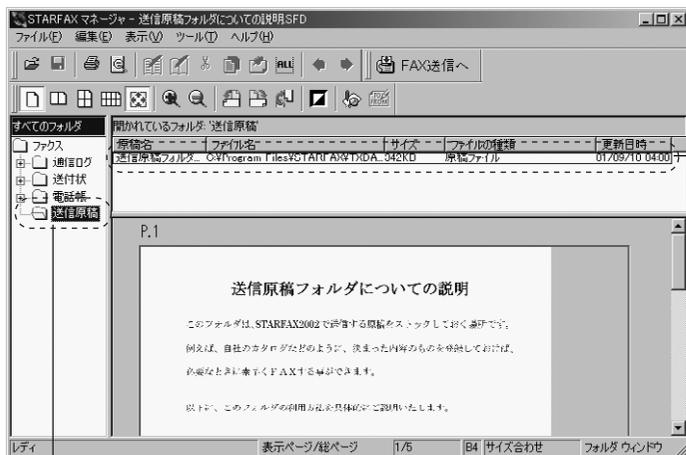
送信原稿フォルダへの保存については、19ページをご覧ください。



Windows [スタート] — [プログラム] — [STARFAX パーソナル] — [STARFAX TOOLS] — [STARFAX マネージャ] を起動します。



「送信原稿」フォルダを選択し、送信する原稿ファイルをダブルクリックします。



①クリック



「STARFAX ステーション」が起動し、原稿がセットされます。



送信については、26ページをご覧ください。
送付状については、36ページをご覧ください。

ドラッグ&ドロップ送信

すでに作成して、保存されている原稿を送信する場合、ドラッグ&ドロップ機能を使用すると便利です。



エクスプローラなどで送信原稿が入っているフォルダを開きます。



「STARFAX ステーション」を表示します。



原稿のファイルを「STARFAX ステーション」のトレイ部分にドラッグ&ドロップします。



注意

- ・多量のファイルをドラッグ&ドロップ機能で送信する場合、送信原稿をセットするまでに時間がかかる事があります。
- ・作成したアプリケーションによっては、ドラッグ&ドロップ機能で送信できない場合があります。この場合、送信できないというエラーは表示されません。

注意

ドラッグ&ドロップ機能で送信する場合、アプリケーションによっては印刷のダイアログを表示するものがあります。この場合、印刷のダイアログのプリンタが「MEGASOFT STARFAX」となっていることを確認してから、[OK] ボタンをクリックしてください。

注意

- ・印刷設定を変更する場合はドラッグ&ドロップを実行する前に変更してください。



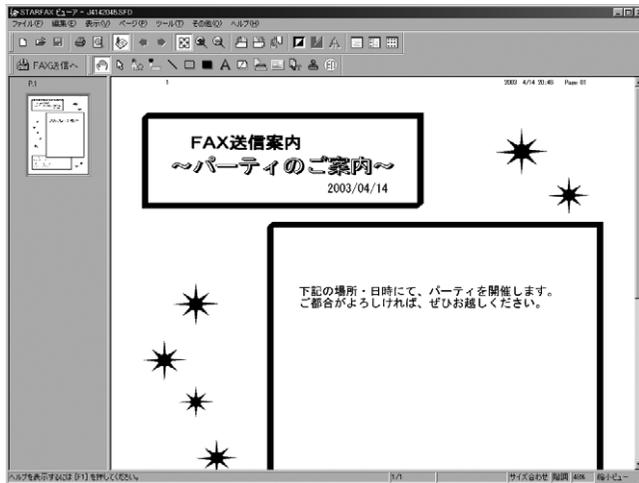
送信については、26ページをご覧ください。
送付状については、36ページをご覧ください。

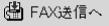
STARFAXビューアからの送信

「STARFAX ビューア」は、各種ツールを使用して、新たにFAX原稿を作成したり、オリジナルの印章を作成して押印するなど、すでにあるFAX原稿に編集を加えることが可能なプログラムです。



すでにあるFAX原稿を「STARFAX ビューア」で表示・編集したり、新規作成して原稿を用意します。



編集が完了したら、ツールバーの  をクリックします。



「STARFAX ステーション」が起動します。



STARFAX ビューアについては、96ページをご覧ください。



送信については、26ページをご覧ください。
送付状については、36ページをご覧ください。

スキャナーを利用して取り込んだ原稿の送信

送信原稿をスキャナーから取り込み、送信することができます。

●スキャナーの選択

最初にSTARFAXからスキャナーを利用する場合に必要な設定です。



スキャナーがご利用のパソコンに接続されており、正常に動作している必要があります。詳しくは、ご利用のスキャナーのマニュアルをご覧ください。



「STARFAX ステーション」の **登録・設定** をクリックします。



①クリック



表示されるメニューから **[TWAIN機器の選択]** を選択します。



②[TWAIN 機器の選択]を選択



「ソースの選択」ダイアログが表示され、利用できる
TWAIN対応機器の一覧が表示されます。



使用するスキャナーをクリックして、**選択** をク
リックします。

●原稿の取り込み

「STARFAX ステーション」の**スキャナー**をクリックすると、ご利
用のスキャナー機器のスキャン画面が起動しますので、原稿
をセットし、取り込みます。



スキャナーからの取り込みが終了すると原稿が
「STARFAX ステーション」にセットされます。



送信については、26ページをご覧ください。
送付状については、36ページをご覧ください。



スキャン画面は、ご利用の機器によ
り異なるため、スキャン方法につ
きましては、スキャナーのマニ
ュアルをご覧ください。

原稿を送信する

FAX番号を直接入力して送信する



「STARFAX ステーション」が起動し、メッセージが「初期化中」から下記の図のメッセージに変わったことを確認してください。



・ PHSを使用してFAX送信する場合、PTE経由での送信が必要な機種があります。
例) NTT DoCoMoのPHSを使用する場合
PTE番号*相手先FAX番号#32
PTE番号や番号入力の形式は機種毎に違いますのでメーカーへご確認ください。



相手先のFAX番号を入力してください。





をクリックすると、送信が開始されます。



電話通話中のFAX送信（手動送信）

FAXモデムに接続されている電話機を使用している場合で、通話中に送信する場合などに使用します。



相手とつながっている状態で原稿をセットし、

FAX番号を未入力のまま、 をクリックします。



他にもこんな送信方法があります。

- 短縮ダイヤルを利用した送信については、28ページをご覧ください。
- 電話帳を利用した送信については、32ページをご覧ください。
- 複数の人に同じ原稿を一度に送る場合（同報送信）については、66ページをご覧ください。

短縮ダイヤルの新規登録



[STARFAX ステーション] の **登録・設定** をクリックして表示されるメニューから **短縮編集** を選択します。



登録するグループ・短縮ダイヤルボタンを選択して、相手先の情報を入力します。

①登録するグループを選択

②登録する短縮ダイヤルのボタンをクリック
空白のボタンは未登録のボタンです。

③相手先の情報を入力
FAX番号は必ず入力してください。

続けて他の短縮ダイヤルに登録する場合は、空白のボタンをクリックして登録することができます。



OK をクリックすると登録が終了します。

電話帳からのインポート

電話帳に登録されているデータを簡単に短縮ダイヤルに登録することができます。



[STARFAX ステーション] の **登録・設定** をクリックして表示されるメニューから **短縮編集** を選択します。



登録するグループ・短縮ダイヤルボタンを選択して、**電話帳からインポート(M)...** をクリックします。

短縮ダイヤル設定

短縮ダイヤル

グループ(G): [短縮A] 表示切替: [番号(N)] [名称(N)]

メガソフト株式会社

表示名(N):
会社名(N):
所属名(N):
役職名(N):
氏名(N): 敬称(C): 様

FAX番号(F): 電話番号(H):

〒(Z):
住所1(S):
住所2(S):

高度な設定(H)... クリア(Q) 電話帳からインポート(M)...

OK キャンセル

①登録するグループを選択

②登録する短縮ダイヤルのボタンをクリック

③クリック



短縮ダイヤルへ登録する電話帳データをクリックして選択し、**インポート(S)** をクリックします。

電話帳からインポート

電話帳: [C:\Program Files\MEGASOFT\STARFAX2002\電話帳.S] 参照(O)...

FAX番号	会社名	所属名	役職名	氏名
2	千里株式会社	企画部		山本
06-6386-8894	メガソフト株式会社	STARFAXサポートセンター		吉田
2	有限会社 福田			福田
2	株式会社 江坂商会	営業本部		山田
2	メガソフト株式会社	技術本部		守口

会社名: メガソフト株式会社
所属名: STARFAXサポートセンター
役職名:
氏名: 吉田 敬称: 様
FAX番号: 06-6386-8894 電話番号: 06-6386-2043
〒: 564-0053
住所1: 大阪府吹田市江の町1-38
住所2:

インポート(S) キャンセル

①読み込む電話帳データをクリック

②相手先の情報を確認

③クリック

短縮ダイヤルを使用した送信

短縮ダイヤルを利用すると事前に登録した相手先へ簡単にFAX送信を行うことができます。



「STARFAXステーション」が起動し、メッセージが「初期化中」から下記の図のメッセージに変わったことを確認してください。



短縮 をクリックします。



短縮ダイヤル表示に変わります。





送信する相手先が登録されている短縮ダイヤルボタンをクリックします。



①クリック

相手先が表示されます。

[送信先] ボタンのランプが点灯します。

短縮グループの切り替えを行います。



ダイヤル表示に切り替えます。

[全選択]

表示されている短縮ダイヤルの相手先をすべて送信先にセットします。

[番号表示] [名称表示]

短縮ダイヤルのボタン上に表示される、相手先の番号/名称の表示を切り替えます。



短縮ダイヤルの詳細については60ページをご覧ください。

電話帳を利用する（電話帳の作成方法）

電話帳を利用した送信を行う場合は、電話帳に相手先を登録する必要があります。

電話帳の登録は、「STARFAX マネージャ」の電話帳の画面から行います。



STARFAXステーションの「電話帳」をクリックします



電話帳は、「スタート」メニューから起動することもできます。

Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX/パーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX マネージャ] を起動します。左側の「電話帳」フォルダをクリックします。

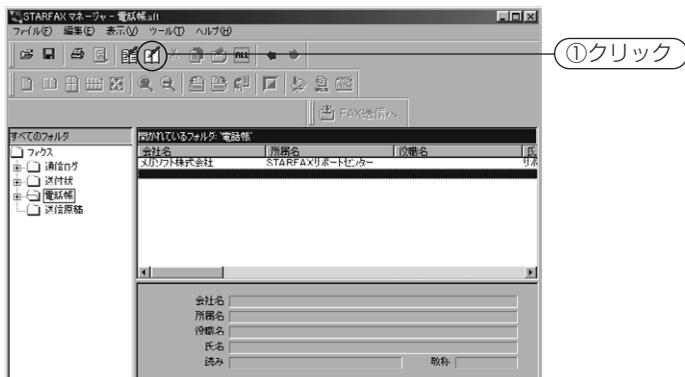
●電話帳の登録



「STARFAX マネージャ」の「電話帳」フォルダには、登録されている相手先のリストが表示されます。リストの最下行の一つ下の空行にカーソルをあわせませす。



ツールバーの  をクリックすると空白の登録画面が表示されます。





登録する相手先の情報を記入してください。必ず市外局番とFAX番号を記入してください。ここに記入が無い場合、送信の時に「電話番号がありません」というエラーが出ます。

①相手先の情報を入力

電話帳の編集

会社名:
所属名:
役職名:
氏名:
読み:
敬称: [様]
国番号: 日本 (81) 電話番号:
市外局番: FAX番号:
〒:
住所1:
住所2:
備考:
キーワード:

グループの設定(G)... 高度な設定(H)...

OK キャンセル

②クリック



市外局番を空欄にしている場合、環境設定で登録されている所在地情報の「市外局番」が自動的にダイヤルされ、正しく送信できないことがあります。



OK をクリックします。

これで、新規登録されます。



電話帳の詳細については、62ページをご覧ください。

電話帳を利用する（送信）



「STARFAXステーション」が起動し、メッセージが「初期化中」から下記の図のメッセージに変わったことを確認してください。

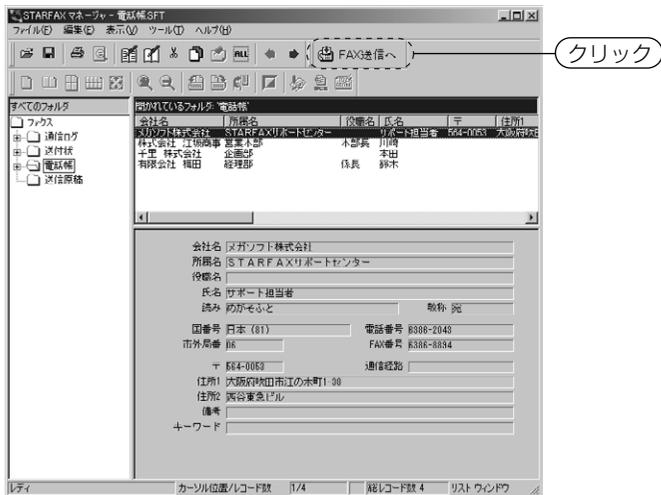


電話帳 をクリックします。





送信先を選択して をクリックします。



STARFAXステーション画面に戻ります。このとき、ディスプレイに選択した相手先の名前が表示されます。



をクリックすると、送信が開始されます。



送付状の使い方

送付状の選択

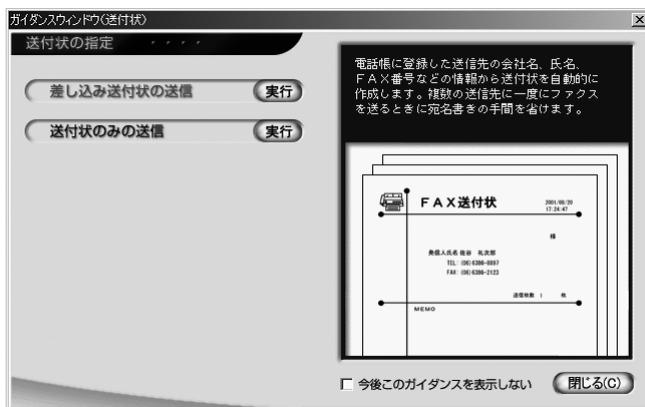
FAX原稿に、相手先の会社名や氏名などを差し込んだり、簡単なメモを記入した送付状（カバーシート）を添付して送信することができます。



「STARFAX ステーション」の **送付状** をクリックします。



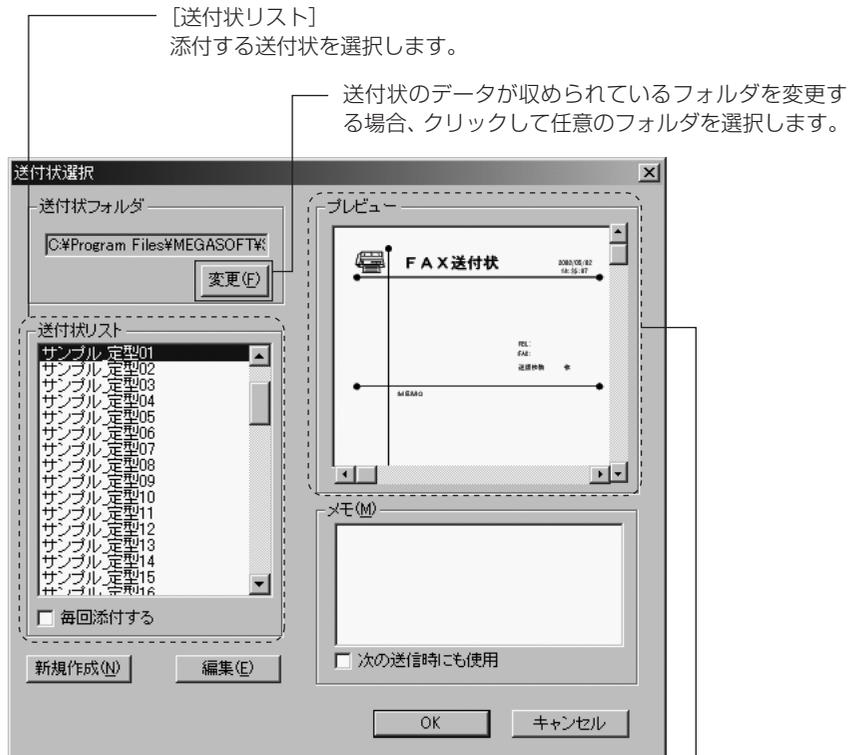
「ガイダンスを表示する」モード（初期設定）では以下の画面が表示されます。



差し込み送付状の送信 **実行** をクリックします。



「送付状選択」が表示されますので、[送付状リスト]から添付する送付状の種類をクリックします。



STARFAXで送信しましょう



メモ書きを追加したいときは、[メモ] に文章を入力します。



送付状単独での送信も可能です。また、送付状を新規に作ったり、すでにある送付状を編集することが可能です。「送付状エディタ」については72ページをご覧ください。



OK をクリックすると、「STARFAX ステーション」に戻ります。

送付状が設定されていることを表しています。

表示/編集 をクリックすると送付状の内容を確認することができます。

取り消し をクリックすると送付状の添付を取り消すことができます。



送付状が設定されると「送付状」ボタンのランプが点灯します。

送付状への差し込み

STARFAXのサンプル送付状では、相手先の会社名や氏名、送信元の情報などを差し込める設定がされているものがあります。以下の操作で、送付状の各欄にそれらの情報を自動的に差し込み、送信することができます。



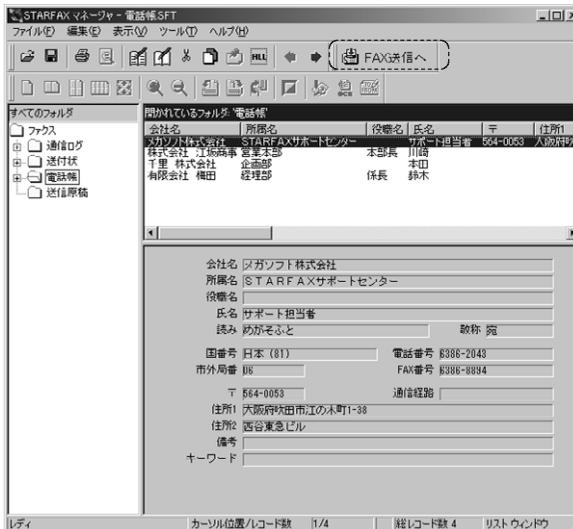
電話帳 をクリックします。



送信する相手先を選択し、**FAX送信へ** をクリックします。



相手先の指定はダブルクリックでも可能です。



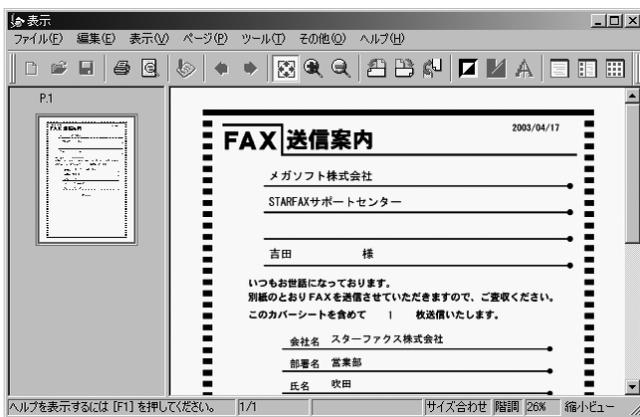
STARFAXで送信しましょう



相手先がセットされ、電話帳に登録済みの情報が送付状に反映します。



表示/編集 をクリックすると送付状の内容を確認することができます。



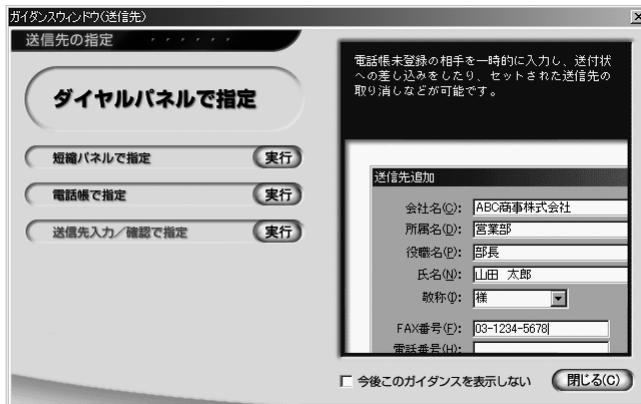
●電話帳への登録がない場合の差し込み



送付状を選択した後、送信先をクリックします。



「ガイダンスを表示する」モード（初期設定）では以下の画面が表示されます。



送信先入力/確認で指定

実行

をクリックします。

STARFAXで送信しましょう

STEP 2



追加(A) をクリックします。



送信先の情報を入力して **追加(I)** をクリックします。

会社名(C): 山田工業
所属名(D): 営業部
役職名(E): 部長
氏名(N): 佐藤 二郎
敬称(O): 様
FAX番号(F): 03-1234-5678
電話番号(H):
〒(Z):
住所1(E):
住所2(S):

追加(I) キャンセル



送信先一覧にセットされます。



OK をクリックします。



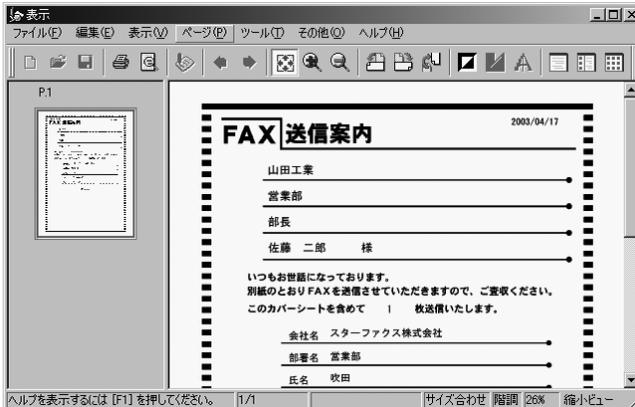
相手先がセットされ、入力した情報が送付状に反映されます。



ここで、追加した内容は、今回の送信のみに使われますので、電話帳へは登録されません。



表示/編集 をクリックすると送付状の内容を確認することができます。



送付先情報の差し込みについて（ファイル名で指定する）

送信するファイル名を以下のルールで設定した場合、ファイルを「STARFAX ステーション」にドラッグ&ドロップすることで、FAX番号が自動で設定され、送信することができます。また、ファイル名に含まれる会社名等はヘッダー、送付状などに差し込まれます。

ファイルの書式は次のとおりです

FAX{相手先のFAX番号&N=相手先の名前&S=相手先の会社名}

【例】

相手先のFAX番号	06-6386-8894
相手先の会社名	メガソフト株式会社
相手先の名前	ご担当者
使用するアプリケーション	Word(拡張子は .doc)

このときのファイル名は

FAX{06-6386-8894&N=ご担当者&S=メガソフト株式会社}.doc

となります。(docはwindowsの設定によっては表示されません。)

このルールを利用するにはあらかじめSTARFAX環境設定で設定が必要です。

STARFAX環境設定の「送受信設定」タブを開き、「発信元情報」の「記録情報」の欄から表示する内容を選択します。設定の仕方はヘルプファイルを参照してください。



また06-6386-8894に送信するだけでよい場合は



FAX{06-6386-8894}.doc

のファイル名で送信ができます。

複数の相手先にも一度の操作で送信ができます。その場合は { }の部分で相手先分用意します。前の例で、06-6396-8894以外に06-6386-2123にも送信したい場合、



FAX{06-6386-8894}{06-6386-2123}.doc

のファイル名で二つの相手先に送信されます。
この { }内に&N=と&S=のオプションを加えることもできます。

なお、ファイルの中身の識別を容易にするため名前を付けることもできます。



お見積書FAX{06-6386-8894}.doc



Excel2000以降のバージョンでは、 { } で囲まなければ、自動送信が行えません。それ以前のバージョンやWordでは、 [] もご使用いただけます。



Windows 98/MEでご利用の場合は、OSの仕様により32文字以上のファイル名（拡張子を除く）を扱うことができないため、32文字以内でファイル名を設定してください。同様にWordの場合は、仕様により19文字以内となります。

自動受信

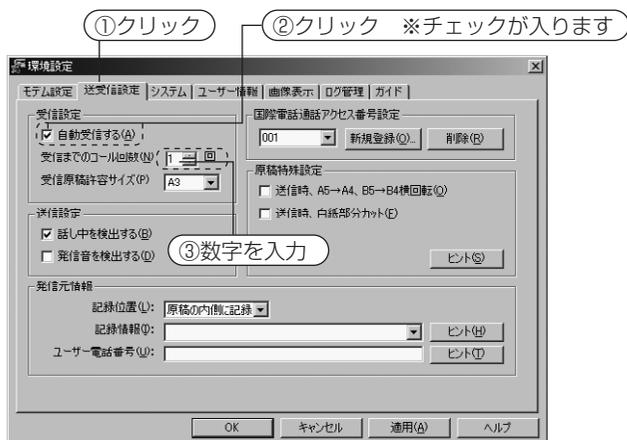
自動受信の設定について



Windows [スタート] — [プログラム] — [STAR-FAXパーソナル] — [STARFAX 環境設定] を起動します。



- ① 「送受信設定」 タブをクリックします。
- ② 「自動受信する」 にチェックを入れます。
- ③ 「受信までのコール回数」 (受信を開始するまでの呼び出し音の回数) を設定してください。



STARFAX 環境設定は、STAR-FAXステーションの [登録・設定] メニューから起動することもできます。



「受信までのコール回数」に「0」を設定すると、自動受信は行われません。



[FAX受信] ボタンのランプが点灯します。

自動受信の手順



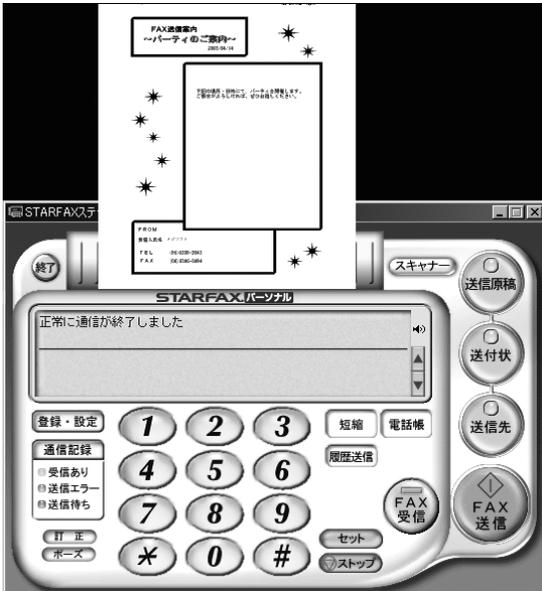
Windows [スタート] — [STARFAXパーソナル] — [STARFAXステーション] を選択します。



FAXが送信されてくると、自動的に受信が開始されます。



しばらくすると、通常の待機中の状態に戻ります。



未読の受信原稿がある場合、
[●受信あり] のランプが点
灯します。



受信原稿の表示については、50ページをご覧ください。

手動受信

手動受信の設定について



Windows [スタート] — [プログラム] — [STARFAX パーソナル] — [STARFAX 環境設定] を起動します。



STARFAX 環境設定は、STARFAXステーションの [登録・設定] メニューから起動することもできます。



- ① 「送受信設定」 タブをクリックします。
- ② 「自動受信する」のチェックをはずします。

①クリック ②クリック ※チェックがはずれます



[FAX受信] ボタンのランプが消灯します。

手動受信の手順



電話がかかってきたら、FAXモデムに接続されている電話機の受話器をとります。



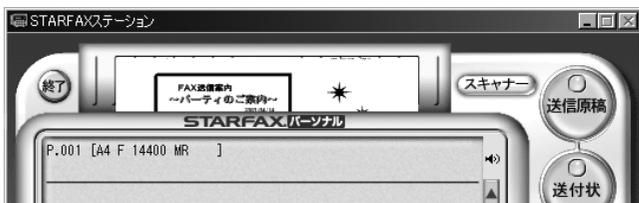
相手先がFAXの場合、 をクリックします。



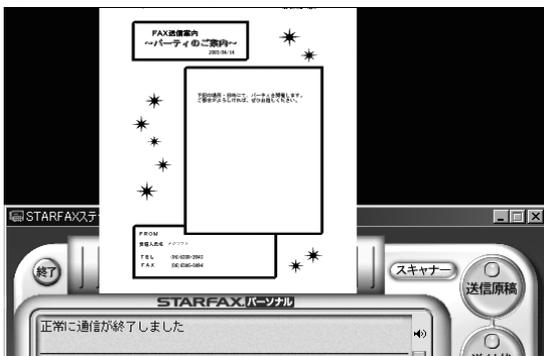
上記ダイアログが表示されますので、 をクリックします。



FAX受信を開始します。



しばらくすると、通常の待機中の状態に戻ります。



FAXモデムと電話機から呼び出し音が鳴ります。相手先がFAXの場合は、発信音が聞こえます。



未読の受信原稿がある場合、
[●受信あり]のランプが点灯します。



受信原稿の表示については、50ページをご覧ください。

受信原稿の表示



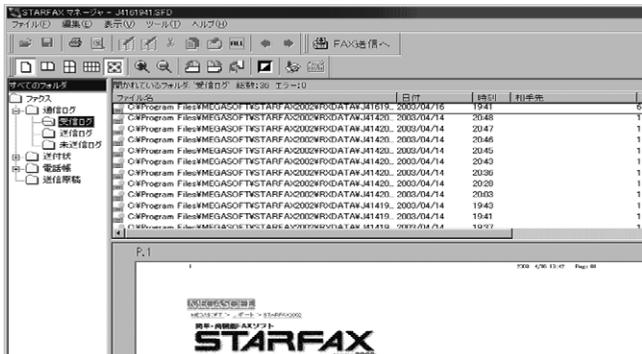
未読の受信原稿がある場合「STARFAXステーション」の[●受信あり]のランプが点灯します。



[通信記録] をクリックして、表示されるメニューから [受信記録を表示] を選択します。



「STARFAX マネージャ」が起動し、内容を確認することができます。

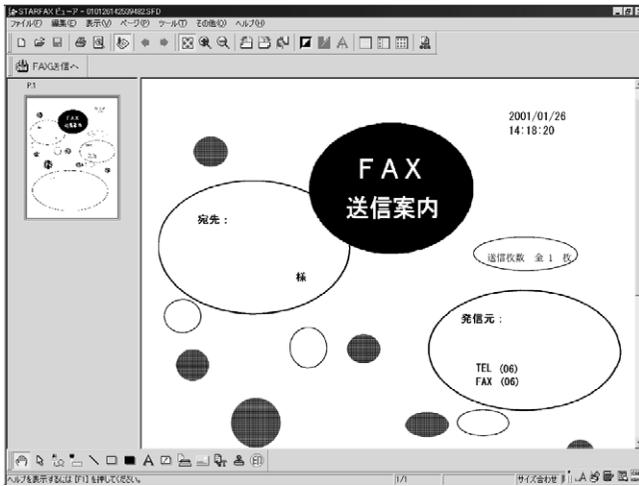


「STARFAX マネージャ」を単独で起動したい時は、Windows[スタート]-[プログラム]-[STARFAXパーソナル]-[STARFAX TOOLS] - [STARFAX マネージャ]で起動します。

送信済みの原稿を確認するには、「STARFAX マネージャ」で表示対象のフォルダを[送信ログ]にします。



リスト部分をダブルクリックすると、「STARFAX ビューア」が起動して、内容の確認や文字、罫線などを書き加えることができます。



文字、罫線などを書き加える方法については、96ページをご覧ください。

受信原稿の印刷

「STARFAX マネージャ」で、印刷したい原稿を表示して、以下の操作を行います。



「プリンタアイコン」をクリックします。



通常使うプリンタのダイアログが表示されます。



出力先のプリンタを確認し、**OK** をクリックすると印刷されます。

エージェントフォルダについて

STARFAX には、「エージェント機能」があります。

エージェント機能は、特定の相手へFAX送信した記録（送信ログ）と、FAX受信した記録（受信ログ）を自動的に任意のフォルダに振り分けます。

特定の相手のFAX送受信の記録が素早く確認できます。

■送信ログ情報の例

B社へFAX送信した送信ログ情報は、「送信ログ」フォルダの下層にあるエージェント設定フォルダの「B社」に保存されます。

■受信ログ情報の例

A社からFAX受信した受信ログ情報は、「受信ログ」フォルダの下層にあるエージェント設定フォルダの「A社」に保存されます。

エージェントフォルダ作成方法

○送信エージェントフォルダ



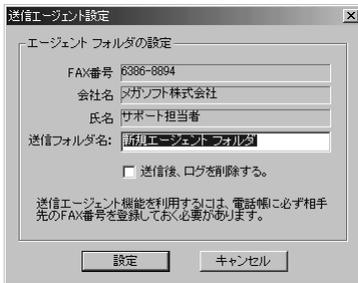
「STARFAX マネージャ」から「電話帳」フォルダを開きます。



「送信エージェントの設定」を選択します。
送信エージェント設定する送信先を選択して、マウスを右クリックし、メニューから、「送信エージェントの設定」を選択します。



「送信フォルダ名」を入力します。



設定 をクリックします。

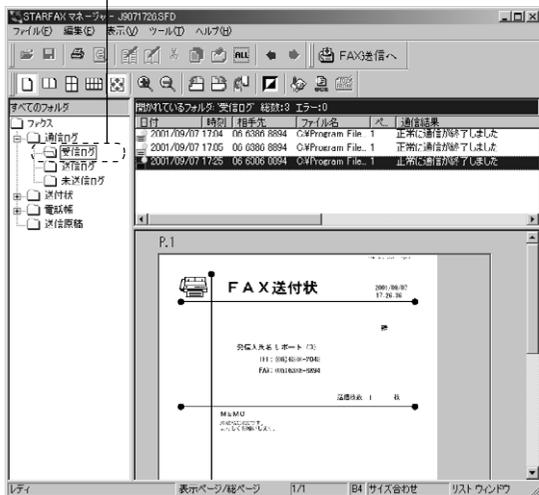
FAX原稿を表示しましょう

○受信エージェントフォルダ

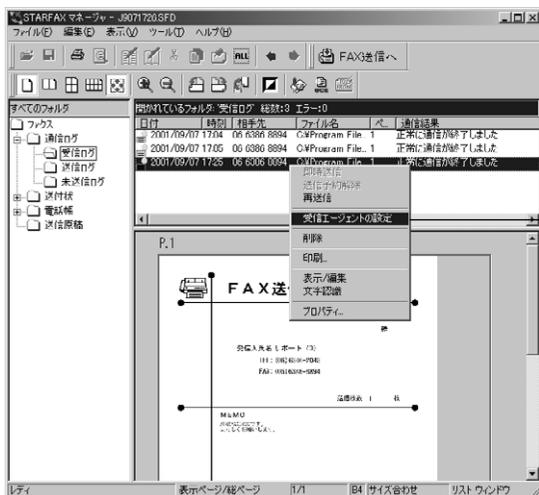


「STARFAX マネージャ」から「受信ログ」フォルダを開きます。

クリック



「受信エージェントの設定」を選択します。
受信エージェント設定する受信ログを選択して、マウスを右クリックし、メニューから、「受信エージェントの設定」を選択します。

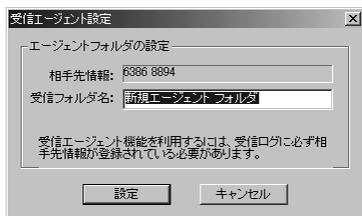


①右クリック

②クリック



操作 「受信フォルダ名」を入力します。



操作 **設定** をクリックします。

エージェントフォルダの削除

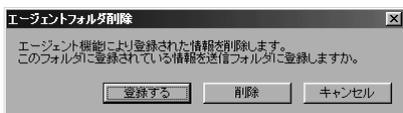
エージェント設定フォルダの削除について説明します。



「フォルダ表示」ウィンドウから削除するエージェント設定フォルダを右クリックし、[削除] を選択します。



削除したエージェント設定フォルダは元に戻すことはできません。



選択したエージェント設定フォルダの中にログ情報がある場合、「エージェントフォルダ削除」ダイアログが表示されます。

● **【登録する】をクリックした場合**

フォルダを削除する前に、振り分けられていた通信ログを、送信ログ、受信ログ、それぞれのフォルダへ戻してから、エージェントフォルダを削除します。

● **【削除】をクリックした場合**

振り分けられていた通信ログを、送信ログ、受信ログ、それぞれのフォルダからも削除してから、エージェントフォルダを削除します。

短縮ダイヤルの詳細

短縮ダイヤルの編集



[STARFAX ステーション] の **登録・設定** をクリックして表示されるメニューから [短縮編集] を選択します。



編集するグループ・短縮ダイヤルを選択して、表示された相手先の情報を編集します。

続けて他の短縮ダイヤルを編集する場合は、短縮ダイヤルのボタンをクリックして編集することができます。



- ・ **OK** をクリックすると編集内容を保存して終了します。
- ・ **キャンセル** をクリックすると編集内容を破棄して終了します。

短縮ダイヤルの削除

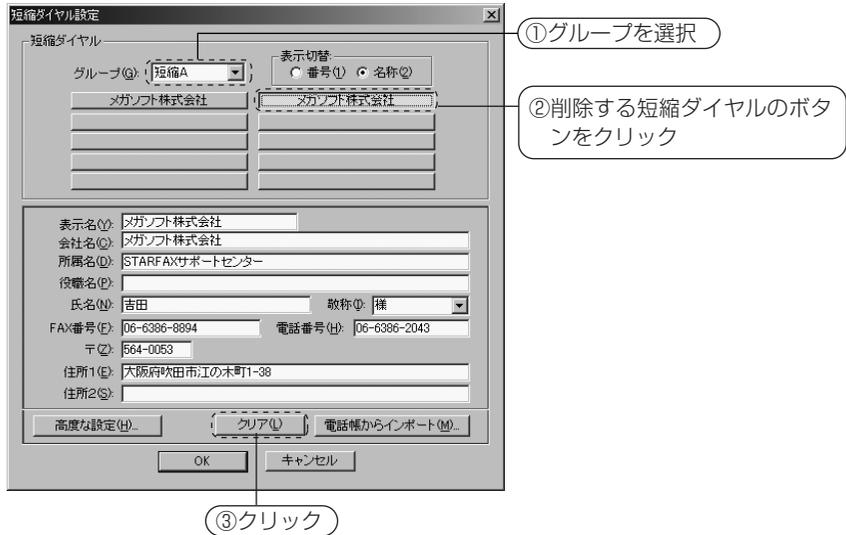


[STARFAX ステーション] の **登録・設定** をクリックして表示されるメニューから [短縮編集] を選択します。



削除する短縮ダイヤルを選択します。

クリア(L) ボタンをクリックして、削除します。



削除した短縮ダイヤルの情報は、元に戻せませんのでご注意ください。

電話帳の詳細

電話帳画面の表示方法

電話帳を利用した送信を行う場合は、電話帳に相手先を登録する必要があります。電話帳の登録は、「STARFAX マネージャ」の電話帳の画面から行います。



操作 ▶ STARFAXステーションの「電話帳」をクリックします。



電話帳は、[スタート]メニューから起動することもできます。

Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAXパーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX マネージャ] を起動します。左側の「電話帳」フォルダをクリックします。

電話帳データの新規作成



操作 ▶ ツールバーから  をクリックします。



[編集] - [相手先の追加] を選択しても、同様の画面が表示されます。



相手先の情報を入力してください。必ずFAX番号を記入してください。記入が無い場合、実際の送信の時に「電話番号がありません」というエラーが表示されます。

①相手先の情報を入力

電話帳の編集

会社名:
所属名:
役職名:
氏名:
読み: 敬称: 様
国番号: 日本 (81) 電話番号:
市外局番: FAX番号:
市:
住所1:
住所2:
備考:
キーワード:

グループの設定(G)... 高度な設定(H)...

OK キャンセル

②クリック



OK をクリックします。

電話帳データの編集



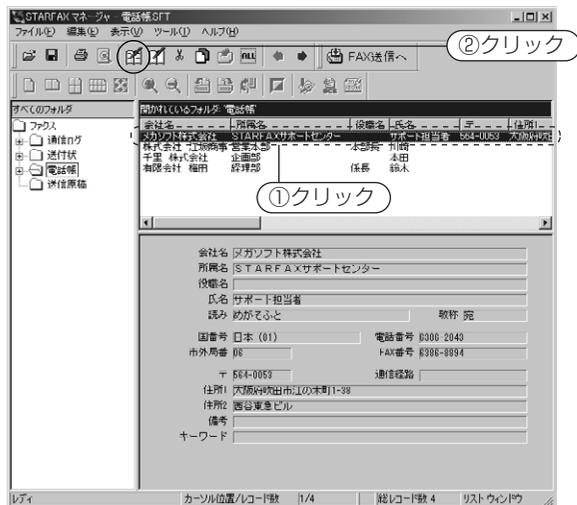
「STARFAX マネージャ」の「電話帳」フォルダから編集する電話帳データをクリックします。



ツールバーから  をクリックします。

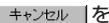


【編集】 - 【電話帳の編集】を選択しても、同様の画面が表示されます。



電話帳の内容を編集し、  をクリックします。



編集を中止する場合は  をクリックします。

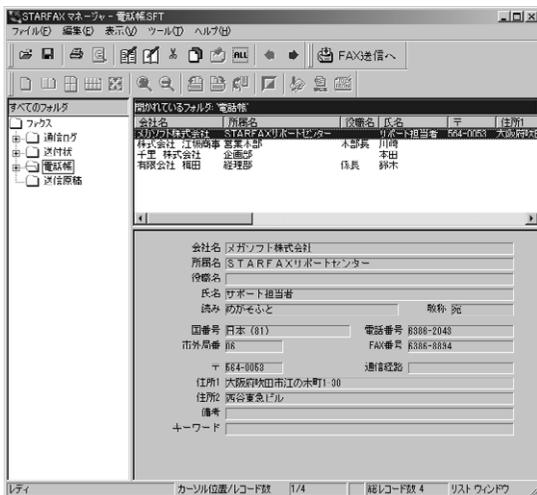
電話帳データの削除



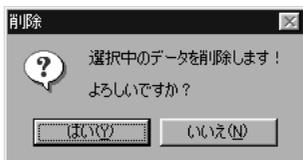
「STARFAX マネージャ」の「電話帳」フォルダから
削除する電話帳データをクリックします。



電話帳データが反転した状態になります。



「編集」－「削除」を選択します。



確認のダイアログボックスが表示されます。



削除しても良い場合は、**はい(Y)** を、削除を取り消す場合は、**いい(N)** をクリックします。

短縮ダイヤルからの同報送信

短縮ダイヤルを使用して、複数の人へ同時にFAXを送信することができます。

短縮ダイヤルは事前に登録されているものとします。

STEP 2



操作 ▶ 原稿を作成し、印刷操作を行います。



操作 ▶ このときプリンタとして「MEGASOFT STARFAX」を選択します。



確認 ▶ STARFAXステーションが起動します。



操作 ▶ 「短縮」をクリックし、短縮ダイヤルの表示に切り替えます。



操作 ▶ 送信する相手先をクリックします。



送信する相手先の短縮ダイヤルをクリック



続けて相手先の短縮ダイヤルをクリックすることで、複数の相手先を送信先に登録することができます。



全選択 ボタンをクリックすると、表示されている短縮ダイヤルの相手先が全て送信先に登録されます。



ディスプレイに選択した相手先のFAX番号と名前が表示されます。



 をクリックします。

電話帳からの同報送信

電話帳を使用して、複数の人へ同時にFAXを送信することができます。

電話帳は事前に作成されているものとします。



操作 ▶ 原稿を作成し、印刷操作を行います。



操作 ▶ このときプリンタとして「MEGASOFT STARFAX」を選択します。



確認 ▶ STARFAXステーションが起動します。

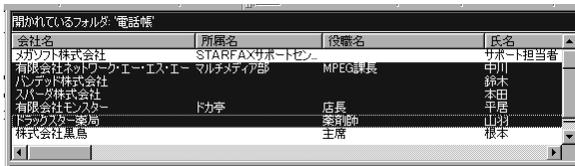


操作 ▶ **電話帳** をクリックします。



操作 ▶ 送信する相手を選択します。

●電話帳で連続した相手先を選択する場合



①最初をクリック

② [Shift] キーを押しながらクリック

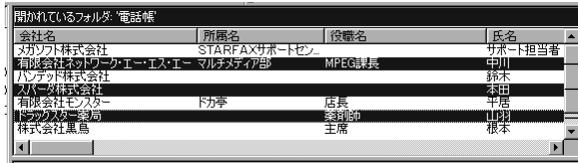
電話帳にある連続した複数の相手先を選択する場合は、最初の相手先にカーソルをあわせ、Shiftキーを押しながら最後の相手先をクリックします。



同時に送信できる相手先は、最大100件です。

●電話帳で連続していない相手先を選択する場合

連続していない相手先を選択する場合は、Ctrlキーを押しながら相手先をクリックします。



①最初をクリック

② [Ctrl] キーを押しながらクリック



操作▶ 相手先を選択し、 をクリックします。



確認▶ STARFAXステーションの画面に戻ります。このとき、ディスプレイに選択した相手の名前が表示されています。



操作▶  をクリックします。



複数の相手先が決まっている場合、グループフォルダへ登録しておくことで「すべて選択」で相手先を決定できるので便利です。グループフォルダの使い方はヘルプをご覧ください。

STEP
3

STARFAXにはこんな機能もあります

ユーティリティプログラム

送付状エディタ

72
ページ

STARFAX ビューア

96
ページ

STARFAX ログコピーツール

108
ページ

住所録コンバータ

112
ページ

オンラインアップデート

118
ページ

原稿取り込みツール

122
ページ

送付状エディタ

送付状の作成

送付状を作成する手順を説明します。

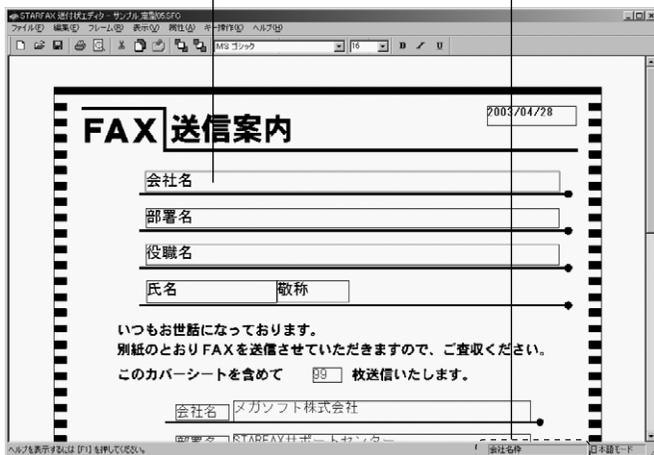


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX パーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX 送付状エディタ] を選択します。



送付状エディタを起動すると、送付状のサンプルが表示されます。

画面上でフレームを選択すると、「STARFAX送付状エディタ」ウィンドウのステータスバーにフレーム名が表示されます。



送付状を新しく作成する場合、[ファイル] - [新規作成] を選択します。



すでに保存している送付状ファイル編集する場合、[ファイル] - [開く] で送付状ファイルを選択します。

送付状を作成する場合、起動時に表示される送付状のサンプルや、保存されている送付状ファイルを編集することもできますし、新規にファイルを作成することも可能です。

送付状の編集（フレームの設定）

送付状を作成するには、「フレーム」を挿入してページを構成していきます。

フレームには、表示する目的にあわせて、いくつかの種類があります。

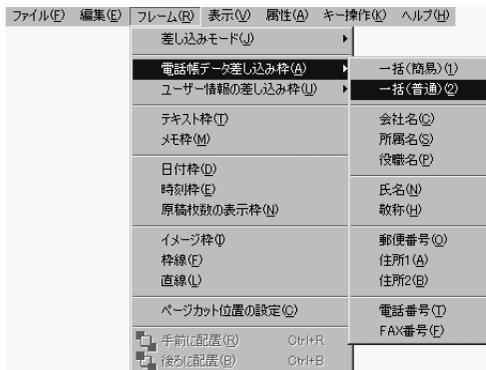
起動時に表示される送付状のサンプルや送付状ファイルも同様にフレームの種類が設定されています。

●電話帳データ差し込み枠

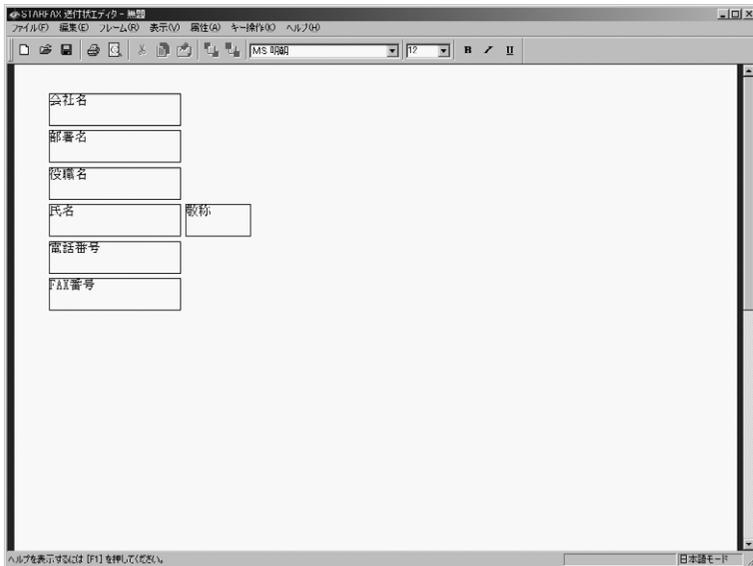
相手先の情報を追加します。送信時に相手先の情報が自動的に差し込まれます。



[フレーム] — [電話帳データ差し込み枠] から差し込みたい情報を選択します。



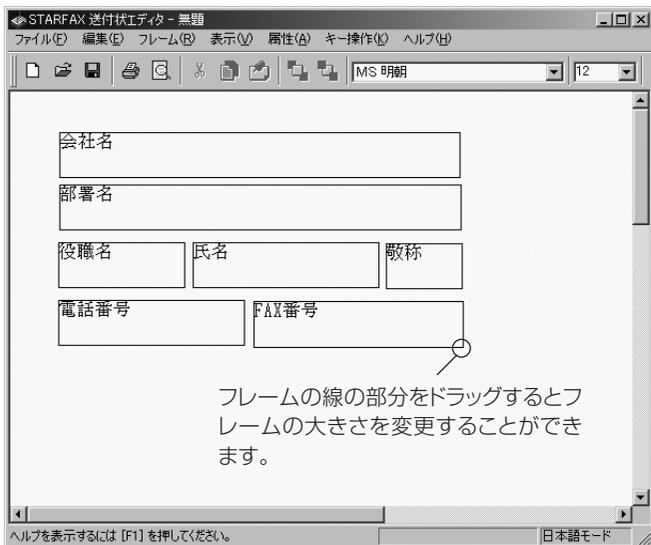
相手先の情報は、個別に差し込むことも一括で差し込むことも可能です。



上図は、「一括 (普通)」を選択した場合です。



フレームを移動して位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。



フレームを一括で挿入した場合でも挿入後に個別のフレームを削除することができます。



フレームのないところから複数のフレームを囲むようにドラッグすることで、複数のフレームを選択することが可能です。



フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●ユーザー情報の差し込み枠

送信元の情報を追加します。「STARFAX 環境設定」の「ユーザー情報」タブで設定した情報が自動的に差し込まれます。



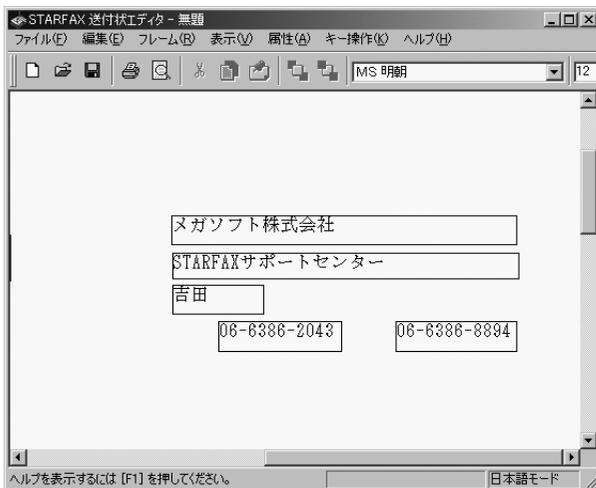
[フレーム] - [ユーザー情報の差し込み枠] から差し込みたい情報を選択します。



送信元の情報は、個別に差し込むことも一括で差し込むことも可能です。



フレームを移動して位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。



ユーザー情報が設定されている場合は、その情報が表示されます。



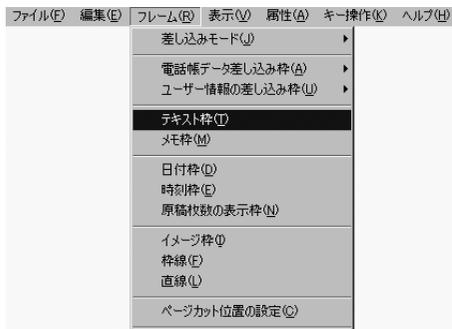
フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●テキスト枠

定型文やタイトルなどを挿入する場合、テキスト枠を追加します。



操作 [フレーム] - [テキスト枠] を選択します。



操作 テキスト枠に文章を入力して、位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。

会社名

部署名

役職名 氏名 敬称

電話番号 FAX番号

毎回同じ文章を送信する部分
は、テキスト枠で設定します。

メガソフト株式会社
STARFAXサポートセンター
吉田
TEL: 09-8388-2043 FAX: 09-8388-8884

拝啓
貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、下記の書類を送付させていただきますので、ご査収の程宜しくお願い申し上げます。
敬具



テキスト枠に入力している文章に改行を入れる場合は、[Ctrl] キーを押しながら [Enter] キーを押します。改行を入れるために、あらかじめテキスト枠を広げておく必要があります。

手前へ配置(B)
後ろへ配置(B)
切り取り(C)
コピー(C)
貼り付け(P)
削除(D)
文字列の編集(E)
グリッドに吸着(S)

挿入したテキスト枠を右クリックで表示されるメニューから [文字列の編集] を選択すると、文章を入力することができます。



関連項目 フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●メモ枠

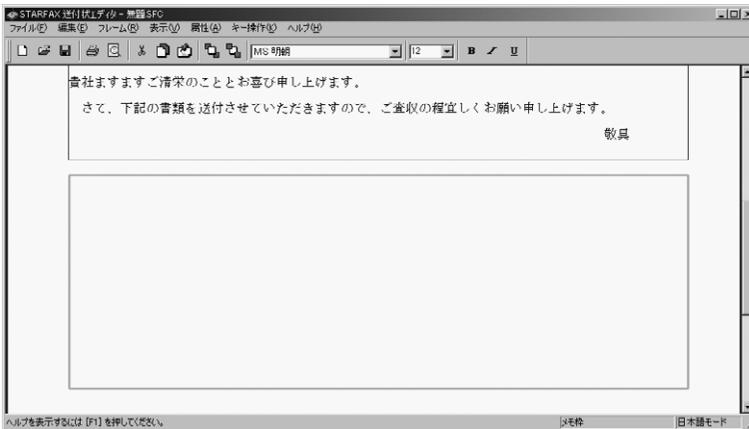
FAX送信の時に、相手先に連絡事項などの文章を入力するためのフレームです。



操作 [フレーム] - [メモ枠] を選択します。



操作 フレームを移動して位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。



メモ枠は、[送付状選択] ウィンドウ内のメモ欄へ入力した文字がFAX送信時に差し込まれるため、この時点で文字を入力する必要はありません。



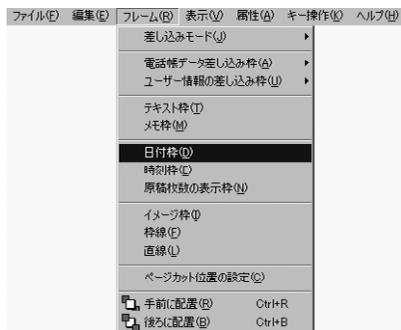
フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●日付枠／時刻枠

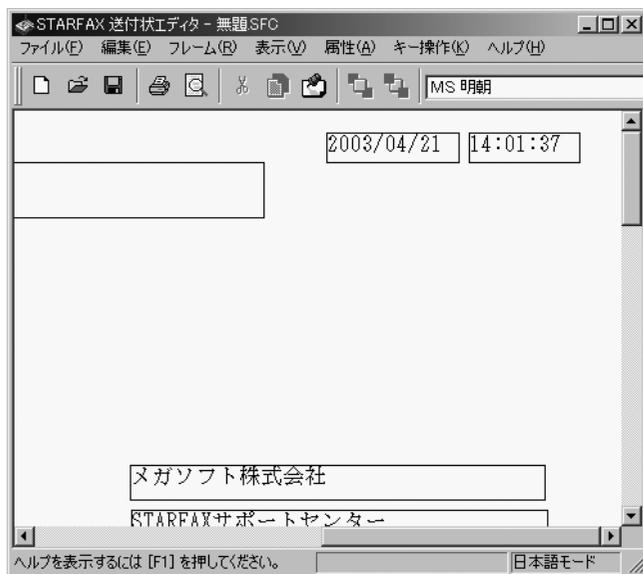
FAX送信時に自動的に日時が差し込まれるフレームを追加します。



[フレーム] - [日付枠] または、[フレーム] - [時刻枠] を選択します。



フレームを移動して位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。



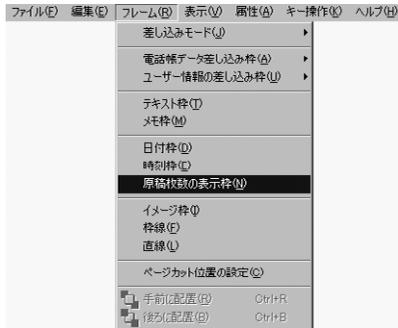
フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●原稿枚数の表示枠

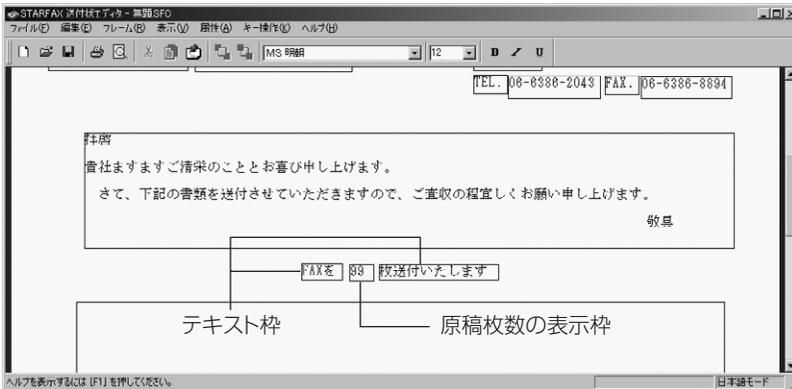
送信する原稿枚数を自動で差し込むフレームを追加します。



操作 [フレーム] — [原稿枚数の表示枠] を選択します。



操作 フレームを移動して位置を設定します。
フレームの大きさを調節します。



「原稿枚数の表示枠」は数字だけを表示しますので、テキスト枠で前後の文章を作成すると相手先に対してわかりやすくなります。



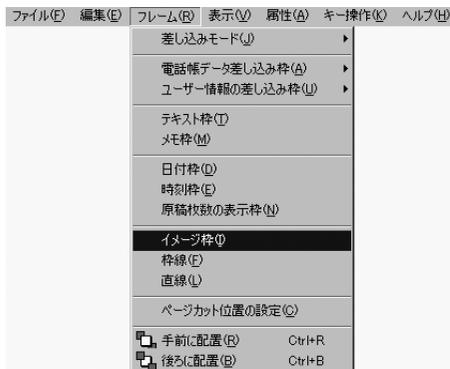
関連項目 フォントやサイズの変更は、84ページをご覧ください。

●イメージ枠

会社のロゴやイラストなどの画像を挿入するフレームを追加します。



「フレーム」－「イメージ枠」を選択します。



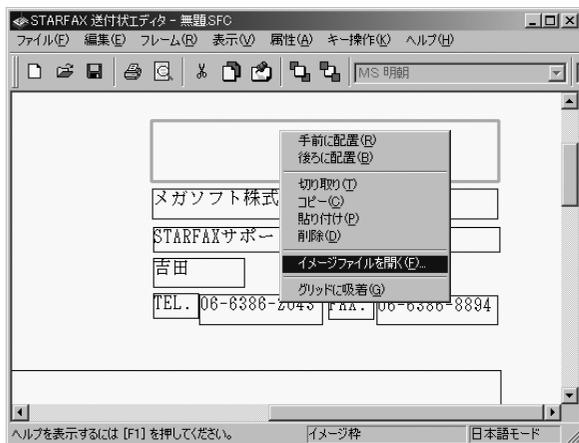
フレームを移動して位置を設定します。

フレームの大きさを調節します。



フレームを右クリックして表示されるメニューから

「イメージファイルを開く」を選択します。





挿入する画像を選択し、**開く(O)** をクリックします。



イメージ枠に読み込める画像の形式は、「ビットマップファイル (bmp)」「PCXファイル」「TIFFファイル」「JPEGファイル」です。



画像が挿入されます。



送付状のイメージ枠に画像を挿入した場合、保存後もその画像データを参照しますので、画像データの削除や移動を行わないでください。

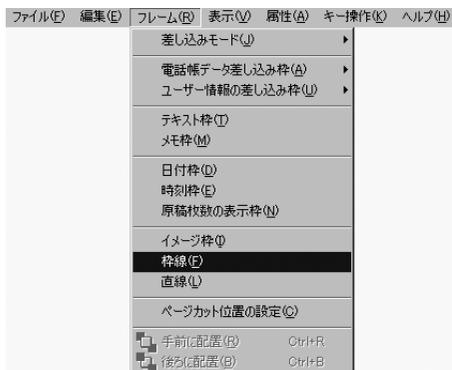
送付状で使用する画像データは、STARFAXをインストールしたフォルダ内の「Coverpage」フォルダに入れておき、その後でイメージ枠に挿入することをおすすめします。

● 枠線枠／直線枠

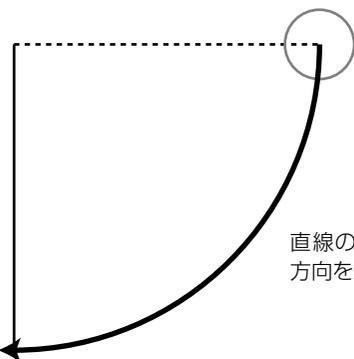
四角形や線を追加します。



[フレーム] - [枠線] または [フレーム] - [直線]
を選択します。



直線は、端点にマウスポインタをあわせてドラッグすると長さを変更することができます。

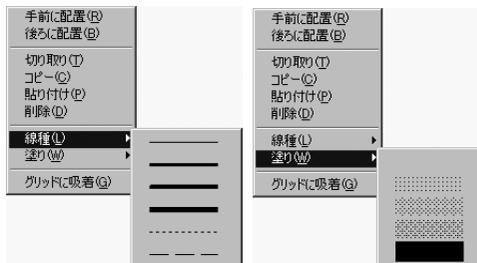


直線の端の点をドラッグすることで
方向を縦に変更することができます。

枠線は他のフレームと同様に線の部分をドラッグすることで
大きさを変更することができます。

直線は、右クリックで表示されるメニューの
[線種] で線の種類と太さを変更することが
できます。

枠線は、同様の操作で [線種] と [塗り] を変
更することができます。



● ページカット位置の設定

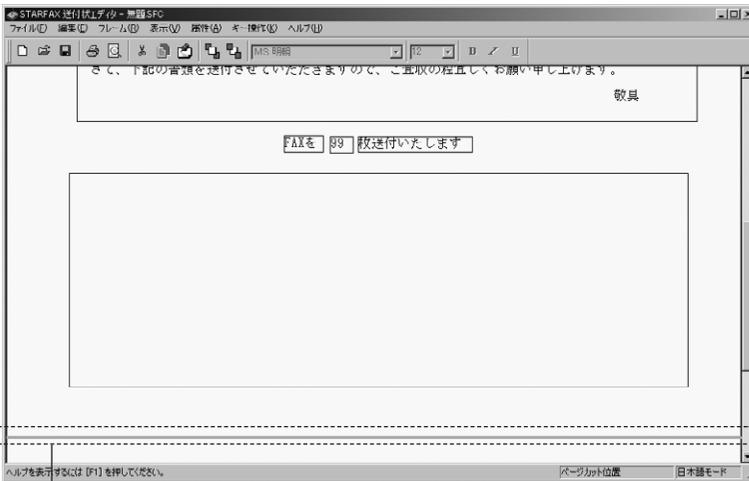
送付状の終了の位置を設定します。



[フレーム] - [ページカット位置の設定] を選択します。



ページカット位置を移動して設定します。



線より上を送付状として送信されます。



ページカット位置を設定すると、それより下の情報は送信されません。例えば送付状が用紙の半分の場合、ページカット位置を設定することで通信時間や相手先の用紙を節約することができます。

送付状の編集（フレーム属性の設定）

●フォントの設定

「電話帳データ差し込み枠」「ユーザー情報の差し込み枠」「テキスト枠」「メモ枠」「日付枠」「時刻枠」「原稿枚数の表示枠」では、表示するフォントやサイズを設定することができます。



設定するフレームをクリックして、[属性] - [フォント] を選択します。



フォント名、スタイル、サイズ、文字飾りを設定して、**OK** をクリックします。



テキスト枠以外のフレームは、右クリックで表示されるメニューから [フォント] を選択することもできます。

送付状の保存

新規作成または、編集した送付状は、ファイル名を付けて保存することができます。



操作 [ファイル] - [名前を付けて保存] を選択します。



保存先を選択して、ファイル名を入力します。
STARFAX マネージャの送付状分類フォルダに登録する場合は、[フォルダへの登録] から登録先のフォルダを選択します。



②ファイル名を入力

③登録するフォルダを選択



補足

STARFAX マネージャの送付状分類フォルダに登録しない場合は、「登録しない」を選択します。



[フォルダへの登録] で指定したフォルダへ送付状が登録されます。

フォルダへの登録 (STARFAX マネージャ)

保存されている送付状ファイルは、保存場所に関係なく STARFAX マネージャの分類フォルダに登録することができます。



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX パーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX マネージャ] を選択します。



送付状ファイルに登録する分類フォルダをクリックして選択します。



ツールバーの  をクリックして、登録する送付状ファイルを指定します。



「送付状」フォルダを右クリックして表示されるメニューから「フォルダ作成」を選択すると、「新規送付状フォルダ」を作成することができます。



登録した送付状データは、「データ表示」ウィンドウで内容を確認することができます。

送付状データの編集 (STARFAX マネージャ)

STARFAXにサンプルとしてインストールされている送付状データを編集して、オリジナルの送付状を作成することもできます。



Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX パーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX マネージャ] を選択します。



編集する送付状ファイルをクリックして選択します。



ツールバーの  をクリックします。



「STARFAX 送付状エディタ」が起動しますので、データを編集します。

送付状データの削除 (STARFAX マネージャ)

保存されている送付状ファイルや、「STARFAX マネージャ」で作成した登録フォルダを削除することができます。

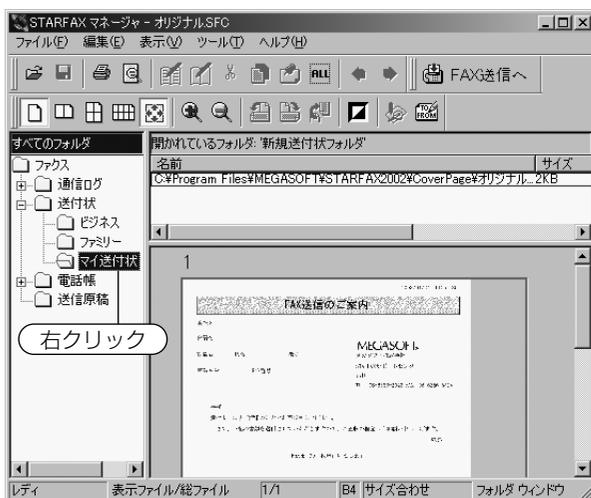
●登録フォルダの削除



Windows [スタート] — [プログラム] — [STARFAX パーソナル] — [STARFAX TOOLS] — [STARFAX マネージャ] を選択します。



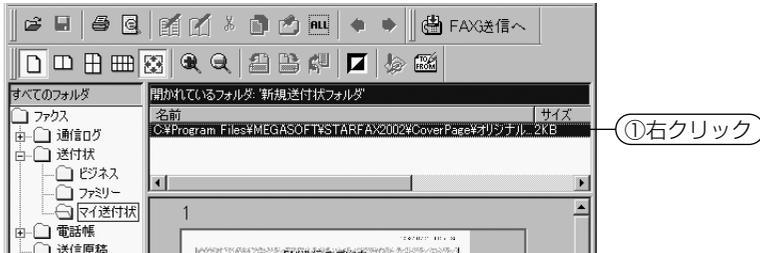
削除する登録フォルダを右クリックして、表示されるメニューから [削除] を選択します。



●送付状データの削除



削除する送付状データを右クリックして、表示されるメニューから [削除] を選択します。



送付状データを削除する場合は、**はい(Y)** をクリックします。登録フォルダへのリンクを解除する場合は、**いいえ(N)** をクリックします。



注意

削除の確認ダイアログで [はい] をクリックした場合、保存されている送付状データが削除され、元には戻せませんのでご注意ください。
[いいえ] をクリックした場合は、登録フォルダへのリンクが削除されるだけで保存されている送付状データは、削除されません。

操作項目

1. ファイル

- 新規作成 : 新規に送付状を作成します。
- 開く... : 保存されている送付状ファイル (SFC/CVRファイル) を開きます。
- 上書き保存 : 現在作業中の送付状ファイルを上書きで保存します。
- 名前を付けて保存... : 現在作業中の送付状ファイルを新しい名前で保存します。
- 印刷プレビュー : ページ全体を表示し、印刷するイメージを確認できます。
- 印刷... : 現在作業中の送付状ファイルを印刷します。
- 以前開いたファイル : 過去に編集、保存を行った送付状ファイルを開けます。
- 送付状エディタの終了 : 送付状エディタを終了します。

2. 編集

- 元に戻す : 1つ前の編集作業を取り消します。
- やりなおし : [元に戻す] 動作を取り消します。
- 切り取り : 選択枠を切り取ります。
- コピー : 選択枠をコピーします。
- 貼り付け : 切り取り、又はコピーした範囲を貼り付けます。
- 削除 : 選択枠を削除します。
- イメージファイルを開く... : イメージファイル名を指定して開きます。
- 文字列の編集... : テキスト枠内の文字列を編集します。

3. フレーム

データを差し込むためのフレーム（枠）を作成します。各フレームはマウスでドラッグすることで、位置を移動したり、枠の大きさを変更することができます。

● 「フレーム」一覧

- 差し込みモード : 登録されている電話帳、ユーザー情報を差し込むモードを選択します。
- 電話帳データ差し込み枠 : 電話帳に登録されている各項目のデータが差し込まれます。
- ユーザー情報の差し込み枠 : ユーザー情報に登録されている各項目のデータが差し込まれます。
- テキスト枠 : テキスト枠を作成します。枠内に文章を自由に入力することができます。
- メモ枠 : メモ枠を作成します。FAX送信時入力できる、[メモ差し込み]に入力されたものが差し込まれます。
- 日付枠 : 日付枠を作成します。現在の日付が差し込まれます。
- 時刻枠 : 時刻枠を作成します。現在の時刻が差し込まれます。
- 原稿枚数の表示枠 : 原稿枚数の表示枠を作成します。FAX送信時、送信される原稿の枚数が差し込まれます。
- イメージ枠 : イメージ枠を作成します。枠内に画像等を貼ることができます。
- 枠線 : 枠線を作成します。
- 直線 : 直線を引きます。
- ページカット位置の設定 : 送付状をカットする位置を指定できます。
- 手前に配置 : 複数の枠が重なっているとき、選択されている枠を手前に置きます。
- 後ろに配置 : 複数の枠が重なっているとき、選択されている枠を後ろに置きます。

●サブメニュー

差し込みモード

- 日本語で枠を差し込む : 日本語モードで差し込まれます。
 英語で枠を差し込む : 英語モードで差し込まれます。

電話帳データ差し込み枠

- 一括 (簡易) : [会社名] [氏名] [敬称] が差し込まれます。
 一括 (普通) : [会社名] [所属名] [役職名] [氏名] [敬称] [電話番号] [FAX番号] が差し込まれます。
 会社名 : 会社名が差し込まれます。
 所属名 : 所属名が差し込まれます。
 役職名 : 役職名が差し込まれます。
 氏名 : 氏名が差し込まれます。
 敬称 : 敬称が差し込まれます。
 郵便番号 : 郵便番号が差し込まれます。
 住所1 : 住所1が差し込まれます。
 住所2 : 住所2が差し込まれます。
 電話番号 : 電話番号が差し込まれます。
 FAX番号 : FAX番号が差し込まれます。



電話帳、ユーザー情報でデータが入力されていない項目は、空欄で表示されます。

ユーザー情報の差し込み枠

- 一括 (簡易) : [会社名] [氏名] が差し込まれます。
 一括 (普通) : [会社名] [所属名] [役職名] [氏名] [電話番号] [FAX番号] が差し込まれます。
 会社名 : 会社名が差し込まれます。
 所属名 : 所属名が差し込まれます。
 役職名 : 役職名が差し込まれます。
 氏名 : 氏名が差し込まれます。
 郵便番号 : 郵便番号が差し込まれます。
 住所 : 住所が差し込まれます。
 電話番号 : 電話番号が差し込まれます。
 FAX番号 : FAX番号が差し込まれます。

4. 表示

ツールバー : メニュー中の操作ならびに状態を表示するバーの、表示または非表示を選択できます。



[新規作成] [開く] [上書き保存] [印刷] [印刷プレビュー]
この5項目は [ファイル] の項をご覧ください。



[切り取り] [コピー] [貼り付け]
この3項目は [編集] の項をご覧ください。



[手前に配置] [後ろに配置]
この2項目は [フレーム] の項をご覧ください。



[フォント設定]
フォントを変更します。



[フォントサイズ]
フォントサイズを変更します。



[太字設定]
太字に変更します。

[斜体設定]
斜体に変更します。

[下線設定]
文字に下線を引きます。

ステータスバー : 操作説明、状態の表示または非表示を選択できます。



[操作説明]

マウスカーソルがある場所の操作についての説明が表示されます。



[モード状態]

設定されている差し込みモードが表示されます。

ズーム : 現在作業中の送付状ファイルの拡大／縮小を変更できます。

拡大 : 2倍に拡大表示します。

標準に戻す : 等倍表示します。

縮小 : 1／2倍表示します。

グリッドの表示 : グリッドの表示または非表示を切り替えることができます。

グリッドサイズ : グリッドの線と線の間隔を25mm／5mm／10mmに設定変更できます。

グリッドへの吸着 : フレームをグリッド線に吸着させます。

プレビュー : 現在作業中の送付状ファイル全体を表示します。



グリッドとは、フレームを揃える際に利用する基準線のことです。

5. 属性

- フォント... : フォントの指定ができます。
- 色の選択 : 色の指定ができます。
- 線種 : 線の種類を、細線／中太線／太線／極太線／点線／破線の中から選択できます。
- 塗り : 網掛けを、なし／5％／10％／15％／100％の中から選択できます。
- グリッドに吸着 : 一番近いグリッドの位置に移動させます。

6. キー操作

- 矢印キーで移動 : キーボードの矢印キーでフレームを上下左右に移動することができます。
- 矢印キーでサイズ変更 : キーボードの矢印キーでフレームの大きさを拡大、縮小できます。

7. ヘルプ

- 目次 : オンラインヘルプを表示します。
- バージョン情報... : バージョン情報を表示します。

STARFAX ビューア

STARFAX ビューアは、受信した原稿や送信原稿フォルダに保存したファイル、新規作成したファイルに対して、文字や図形などを書き加えてFAX送信することができます。

原稿ファイルの表示・編集



Windows [スタート] — [プログラム] — [STARFAX パーソナル] — [STARFAX TOOLS] — [STARFAX マネージャ] を選択します。



表示・編集するデータが登録されているフォルダをクリックして選択し、「リスト表示」ウィンドウからファイルをクリックします。
ツールバーの [表示/編集] をクリックします。



表示・編集できるのは、「通信ログ」
「送信原稿」フォルダのファイルです。



ツールボックスを利用した編集

STARFAX ビューアで表示したデータは、ツールボックスの各ツールを使用して編集することができます。

FAX送信へ : FAX送信へ

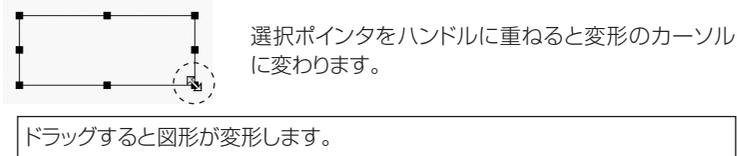
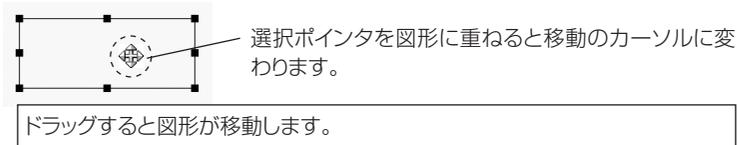
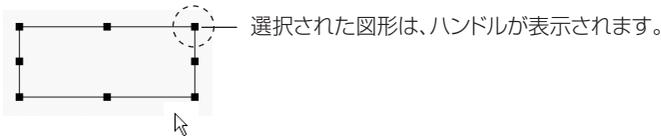
表示している原稿や編集したデータをFAX送信します。

: ハンドツール

データがウィンドウ内でスクロール可能な場合に使用します。原稿上をドラッグするとその方向にスクロールします。

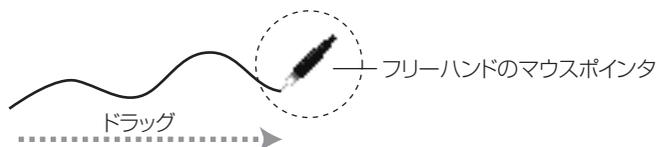
: 選択ポインタ

追加したテキストや図形を選択・移動・変形します。

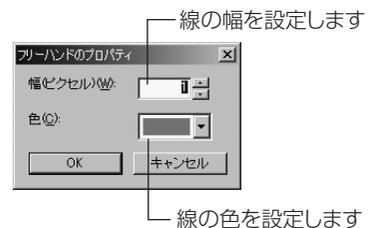


: フリーハンド

ドラッグして線を描きます。



【フリーハンド】 ボタンを右クリックして表示されるメニューから【プロパティ】を選択すると「フリーハンドのプロパティ」ダイアログが表示されます。



マーカー

ドラッグして指定した四角形の範囲を、半透明で塗りつぶします。



[マーカー] ボタンを右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択すると「マーカーのプロパティ」ダイアログが表示されます。



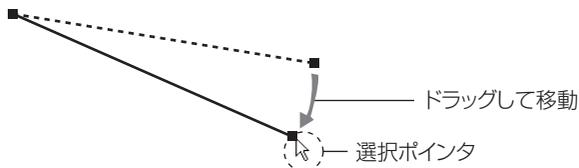
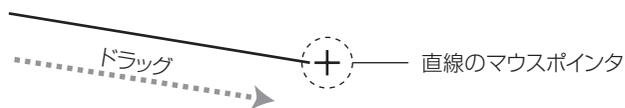
マーカーの色を設定します



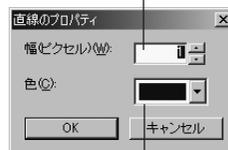
マーカーで塗りつぶされた範囲は、FAX送信時に白黒に変換されます。場合によっては、相手先でマーカー部分が見づらくなることがあります。

直線

ドラッグして直線を描きます。
[選択ポインタ] で直線の方向や長さを変更できます。



[直線] ボタンを右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択すると「直線のプロパティ」ダイアログが表示されます。

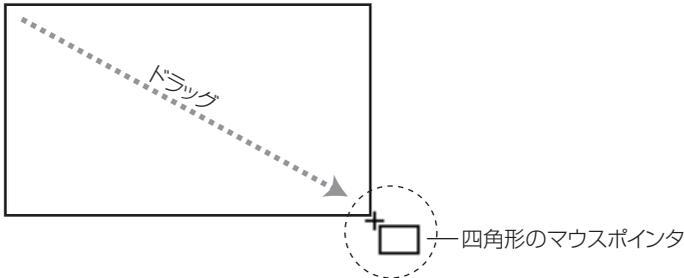


線の幅を設定します

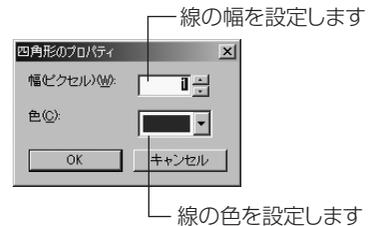
線の色を設定します

□ : 四角形

ドラッグして四角形を描きます。



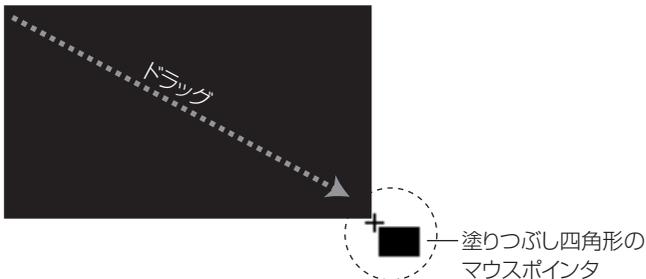
[四角形] ボタンを右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択すると「四角形のプロパティ」ダイアログが表示されます。



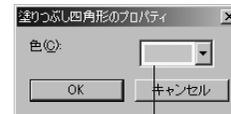
■ : 塗りつぶし四角形

ドラッグして四角形を描きます。四角形の範囲は塗りつぶされます。

「マーカー」とは異なり、半透明にはなりません。



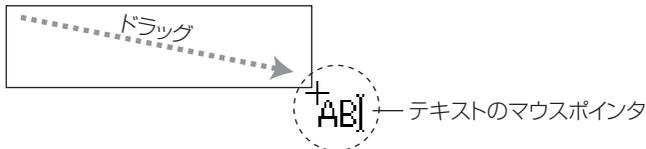
[塗りつぶし四角形] ボタンを右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択すると「塗りつぶし四角形のプロパティ」ダイアログが表示されます。



塗りつぶしの色を設定します

A : テキスト

ドラッグしてテキストボックスを設定します。テキストボックスには、文字を入力することができます。



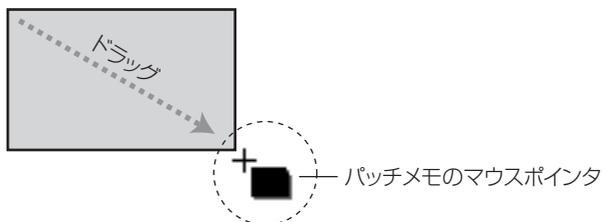
フォントやサイズなどを変更する場合は、[テキスト] ボタン右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。



文字を入力後にフォントやサイズなどを変更する場合は、選択ポインタでテキストボックスをクリックして選択して、右クリックで表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。

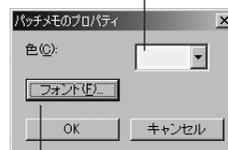
B : パッチメモ

ドラッグしてテキストボックスを設定します。テキストボックスには、文字を入力することができます。外観は、付箋紙を貼り付けたような表示になります。



[パッチメモ] ボタンを右クリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択すると「パッチメモのプロパティ」ダイアログが表示されます。

背景の色を設定します



フォントやサイズなどを変更します

: TWAIN読み込み

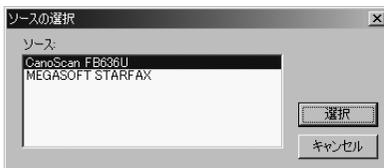
TWAIN対応機器から画像を読み込みます。

○TWAIN機器の設定

最初にSTARFAXからスキャナーを利用する場合に必要な設定です。



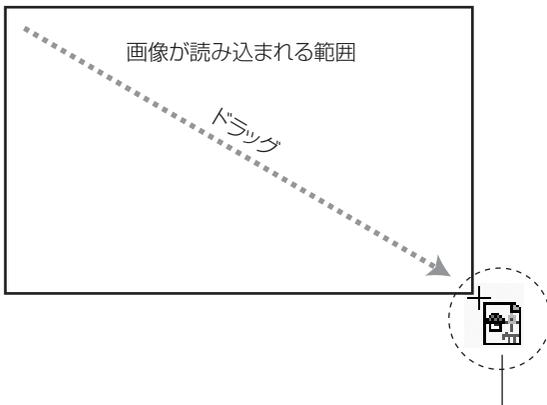
[ファイル] — [TWAIN機器の選択] を選択します。
「ソースの選択」ダイアログが表示され、利用できるTWAIN対応機器の一覧が表示されます。使用するスキャナーをクリックして **選択** をクリックします。



スキャナー以外のTWAIN対応機器（デジタルカメラなど）についてもドライバが対応していれば、画像を読み込むことが可能です。

○TWAIN機器からの読み込み

ドラッグして読み込む画像の範囲を選択します。



TWAIN機器のマウスポインタ

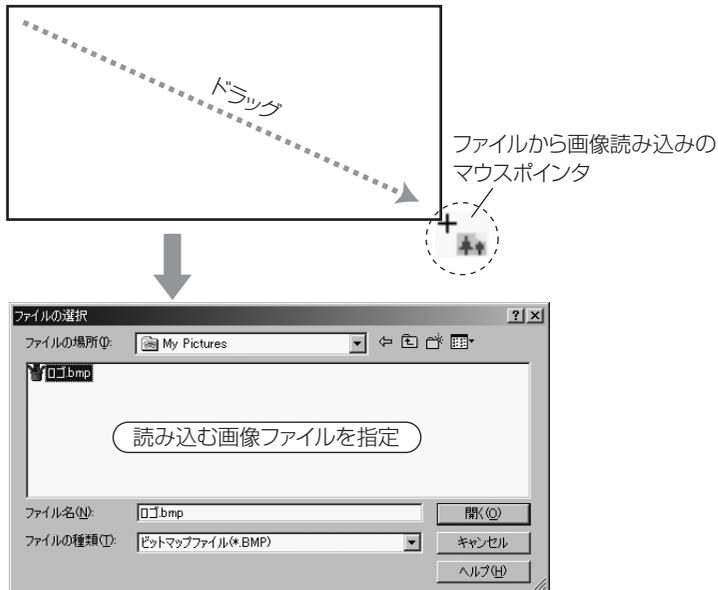
ご利用のスキャナー機器のスキャン画面が起動しますので、原稿をセットし、取り込みます。
スキャナーからの取り込みが終了すると「STARFAX ビューア」に画像が表示されます。



スキャン画面は、ご利用の機器により異なるため、スキャン方法につきましては、スキャナーのマニュアルをご覧ください。

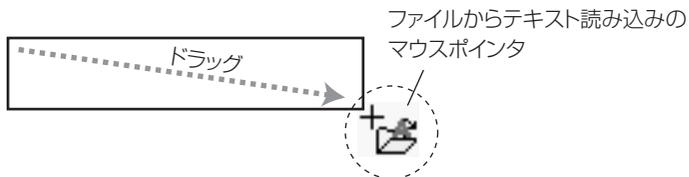
 : ファイルから画像読み込み

保存している画像ファイルを読み込みます。



 : ファイルからテキスト読み込み

保存しているテキストファイルを読み込みます。



「ファイルの選択」ダイアログから、読み込むテキストファイルを選択します。



テキストファイルを読み込む前に、フォントやサイズなどを指定しておくことができます。

「ファイルからテキスト読み込み」ボタンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。



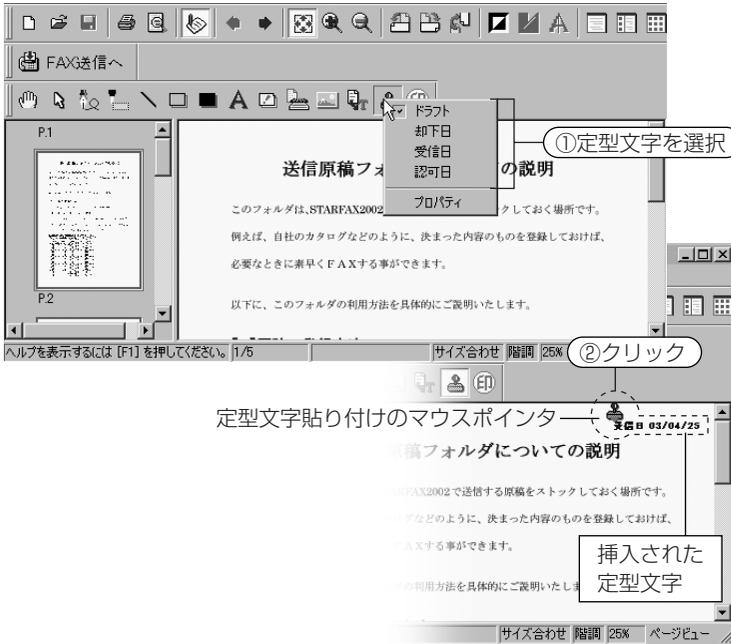
テキストファイルを読み込み後に、フォントやサイズなどを変更する場合は、読み込まれた文字を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選択します。

読み込まれた文字を「STARFAXビューア」で編集することはできません。

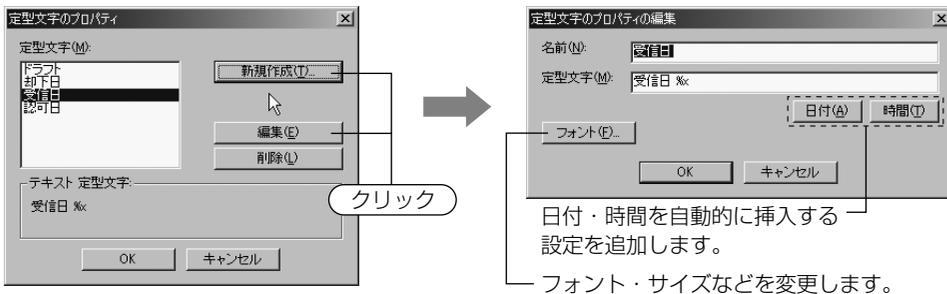
👤 : 定型文字貼り付け

クリックして表示されるメニューから、登録してある定型文や日付などを選択します。

文書内でクリックすると選択した定型文字が挿入されます。



[定型文字貼り付け] ボタンのメニューから [プロパティ] を選択すると定型文字の作成・編集が行えます。



印 : はんこ

クリックして表示されるメニューから登録されている「はんこ」を選択して、文書内でクリックします。



STEP 3

○はんこの作成

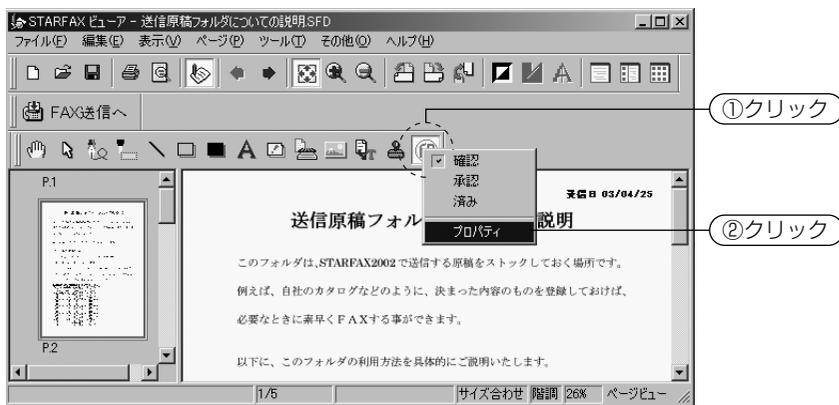
オリジナルの「はんこ」を作成することができます。



「はんこ」は、初期設定で登録されているものも含めて、最大20個まで作成することができます。



「はんこ」ボタンをクリックして表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。

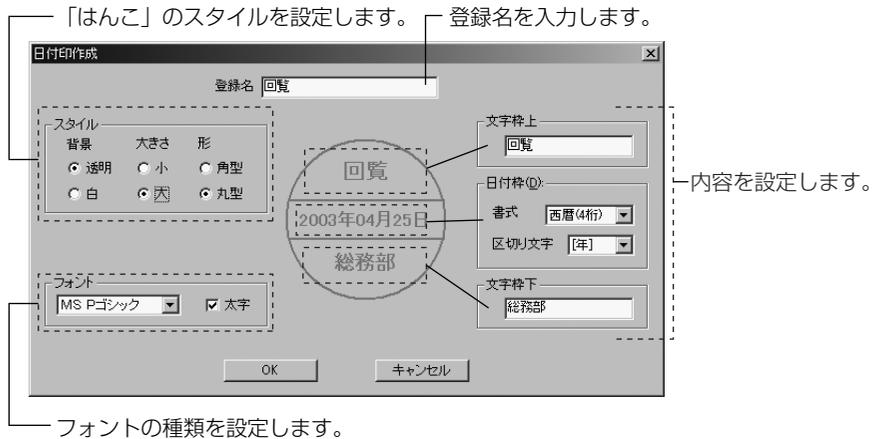




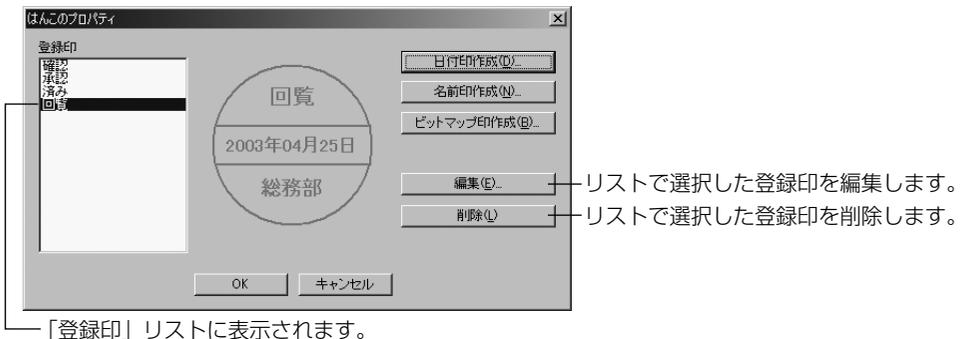
表示された「はんこのプロパティ」ダイアログから「日付印作成(D)...」をクリックします。



表示された「日付印作成」のダイアログで、設定を行います。



「OK」をクリックすると「はんこのプロパティ」へ戻ります。



ツールバーについて

: 新規作成

新規に原稿を作成します。

: 開く

保存してあるファイルを開きます。

: 保存

表示・編集した原稿を「上書き保存」します。

: 印刷

表示・編集した原稿を印刷します。

: 印刷プレビュー

表示・編集した原稿の印刷イメージを表示します。

: ツールボックスの表示

ツールボックスの表示／非表示を切り替えます。

: 前ページ

複数のページがある場合に、前のページを表示します。

: 次ページ

複数のページがある場合に、次のページを表示します。

: サイズ合わせ

原稿を表示エリアの幅に合わせて表示します。

: 拡大

原稿の表示を拡大します。

: 縮小

原稿の表示を縮小します。

: 左に90度回転

原稿を反時計回りに90度回転します。

: 右に90度回転

原稿を時計回りに90度回転します。



開くことができるファイルタイプは、
[.SFD .SFP .SFE .SFQ .FAX .TIF
.BMP .PCX .DCX .JPG .LNK
.SFS .SFU] です。



保存できるファイルタイプは、[.SFD
.SFE .FAX .TIF .BMP .PCX .DCX
.JPG] です。

 : 180度回転

原稿を180度回転します。

 : 白黒反転

原稿を白黒反転します。

 : ページ全体を表示

原稿のみを表示します。

 : ページと縮小表示

原稿と縮小イメージを表示します。

 : 縮小表示

縮小イメージのみを表示します。

原稿の保存



[ファイル] — [名前を付けて保存] を選択します。
保存する場所、ファイル名、ファイルの種類を設定して **保存(S)** をクリックします。



STARFAXの標準の原稿ファイルの形式は、[原稿ファイル(*.SFD)] です。



表示されるダイアログで **はい(Y)** をクリックすると送信原稿フォルダにファイルが登録されます。



STARFAX ログコピーツールについて

STARFAXを何らかの理由で再インストールが必要になった場合に、事前に「STARFAX ログコピーツール」を使用して、通信ログ・電話帳・短縮設定をバックアップしておけば、再インストール後に復元できます。

また、STARFAXのインストール先を変更する場合にも、新しいインストール先に通信ログ・電話帳・短縮設定のデータを復元することで、移動することが可能です。

バックアップの手順

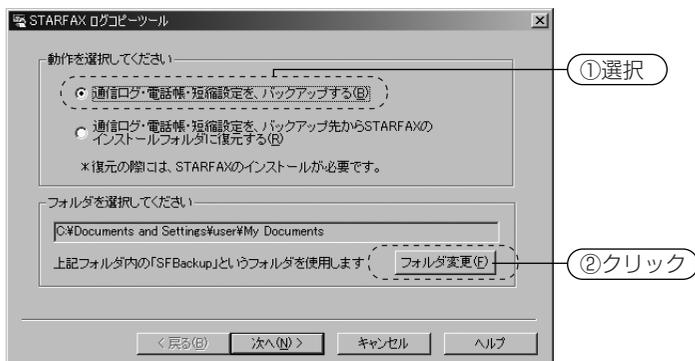


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX パーソナル] - [STARFAX TOOLS] - [STARFAX ログコピーツール] を選択します。



① [通信ログ・電話帳・短縮設定をバックアップする] を選択します。

② バックアップ先を指定する場合は、**フォルダ変更(F)** をクリックします。





表示された「フォルダの選択」ダイアログからバックアップ先のフォルダを選択して、**OK** をクリックします。



ログコピーツールに戻ります。
次へ(N) > をクリックします。



バックアップを開始します。



バックアップが終了すると「完了しました」ダイアログが表示されます。
完了 をクリックします。



バックアップが完了すると、指定したフォルダに [SFBBackup] フォルダが作成され、バックアップデータが作成されます。

復元の手順

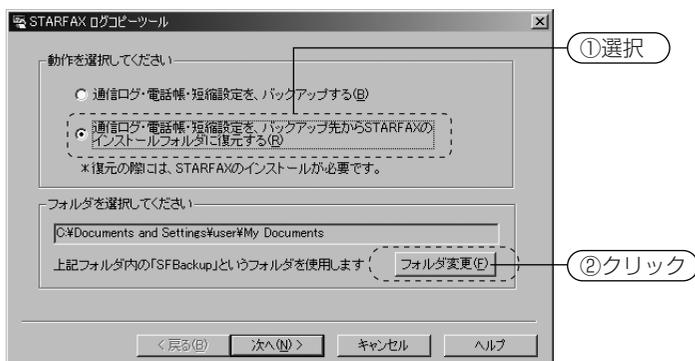


Windows [スタート] — [プログラム] — [STAR-FAX パーソナル] — [STARFAX TOOLS] — [STARFAX ログコピーツール] を選択します。

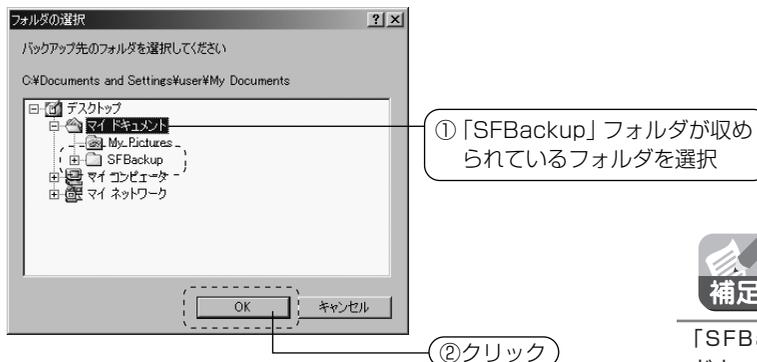


① [通信ログ・電話帳・短縮設定を、バックアップ先からSTARFAXのインストールフォルダに復元する] を選択します。

② **フォルダ変更(F)** をクリックします。



表示された「フォルダの選択」ダイアログから「SFBackup」フォルダが収められているフォルダを選択して、**OK** をクリックします。



「SFBackup」フォルダが「マイドキュメント」フォルダの中にある場合は、「マイドキュメント」フォルダを選択します。



ログコピーツールに戻ります。

次へ(N) > をクリックします。



復元を開始します。



復元が終了すると「完了しました」ダイアログが表示されます。

完了 をクリックします。



復元先は、STARFAXがインストールされているフォルダが自動的に検出されます。

それ以外のフォルダに復元することはできません。

ファイル別操作方法

住所録コンバータでSTARFAX電話帳へインポートできるファイル形式は、筆美人Ver.5 Ver.6/筆まめVer.11/OutlookエクスポートCSV/CSV（カンマ区切りテキスト）/MDB（アクセスのファイル形式）です。

また、CSV、MDB以外は、項目の関連付けが不要です。

・筆美人Ver.5 Ver6

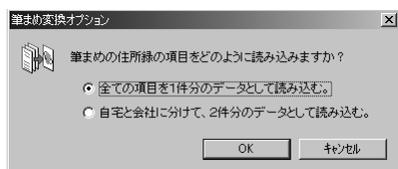


「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。

・筆まめVer.11



変換させたい項目を選択します。



選択後 **OK** をクリックします。



「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。

・OutlookからエクスポートCSVファイル



「住所録コンバータ」の「変換元のファイル」－「ファイルの種類」でファイルを選択し **変換** をクリックします。

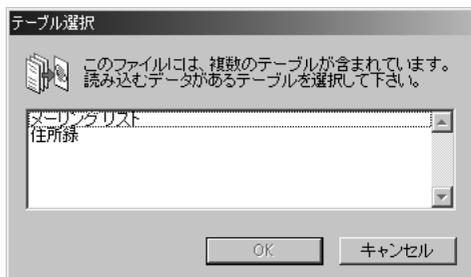


OutlookExpressからのCSVファイルの場合
1件ごとの項目振り分けが必要です。CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

・MDBファイル



変換させたいテーブルを選択します。



Access 2000/2002は、「旧ファイル形式 (MDB)」で保存したファイルを使用します。



選択後 をクリックします。



MDBファイルは、1件ごとの項目振り分けが必要です。
CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

・CSVファイル



CSVファイルは、1件ごとの項目振り分けが必要です。
CSV、MDBからの変換項目へ進みます。

○CSV、MDBからの変換



操作 項目を選択します。



操作 [変換元ファイル] より項目を選択し、対応させたい [STARFAXの項目] をクリックします。



操作 項目を対応させます。



操作 項目設定⇒ をクリックします。

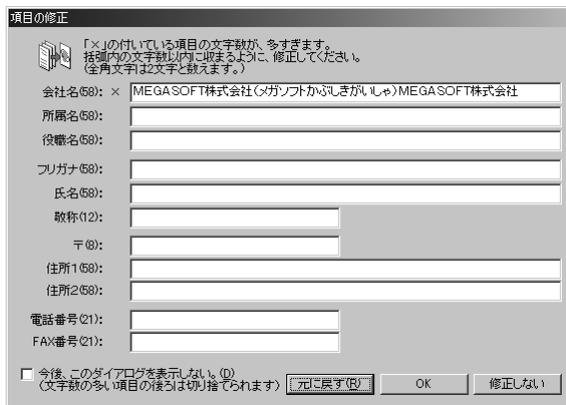
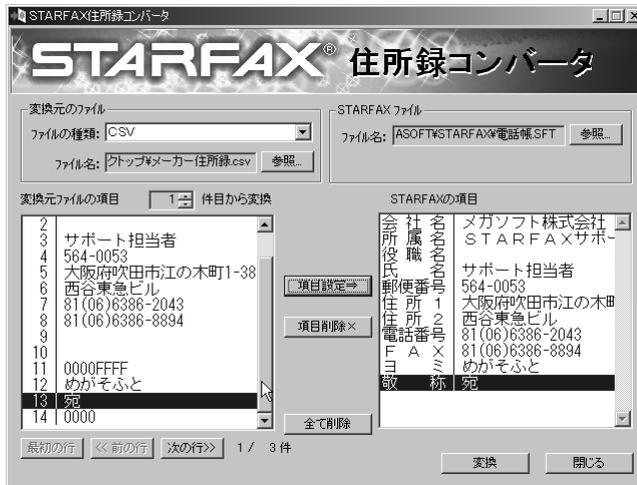


確認 [STARFAXの項目] へ [変換元ファイル] の項目が移動したことを確認します。

ユーティリティプログラム



変換 をクリックします。



文字数がオーバーしている項目がある場合起動します。文字数を修正してください。



完了したことを確認します。

オンラインアップデート

オンラインアップデートを利用することで、STARFAXの最新のアップデートが弊社アップデートサイトに登録されているかを確認し、登録されている場合は、ダウンロードを行い、自動的にプログラムを更新します。

オンラインアップデートを利用するためには、インターネットへ接続できる環境が必要です。

オンラインアップデートの手順

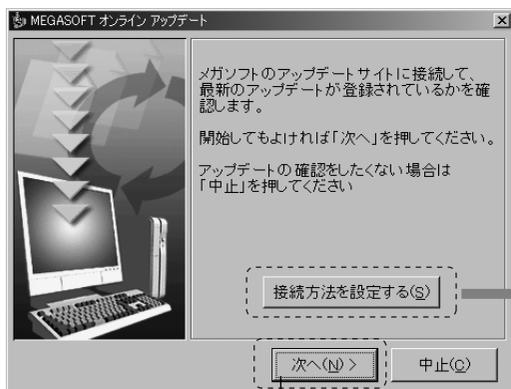


Windows [スタート] - [プログラム] - [STARFAX パーソナル] - [オンラインアップデート] を選択します。

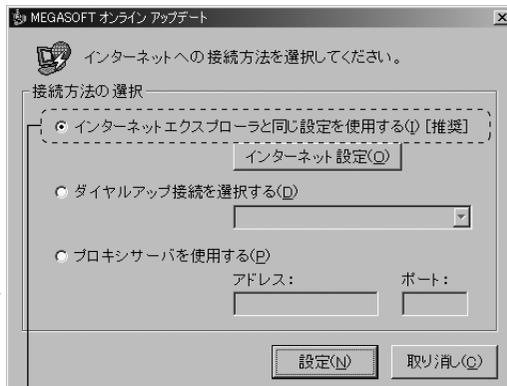


インターネットに接続できる環境であれば、接続方法を設定する必要はありません。

次へ(N) > をクリックします。



クリック



接続方法は、通常「インターネットエクスプローラと同じ設定を使用する」を使用します。インターネットへ接続できる環境であれば変更の必要はありません。



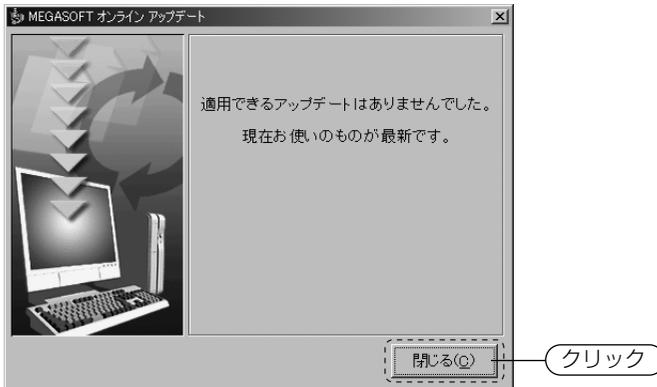
アップデートサイトに接続して、最新のアップデートが登録されているか確認します。



●アップデートがない場合



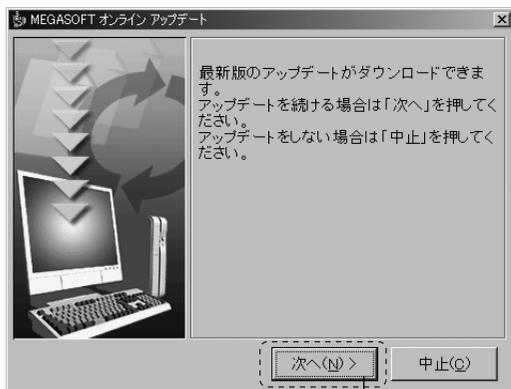
閉じる(Q) をクリックします。



●アップデートがある場合



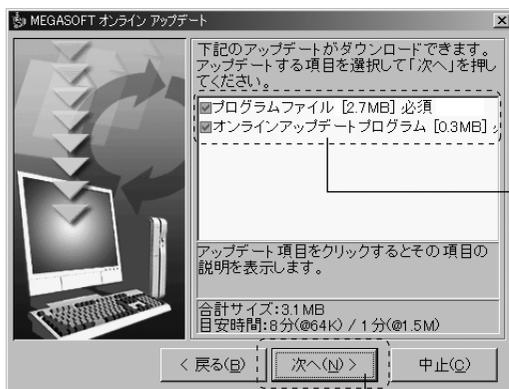
アップデートがダウンロードできる場合は、下図のような画面が表示されますので、**次へ(N) >** をクリックします。



クリック



アップデートする項目を選択して、**次へ(N) >** をクリックします。

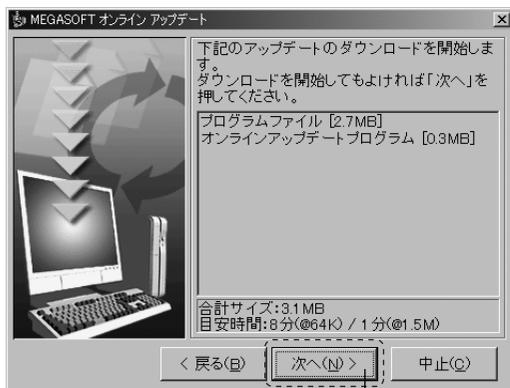


①アップデートする項目を選択
必須のアップデートは、選択解除
できません。

②クリック



アップデートする項目の確認画面が表示されますので、**次へ(N) >** をクリックします。



クリック



画面に表示される、アップデートの種類や合計サイズ、目安時間は、アップデートの内容によって異なります。



ダウンロードが開始されます。



ダウンロード完了後、プログラムの更新を行うために、インストーラーが起動することがあります。



アップデートの完了の画面が表示されましたら、**閉じる(C)** をクリックします。



クリック

原稿取り込みツール

受信原稿を画像ファイルに保存することなく、TWAIN機器対応のOCRソフトや画像編集ソフトで読み込み利用することができます。

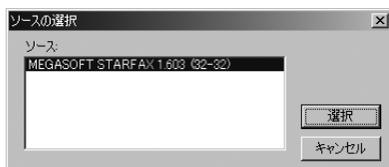


各アプリケーションによってTWAIN対応機器の選択や取り込み方法は、異なります。

詳細は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。



利用するアプリケーションの [TWAIN対応機器の選択] を選択して、[MEGASOFT STARFAX] を選択します。



[TWAIN対応機器からの入力] を選択すると、「原稿取り込みツール」が起動します。

左の [受信リスト] をクリックすると、右側にプレビューが表示されますので、それを確認して **取込み** をクリックします。

アプリケーションに、選択した受信データが読み込まれます。



取り込みは、ページ単位で行われますので、複数のページがある原稿の場合は、[ページ送り] ボタンを使用して取り込むページを表示させてから **取込み** をクリックします。

ページ送りボタン

STARFAXのアンインストール

STARFAXのアンインストール方法を説明します。

アンインストールに先立って、STARFAXで使用していたデータのバックアップや、STARFAXメニューの登録を削除する必要があります。アンインストールの際は、下記をご確認の上、十分注意して実行してください。

データのバックアップ

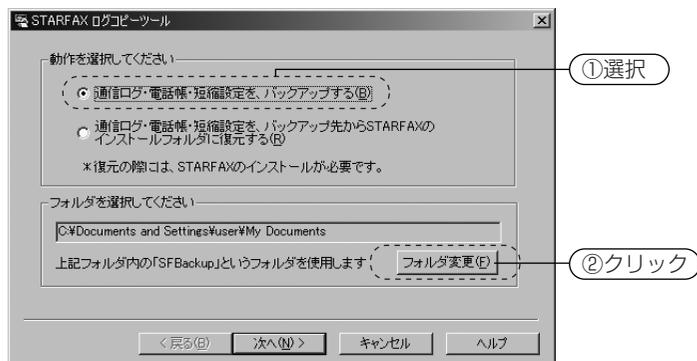
アンインストールする前にデータをバックアップしておく、それまで使用していたデータを再インストール後も引き続き利用できます。



Windows [スタート] – [プログラム] – [STARFAX パーソナル] – [STARFAX TOOLS] – [STARFAX ログコピーツール] を選択します。



- ① [通信ログ・電話帳・短縮設定をバックアップする] を選択します。
- ② バックアップ先を指定する場合は、**フォルダ変更(F)** をクリックします。





表示された「フォルダの選択」ダイアログからバックアップ先のフォルダを選択して、**OK** をクリックします。



ログコピーツールに戻ります。
次へ(N) > をクリックします。



バックアップを開始します。



バックアップが終了すると「完了しました」ダイアログが表示されます。

完了 をクリックします。



バックアップが完了すると、指定したフォルダに [SFBBackup] フォルダが作成され、バックアップデータが作成されます。

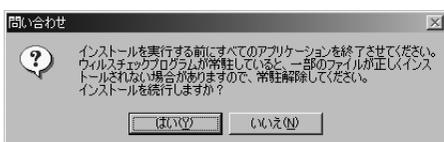
アンインストールの実行



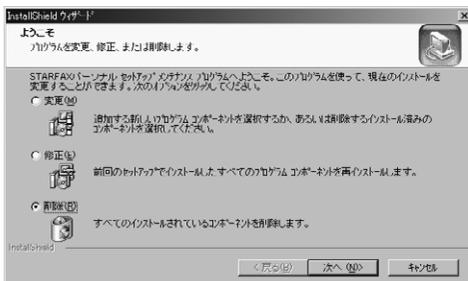
Windows [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックし、[アプリケーションの追加と削除] を起動します。



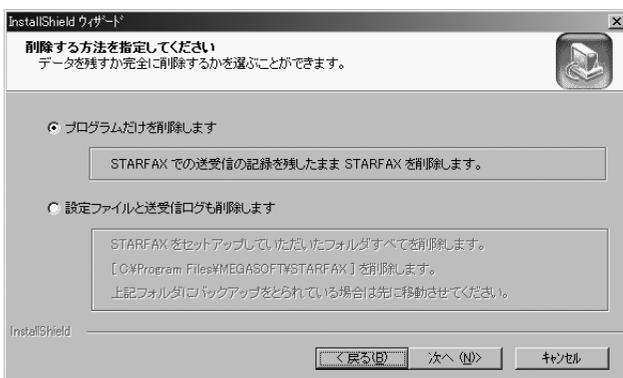
プログラムの一覧から「STARFAXパーソナル」を選択し [追加と削除] をクリックします。
「問い合わせ」のダイアログが表示されましたら、**はい(Y)** をクリックします。



[削除] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



[削除する方法] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



[プログラムだけを削除します] を選択した場合、送受信ログ、電話帳、設定ファイルは削除されません。
[設定ファイルと送受信ログも削除します] を選択した場合、STARFAXのすべてのプログラム、送受信ログ、電話帳、設定ファイルを削除します。



アンインストールを開始します。



アンインストール中に、下図のようなダイアログが表示された場合は、[次回からこのメッセージを表示しない。] にチェックを入れ **はい(Y)** をクリックします。



アンインストール中に、下図のようなダイアログが表示された場合は、[次回からこのメッセージを表示しない。] にチェックを入れ **再起動(R)** をクリックします。



削除が完了したら下図の画面が表示されます。
[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択して、**完了** をクリックします。



トラブルシューティング

STARFAXをご使用の上で、問題が発生したときは、下記の手順に従って解決してください。

サポートセンターに問い合わせの多い質問

130
ページ

プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法

Windows XPの場合

144
ページ

Windows 2000の場合

151
ページ

Windows MEの場合

158
ページ

Windows 98の場合

163
ページ

メッセージリスト

168
ページ

サポートセンターに問い合わせの多い質問

項目(エラーに関連のある項目を記載しています)

症状(実際に発生するエラーを記載しています)

サポートNo.

症状をご確認の上、対応するサポートNo.の項目をご覧ください。

FAX通信に関するトラブルシューティング

●FAX送信ができない場合

ADSL環境で正しく動作しない

1 2 6 7

ISDN環境で正しく動作しない

1 2 3 4 5 6 7

どこへかけても「相手ファクシミリからの応答がありません」
または、「話し中です」と表示される

1 2 3 4 5 6 7

送信中に「通信エラーが発生しました」と表示される

7 8 9 10 11 12

電話番号の先頭に不要な番号が付く、もしくは重複する

11

携帯電話、PHSから送信ができない

2 8 9 10 11 12 13 14 15

複数のサイズが混在した原稿、または、意図した通りのサイズ
で原稿が送信されない。

6 8 9

特定の市内、市外へ送信できない。

7 8 9 10

アプリケーションから印刷操作を行い、[FAX送信] ボタンを
クリックしても反応がない。原稿がトレイに乗っていない。

25

●FAX受信ができない場合

携帯電話、PHSで受信ができない。

2 6 8 9 13 14 16 17

ISDN環境で正しく動作しない。

1 2 3 4 5 6 8 9 17

ADSL環境で正しく動作しない。

1 2 6 8 9 17

●STARFAX ステーションが起動できない場合

「モデムが見つかりません」と表示される

18 19 20

「COMポートが見つかりません」と表示される

18 19 20

STARFAX マネージャに関するトラブルシューティング

電話帳がなくなった。	21 22 23 24
ログが開けない。	23 24
表示／編集が起動しない。	23

STARFAX ビューアに関するトラブルシューティング

ビューアが起動しない。	23
-------------	----

サポートNo. 1

初めてSTARFAXをご利用になる場合、接続が正しく行われていない可能性があります。接続ガイド（別紙）39ページの「送受信が行えない時の対処法」をご覧ください。

サポートNo. 2

ご利用のモデムがFAX通信機能を搭載したFAXモデムであることをご確認ください。FAX機能を搭載しているかどうかは、モデムメーカーにご確認ください。

サポートNo. 3

STARFAXはFAXモデム専用のアプリケーションのため、直接TA/ルーターを使用しません。TA/ルーター側でTELとFAXが利用できるよう「アナログポート」を設定し、その「アナログポート」と、FAXモデムの「ラインポート」とモジュラーケーブルで、接続する必要があります。TA/ルーターの設定についてはTA/ルーターメーカーへお問い合わせ下さい。ケーブルの接続方法については、接続ガイド（別紙）39ページ「送受信が行えない時の対処法」をご覧ください。

サポートNo. 4

ISDN回線を使用している場合、TA/ルータの「アナログポート」ごとに、「TEL用」、「TEL/FAX」用と個別の設定になっている場合があります。「TEL」用の設定ではFAXの送受信ができませんので、必ず「TEL/FAX」用の設定になっている「アナログポート」をご利用ください。TA/ルータの設定については各TA/ルーターメーカーにお問い合わせください。

サポートNo. 5

TA/ルータなどでワイヤレスなどのTA/ルータがありますが、ワイヤレスなどをご利用の場合は、無線でデータを送っていますので、シビアなタイミングのやり取りを行っているFAX通信では、データの劣化やワイヤレスの通信による、タイミングのずれなどで、FAX送信が行えなくなる可能性があります。できるだけFAX通信ではワイヤレスを使用しないようにしてください。

サポートNo. 6

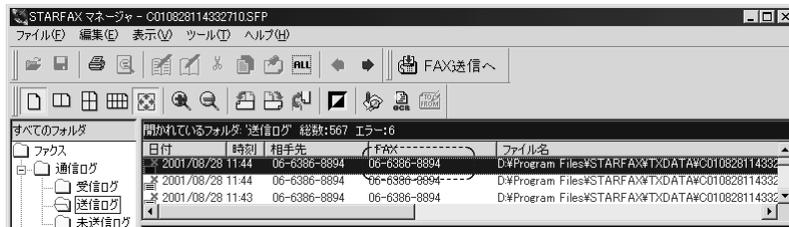
FAX送信を行っている時にFAXの信号にノイズが入っていると考えられます。電圧の高い電線などの近くは、ノイズが入りやすくなります。モジュラーケーブルを短くするか、引き方を変更してください。ISDN回線をご利用の場合はTA/ルータとモデムとの間のモジュラーケーブルを長く引きすぎると、ノイズが入る場合があります。モジュラーケーブルを短くするか、引き方を変えてください。

詳しくはNTTもしくは、配線工事業者にお問い合わせください。

サポートNo. 7

入力されたFAX番号に間違いがないことを確認してください。

「STARFAXマネージャ」-「送信ログ」の「FAX」項目で番号を確認してください。



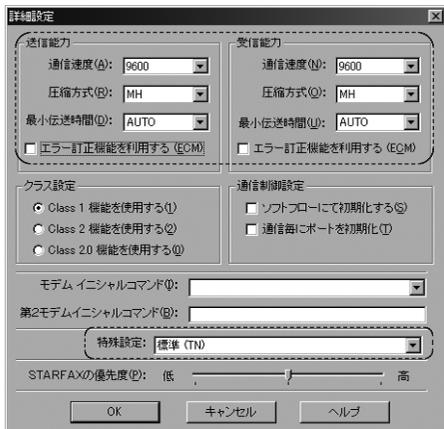
サポートNo. 8

1. 「STARFAX 環境設定」-「モデム設定」タブを起動します。
2. 「モデムの詳細設定」をクリックします。
3. 「フロー制御設定」の「ソフトフローにて初期化する」にチェックを入れます。
4. 「モデムイニシャルコマンド」から「+fclass=1」を選択します。



サポートNo. 9

1. 「STARFAX環境設定」－「モデム設定」タブを起動します。
2. 「モデムの詳細設定」をクリックします。
3. 「送信能力」、「受信能力」の「通信速度」を「9600」以下に設定します。
4. 「送信能力」、「受信能力」の「圧縮方式」を「MH」に設定します。
5. 「送信能力」の「エラー訂正機能を利用する (ECM)」のチェックをはずします。



電話帳に登録している相手先の場合、「STARFAXマネージャ」－「電話帳」から「編集」メニューの「電話帳の編集」を起動させて、「高度な設定」をクリックすることで、「通信速度」、「圧縮方式」、「エラー訂正機能を利用する (ECM)」の設定を行うことができます。



携帯電話、PHSの場合は、「通信速度」を「4800」以下にしてみてください。

サポートNo. 11

ご利用のパソコンの所在地情報の国番号が日本以外に設定されていることが考えられます。

Windows98/MEの場合

[コントロールパネル] から [テレフォニー] を起動し [国/地域] を [日本] に設定します。

Windows2000/XPの場合

[コントロールパネル] から [電話とモデムのオプション] を起動します。

[ダイヤル情報] タブの使用している所在地情報をクリックし [編集] ボタンをクリックし [国/地域] を [日本] に設定します。

サポートNo. 12

「電話帳」を使用して送信する際に、「発信元」と「送信先」の市外局番が同じ番号である場合、プログラム側で自動的に「市外局番」をダイヤルせずに送信します。

この時、「送信先」が、「発信元」と「同じ市外局番」で「異なった都市」に存在する場合、NTTが局内で信号を転送する関係上「市外局番」がダイヤルされていないと送信できません。

従って、「同じ市外局番」の「異なった都市」へ「電話帳」を使用して送信する場合、「電話帳」への登録をする場合、「FAX番号：」欄の番号も市外局番から入力することで送信が可能です。

例) [市外局番：06] [FAX番号：06-6386-8894]

電話帳の編集

会社名: マガソフト株式会社

所属名: STARFAXサポートセンター

役職名:

氏名: サポート担当者

読み: めがそふと 敬称: [宛]

国番号: 日本 (81) 電話番号: 6386-2043

市外局番: 06 FAX番号: 06-6386-8894

〒: 604-0053 通信経路:

住所1: 大阪府吹田市江の木町1-38

住所2: 西谷東急ビル

備考:

キーワード:

短縮ダイヤル設定(S)... グループの設定(G)... 高度な設定(H)...

OK キャンセル

サポートNo. 13

CdmaOneの場合は、モデムの規格がClass2.0規格のモデムとなっておりますので、「STARFAX環境設定」－「モデム設定」タブの「モデムの詳細設定」－「クラス設定」で「Class2.0 機能を使用する」にチェックを入れてください。



「モデムイニシャルコマンド」で「+fclass=1」を選択している場合は、空欄にしてください。



サポートNo. 14

携帯電話やPHSの場合は、有線ではありませんので、ノイズが混入しやすくなります。携帯電話やPHSでのFAX通信を行う際は、通信の妨害になるものが比較的少ない環境で、携帯用、もしくは、PHS用のアンテナの傍で通信を行う事をお勧めします。

サポートNo. 15

NTT DoCoMoのPHSをご利用の場合はPTE経由で送信する必要があります。
送信方法は以下の通りです。

1. 「STARFAX環境設定」－「モデム設定」タブの「ダイヤル方法」を「パルス」に設定します。



2. 送信の際の電話番号は次のように設定します。

[PTEの番号] * [FAX番号] #32

例：大阪のPTE（06-6467-2555）を使用して、メガソフトのFAX（06-6386-8894）へFAX送信する場合。

0664672555*0663868894#32

「#32」はFAX用PTE局が、PIAFSの32K通信でプロトコル変換を行うため、32Kで通信を行うようにするための命令です。NTT DoCoMoの32K通信機種の場合は「#32」が必要ありません。各地のPTE局の電話番号やPTEにつきましては、NTTにお問い合わせください。



PTEとは「プロトコル変換装置」の略で、デジタル信号をアナログモデム信号に変換したり、ISDN64K信号に同期させる装置です。PTEにつきましてはNTTにお問い合わせください。

サポートNo. 16

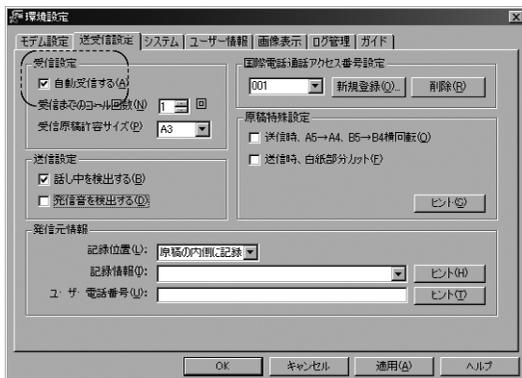
PHSはFAXを受信させるためのサービスをしている交換局がないため、PHSでの受信は行えません。



携帯電話ではFAXを受信させるためのサービスをしている交換局があるので、携帯電話によるFAX受信ができます。

サポートNo. 17

「STARFAX環境設定」－「送受信設定」タブの「受信設定」で「自動受信する」にチェックを入れてください。



「受信までのコール回数」が「0」回になっていると、自動受信ができません。

サポートNo. 18

パソコンが赤外線ポートを持っている機種の場合で、赤外線ポートの設定が「無効」状態になっている場合、赤外線ポートを「有効」にしてください。逆に現在の設定が「有効」状態になっている場合、「無効」状態にしてください。詳しくはパソコンメーカーにご確認ください。

サポートNo. 19

「STARFAX環境設定」－「モデム設定」タブの「モデム/ポートの選択」でモデムが接続されているポートを直接選択してください。



サポートNo. 20

他のアプリケーションと通信ポートが競合している可能性があります。通信ポートを使用する他のアプリケーションを終了してください。タスクトレイに常駐している場合も通信ポートを使用している可能性がありますので、ご確認ください。



ウイルスをチェックするアプリケーションの中には通信ポートを使用するアプリケーションもありますので、ウイルスをチェックするアプリケーションが起動している場合も終了してください。

サポートNo. 21

電話帳作成時に保存を行っていない可能性があります。電話帳を作成しましたら、必ず保存を行ってください。電話帳ファイルに保存を行っていない場合、「STARFAXマネージャ」を終了する際に、保存を促すメッセージが表示されますので、必ず保存を行ってください。

サポートNo. 22

「新規作成」などを行ったなどの理由で、新規の画面になったものと思われます。「STARFAXマネージャ」の「ファイル」メニューより、「開く」で、作成された電話帳を開きなおしてください。

サポートNo. 23

解決策として、ビデオカードのドライバのアップデートが必要です。

この現象は、以下のようなプログラムの流れで発生します

STARFAXからビデオカードのドライバに画像表示の要求を出した後、ドライバからWindowsに画像の描画を要求します。

しかし、Windowsが、画像表示に必要なメモリ（通常リソースエリアのメモリ）をビデオカードのドライバの描画用に確保することができない場合、エラーを返します。そのエラーをビデオカードのドライバはSTARFAXにそのまま返すため、このような現象が出ます。

以前から同様の問題がありましたが、その時点での最新ドライバでは正常化せず、その後提供された最新版を適応して改善されることもあり、必ずしも現時点で提供されている最新版ドライバで改善されるとは限りません。

最新版ドライバに関しましては、パソコンメーカー、及び、ビデオカードメーカーへお問い合わせください。

現時点で提供されている最新版ドライバで改善されない場合、一時的な回避策として、Windowsのハードウェアの「アクセラレータ」設定を低いレベルに調整することで回避できることもあります。

下記2項目の設定調整を行ってください。

1. 「コントロールパネル」－「システム」－「パフォーマンス」－「グラフィックスの詳細設定」の「ハードウェアアクセラレータ」の利用度を「最大」ではなく、「なし」の一つ上ぐらいに調整します。



2. 画面解像度またはカラーモードを落とします。

ただし、この方法は、根本的な原因であるビデオカードのドライバ側での改善がなされてはいませんので、あくまで回避策にすぎません。

最終的にはビデオカードのドライバ側での改善が必要となります。

また、辞書ソフトをインストールした環境でも、同様の現象が発生する場合があります。ご利用の辞書ソフトの最新バージョンがございましたら、最新版をインストールすることで、現象が改善される場合があります。

サポートNo. 24

項目が正しく表示されていないことが考えられます。
 この場合項目の再表示操作を行なうことで元の状態に戻すことができます。

- ① 「STARFAX マネージャ」を起動して表示されていない「電話帳」や「送受信ログ」フォルダをクリックします。
- ② メニューより [表示] - [項目の表示] をクリックし、[表示項目の設定] 画面を表示します。



④ クリック

③ クリック

- ③ **リセット(R)** をクリックします。
- ④ **OK** をクリックします。

サポートNo. 25

プリンタドライバが正しく動作していない事が考えられます。[コントロールパネル] から [プリンタ] を開き [MEGASOFT STARFAX] を削除後プリンタドライバを再度登録してください。登録方法はマニュアル144ページの「プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法」をご覧ください。

プリンタドライバ [MEGASOFT STARFAX] 再登録方法

Windows XPの場合

● STARFAXプリンタドライバの登録の開始

STARFAXのインストールCD-ROMをパソコンにセットします。

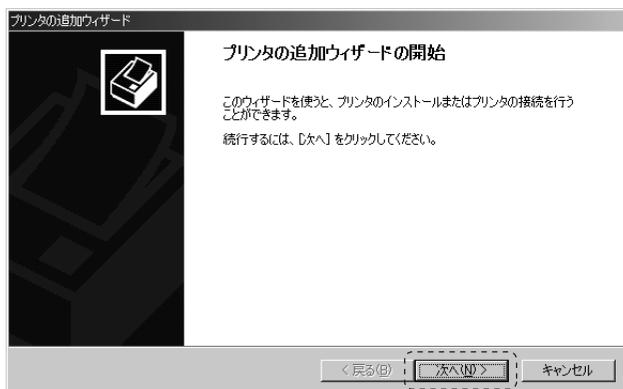


STARFAXのインストール画面が表示されましたら、[終了]をクリックします。



[マイコンピュータ] — [コントロールパネル] — [プリンタ] を開きます。

[プリンタの追加] をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



クリック

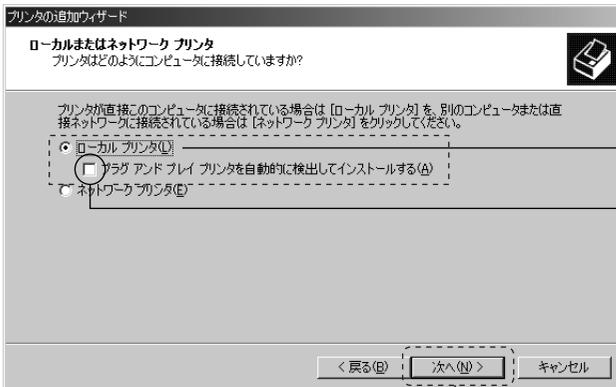


「次へ(N) >」をクリックします。

パソコンがネットワークに接続されている場合は、
[ローカルまたはネットワークプリンタ] のダイアログ
が表示されます。



- ① [ローカルプリンタ] を選択します。
- ② [プラグアンドプレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックをはずします。
- ③ **次へ(N) >** をクリックします。



- ① 選択
- ② クリックしてチェックをはずします
- ③ クリック



- ① [次のポートを使用] を選択します。
- ② ポート一覧内に [STARFAX] があるか確認します。



- ① 選択
- ② 確認



すでにポート一覧に [STARFAX] ポートがある場合は、148 ページをご覧ください。

トラブルシューティング

一覧内に [STARFAX] がない場合は、新しく STARFAX 用ポートを作成し、出力先として指定します。



- ① [新しいポートの作成] を選択します。
- ② メニューから [Local Port] を選択します。
- ③ **次へ(N) >** をクリックします。



② [Local Port] を選択

③クリック

①選択



ポート名に [STARFAX] と入力し **OK** をクリックします。





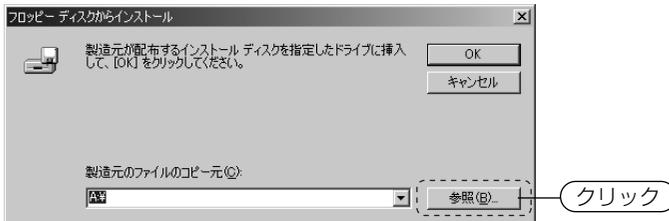
操作

ディスク使用(H)... をクリックします。



操作

参照(B)... をクリックします。



操作

[マイコンピュータ] — [CD-ROM (SFPERSON-AL_500)] — [WINXP] の順に開きます。
「OEMSETUP.INF」を選択して **開(O)** をクリック します。



操作

「フロッピーディスクからのインストール」画面に戻 りましたら **OK** をクリックします。

トラブルシューティング



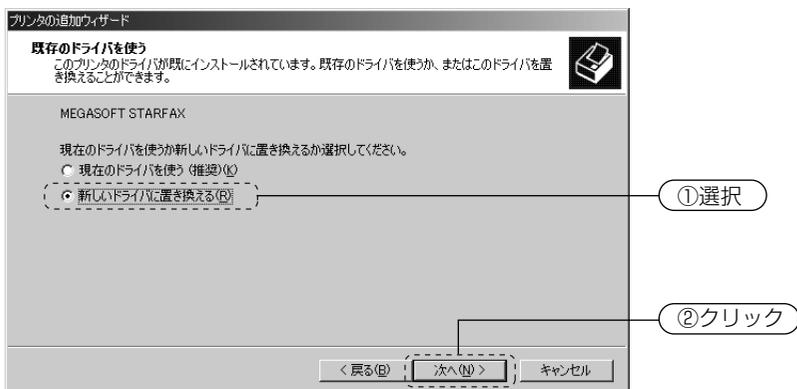
[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認し、 をクリックします。



プリンタドライバがすでにパソコンにインストールさ れている場合は、「既存のドライバを使う」のダイア ログが表示されます。

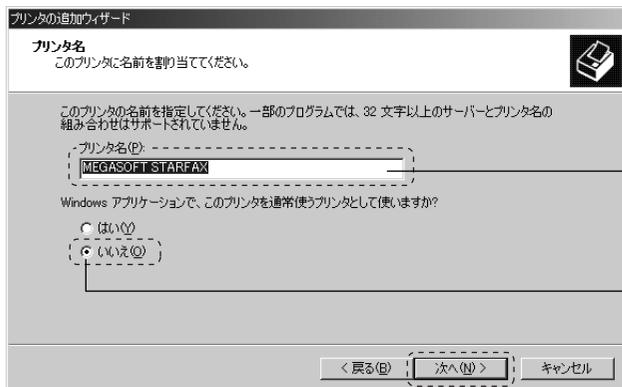


[新しいドライバに置き換える] を選択し、 をクリックします。





プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ(N) >** をクリックします。



①プリンタ名
通常は、表示されているプリンタ名を使用します。

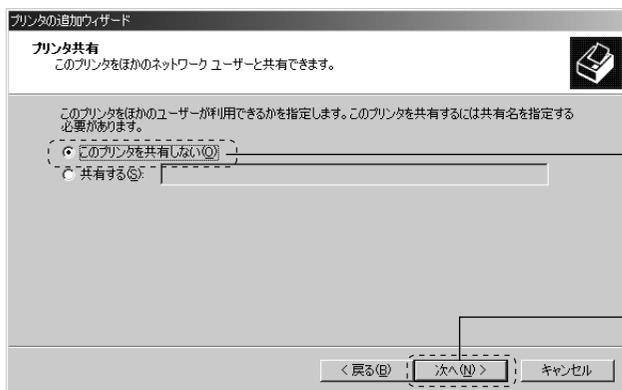
②選択
通常は、[いいえ] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、[はい] を選択します。

③クリック

パソコンがネットワークに接続されている場合は、「プリンタ共有」のダイアログが表示されます。



[このプリンタを共有しない] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



①選択

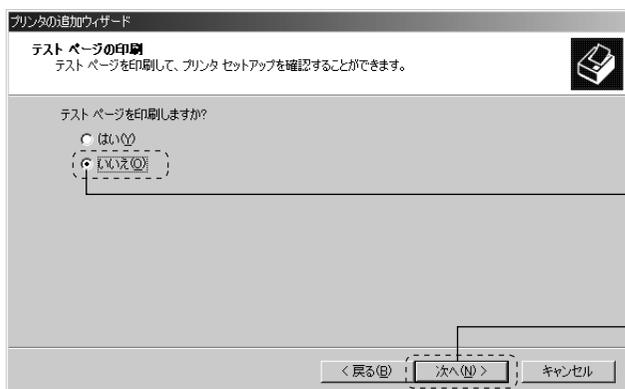
②クリック

トラブルシューティング



テストページの印刷は行わず [いいえ] を選択し、

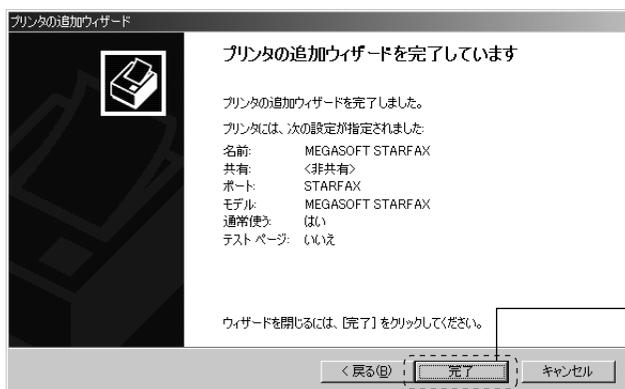
次へ(N) > をクリックします。



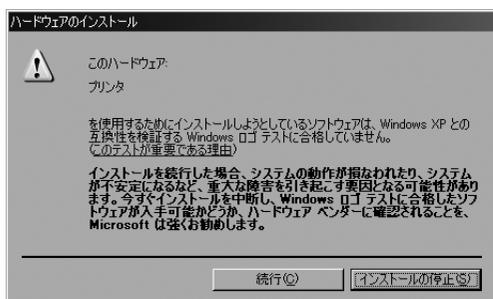
テストページの印刷を行うとエラーになることがあります。



完了 をクリックすると、プリンタドライバのコピーが開始されます。



[完了] をクリックすると [ハードウェアのインストール] というダイアログが表示される場合があります。その場合は、[続行] をクリックしてください。



Windows 2000の場合

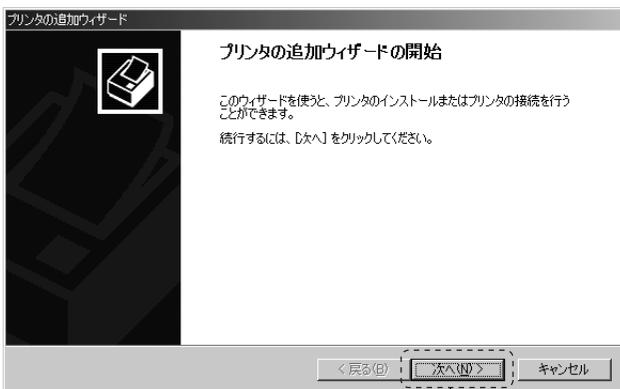
● STARFAX プリンタドライバの登録の開始

STARFAXのインストールCD-ROMをパソコンにセットします。



[マイコンピュータ] — [コントロールパネル] — [プリンタ] を開きます。

[プリンタの追加] をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。



クリック



次へ(N) > をクリックします。



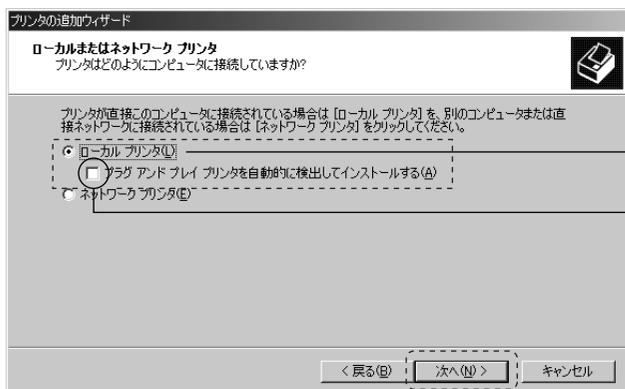
STARFAXのインストール画面が表示されましたら、[終了] をクリックします。

トラブルシューティング

パソコンがネットワークに接続されている場合は、
[ローカルまたはネットワークプリンタ] のダイアログ
が表示されます。



- ① [ローカルプリンタ] を選択します。
- ② [プラグアンドプレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックをはずします。
- ③ **次へ(N) >** をクリックします。



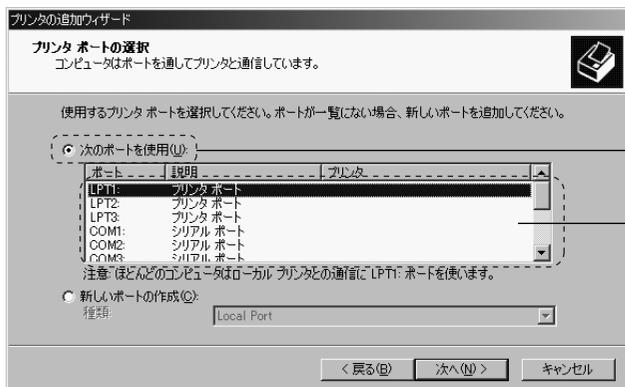
① 選択

② クリックしてチェックを
はずします

③ クリック



[次のポートを使用] を選択して、ポート一覧内に
[STARFAX] があるか確認します。



① 選択

② 確認



すでにポート一覧に [STARFAX] ポートがある場合は、155 ページをご覧ください。

一覧内に [STARFAX] がない場合は、新しく STARFAX 用ポートを作成し、出力先として指定します。



- ① [新しいポートの作成] を選択します。
- ② [種類] の中から [Local Port] を選択します。
- ③ [次へ(N) >] をクリックします。

プリンタの追加ウィザード

プリンタ ポートの選択
コンピュータはポートを通してプリンタと通信しています。

使用するプリンタポートを選択してください。ポートが一覧にない場合、新しいポートを追加してください。

次のポートを使用(O):

ポート	説明	プリンタ
LPT1:	プリンタポート	
LPT2:	プリンタポート	
LPT3:	プリンタポート	
COM1:	シリアルポート	
COM2:	シリアルポート	
COM3:	シリアルポート	

注意:ほとんどのコンピュータはローカルプリンタとの通信に LPT1: ポートを使います。

新しいポートの作成(N):

種類: [Local Port]

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

② [Local Port] を選択

③ クリック

① 選択

ポート名

ポート名を入力してください(E)

OK キャンセル



ポート名に [STARFAX] と入力し [OK] をクリックします。

ポート名

ポート名を入力してください(E)

STARFAX OK キャンセル

トラブルシューティング



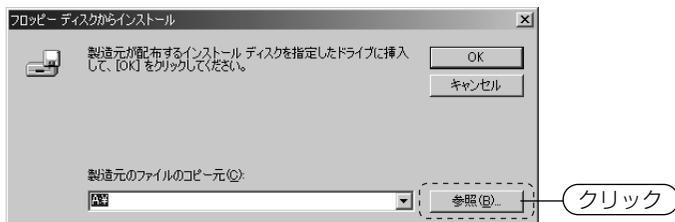
操作

ディスク使用(D)... をクリックします。



操作

参照(R)... をクリックします。



操作

[マイコンピュータ] — [CD-ROM (SFPERSONAL_500)] — [WIN2000] の順に開きます。
「OEMSETUP.INF」を選択して **開(O)** をクリックします。



操作

「フロッピーディスクからのインストール」画面に戻りましたら **OK** をクリックします。



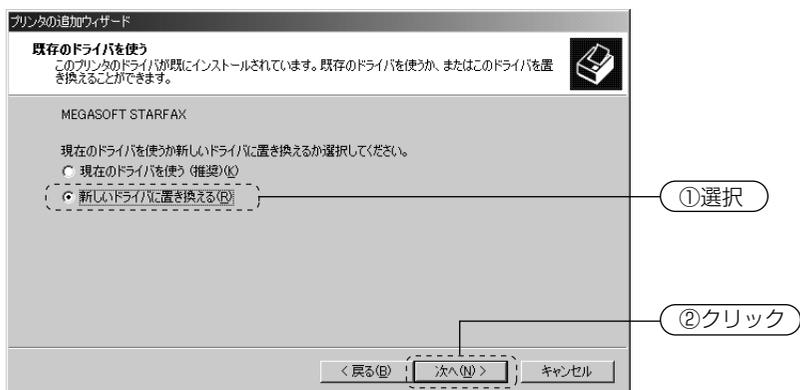
[MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認し、**次へ(N) >** をクリックします。



プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、「既存のドライバを使う」のダイアログが表示されます。



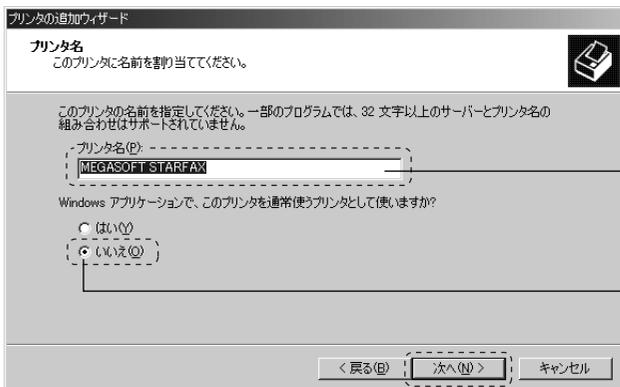
[新しいドライバに置き換える] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



トラブルシューティング



プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ(N) >** をクリックします。



①プリンタ名
通常は、表示されているプリンタ名を使用します。

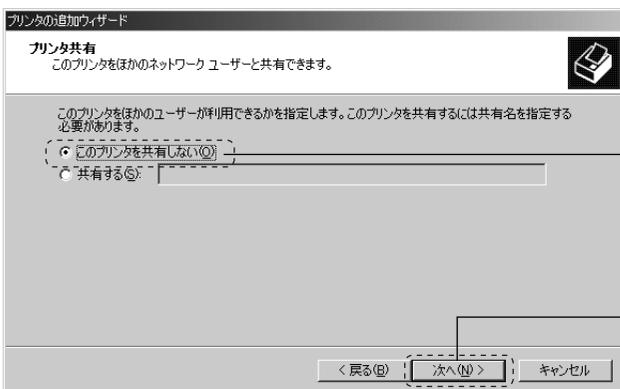
②選択
通常は、[いいえ] を選択します。プリンタから印刷するよりも、FAX送信を行う頻度が多い場合は、[はい] を選択します。

③クリック

パソコンがネットワークに接続されている場合は、「プリンタ共有」のダイアログが表示されます。



[このプリンタを共有しない] を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



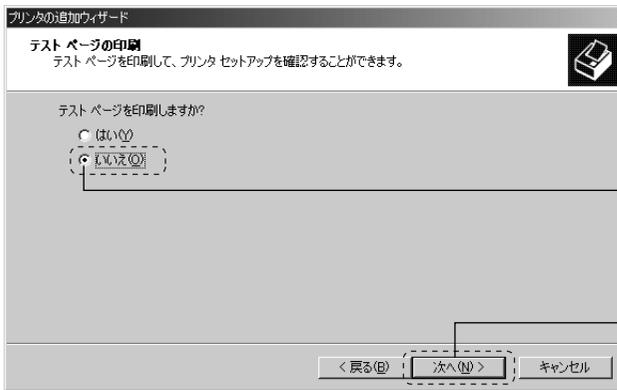
①選択

②クリック



テストページの印刷は行わず [いいえ] を選択し、

次へ(N) > をクリックします。



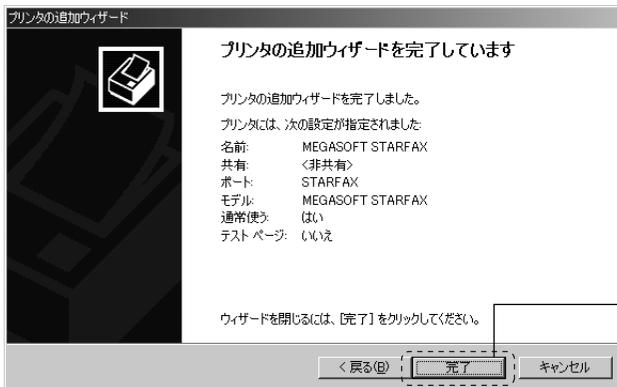
テストページの印刷を行うとエラーになることがあります。

①選択

②クリック



完了 をクリックすると、プリンタドライバのコピーが開始されます。



[完了] をクリックすると [デジタル署名が見つかりませんでした] というダイアログが表示される場合があります。その場合は、[はい] をクリックしてください。

クリック

Windows MEの場合

● STARFAXプリンタドライバの登録の開始

STARFAXのインストールCD-ROMをパソコンにセットします。



STARFAXのインストール画面が表示されましたら、[終了]をクリックします。



[マイコンピュータ] — [コントロールパネル] — [プリンタ] を開きます。

[プリンタの追加] をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。

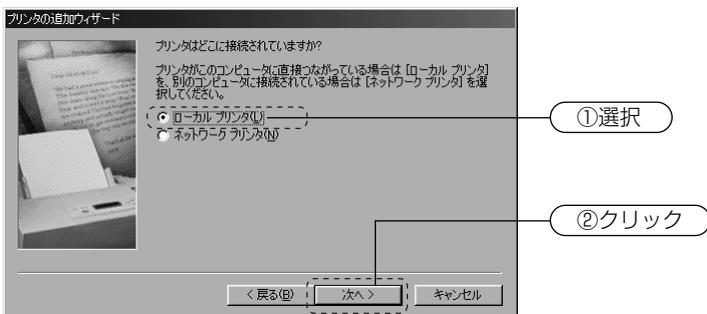


[次へ>] をクリックします。

パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



[ローカルプリンタ] を選択し、[次へ>] をクリックします。





操作

ディスク使用(D)... をクリックします。

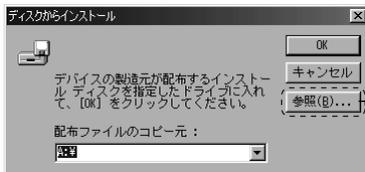


クリック



操作

参照(B)... をクリックします。

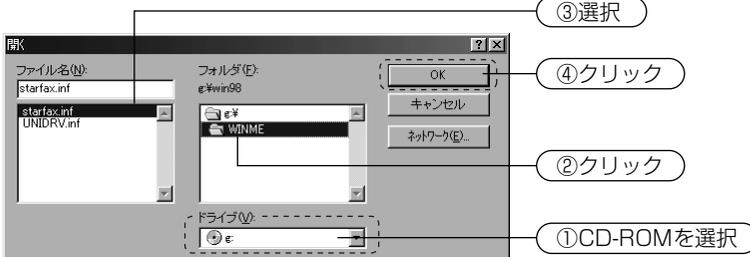


クリック



操作

- ① [ドライブ] からCD-ROMを選択します。
- ② [フォルダ] から「WINME」をクリックします。
- ③ 「STARFAX.INF」が選択されているのを確認します。
- ④ OK をクリックします。



③選択

④クリック

②クリック

①CD-ROMを選択



操作

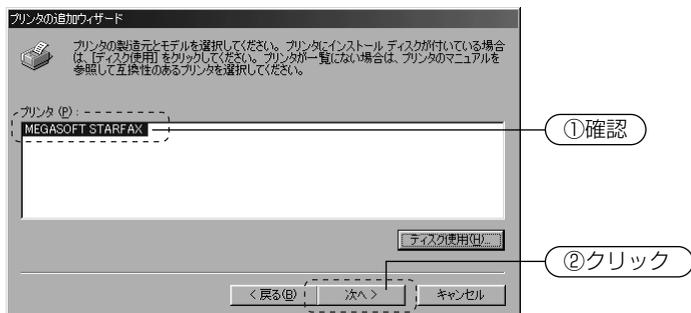
「ディスクからのインストール」画面に戻りましたら OK をクリックします。

トラブルシューティング



① [MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認します。

② [次へ >] をクリックします。



プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。

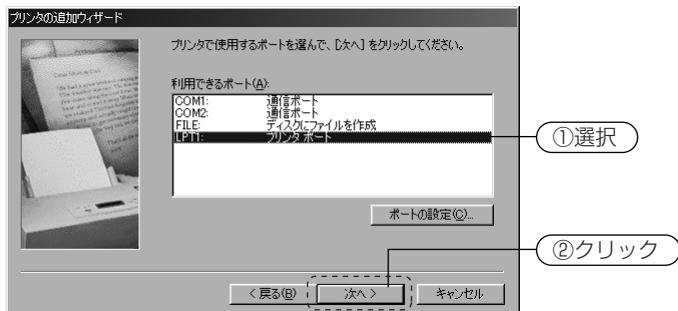


[新しいドライバに置き換える] を選択し、[次へ >] をクリックします。

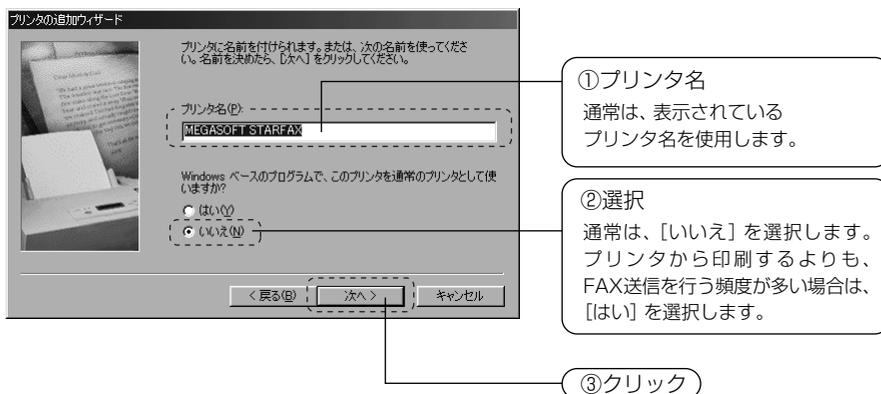




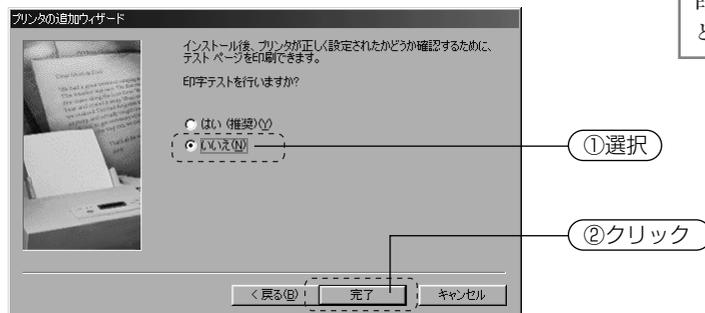
「利用できるポート」で [LPT:プリンタポート] を選択し、**次へ >** をクリックします。



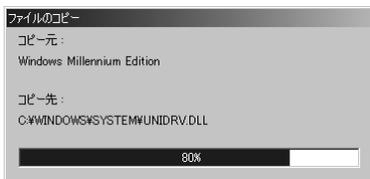
プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ >** をクリックします。

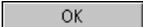


印字テストは行わず [いいえ] を選択し、**完了** をクリックします。



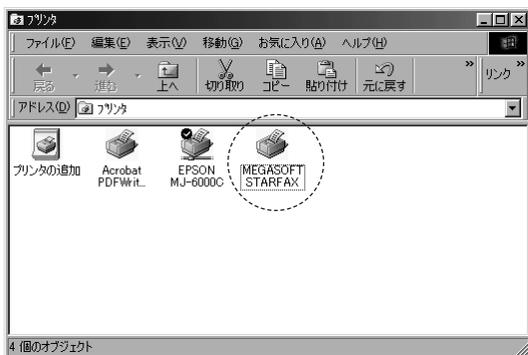
印字テストを行うとエラーになることがあります。



プリンタドライバのコピーが開始されます。
パソコンにコピー中、STARFAXが必要とする
Windows システムのファイルが不足している場合、
Windows ME CD-ROM を要求することがあります。
パソコンの CD-ROM ドライブに挿入し、
 をクリックしてください。



インストールが完了すると、[マイコンピュータ] –
[コントロールパネル] – [プリンタ] に STARFAX
プリンタドライバが追加されます。



Windows 98の場合

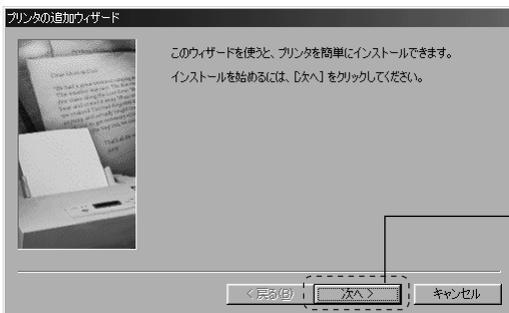
● STARFAX プリンタドライバの登録の開始

STARFAX のインストールCD-ROM をパソコンにセットします。



[マイコンピュータ] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を開きます。

[プリンタの追加] をクリックし、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。

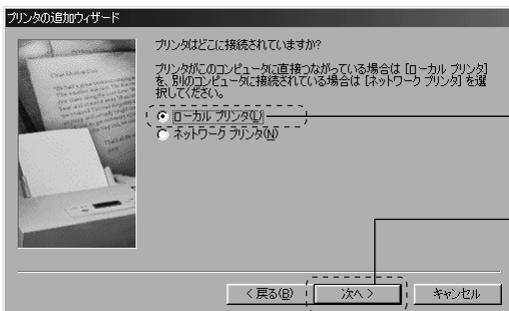


[次へ>] をクリックします。

パソコンがネットワークに接続されている場合は、次のダイアログが表示されます。



[ローカルプリンタ] を選択し、[次へ>] をクリックします。



STARFAX のインストール画面が表示されましたら、[終了] をクリックします。



Windows98 のインストールCD-ROM が、必要な場合がありますので、あらかじめご用意ください。

トラブルシューティング



操作

「ディスク使用(D)...」をクリックします。

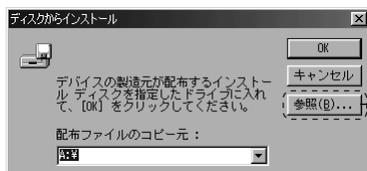


クリック



操作

「参照(B)...」をクリックします。

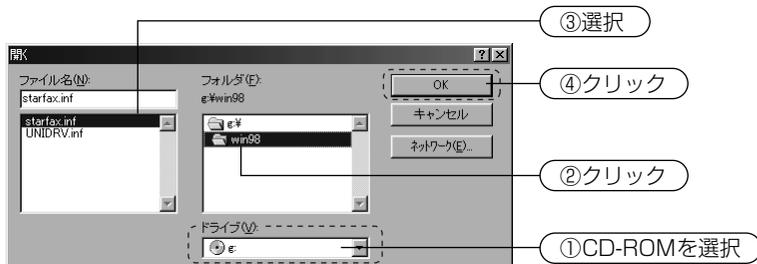


クリック



操作

- ① [ドライブ] からCD-ROMを選択します。
- ② [フォルダ] から「WIN98」をクリックします。
- ③ 「STARFAX.INF」が選択されているのを確認します。
- ④ 「OK」をクリックします。



③選択

④クリック

②クリック

①CD-ROMを選択



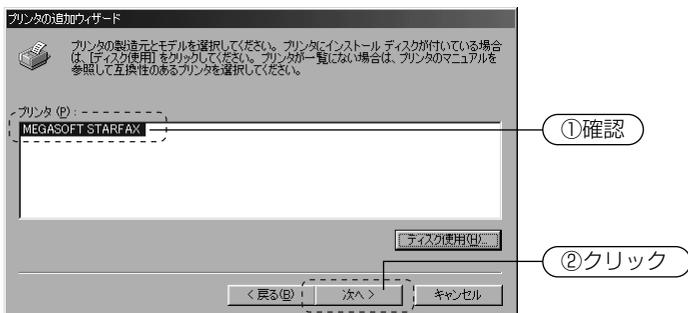
操作

「ディスクからのインストール」画面に戻りましたら「OK」をクリックします。



① [MEGASOFT STARFAX] が選択されていることを確認します。

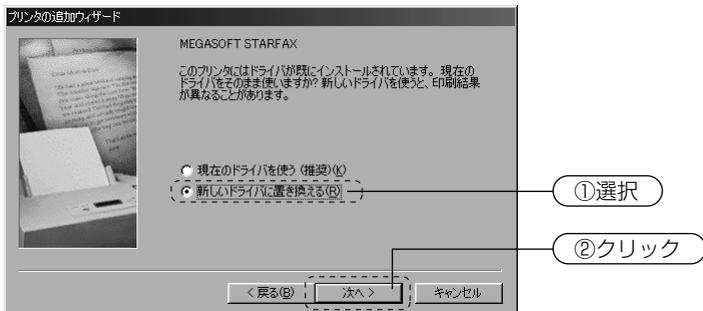
② [次へ>] をクリックします。



プリンタドライバがすでにパソコンにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。



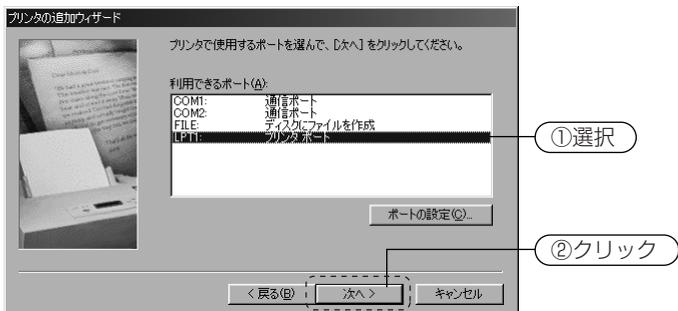
[新しいドライバに置き換える] を選択し、[次へ>] をクリックします。



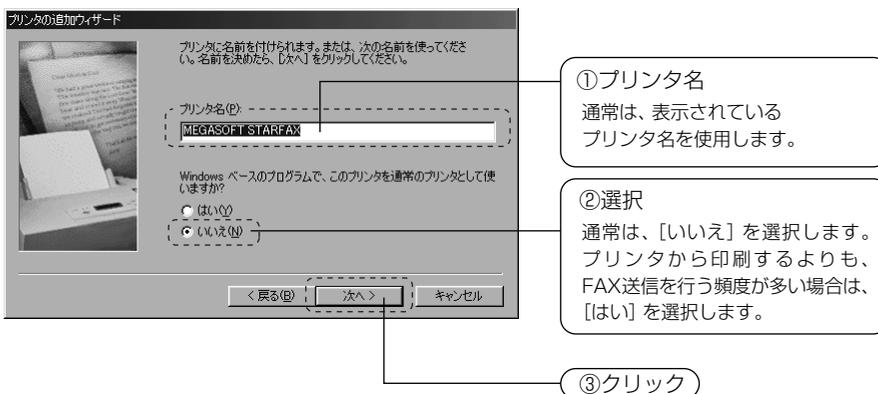
トラブルシューティング



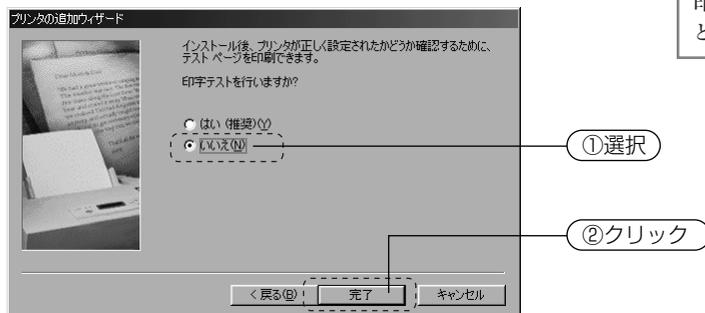
「利用できるポート」で [LPT:プリンタポート] を選択し、**次へ >** をクリックします。



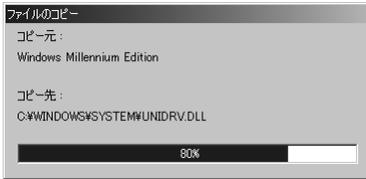
プリンタドライバ名と通常使用するプリンタを設定し、**次へ >** をクリックします。



印字テストは行わず [いいえ] を選択し、**完了** をクリックします。



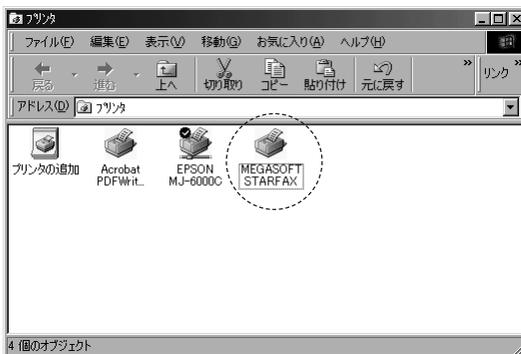
注意
印字テストを行うとエラーになることがあります。



プリンタドライバのコピーが開始されます。
 パソコンにコピー中、STARFAXが必要とする
 Windows システムのファイルが不足している場合、
 Windows 98のCD-ROMを要求してくることがあり
 ます。パソコンのCD-ROMドライブに挿入
 し、 **OK** をクリックしてください。



インストールが完了すると、[マイコンピュータ] –
 [コントロールパネル] – [プリンタ] にSTARFAX
 プリンタドライバが追加されます。



メッセージリスト

STARFAXステーションや送信ログ、受信ログに表示される主なメッセージのリストです。

番号	メッセージ
	正常に通信が終了しました
	ダイヤルします
18	電話番号が異常です
19	登録されている発信元電話番号が異常です
48	相手機がファインモードを持っていません
126	通信処理中に例外エラー（126）が発生しました
127	処理を中断しました。次の操作を受け付け可能です
128	通信処理中に例外エラー（128）が発生しました
134	発信音を検出できません
136	ダイヤル前に呼出音を検出しました
161	アプリケーションからの要求または応答がありません
177	DIS又はDTC受信できませんでした
178	TCF送出後の応答がありません
179	TCF送出後無効な応答を受信しました
180	相手機がTCFを受け付けません
181	メッセージ送出後の応答がありません
182	メッセージ送出後無効な応答を受信した
183	電話接続後の継続ができなかった
184	T1がタイムアップしました
185	T2がタイムアップしました
186	無効な命令を受信した
187	通信処理を通信中断要求により中断した
188	相手機がオペレータの介在を要求してきた
189	度重なるエラーにより送信を諦めました
190	度重なるエラーで相手機が送信を諦めました
193	データ信号速度が違います（当方V.29 相手V.27）
194	データ信号速度が違います（当方V.27 相手V.29）
195	相手機が受信指定されていない
196	相手機が送信指定されていない
197	バイナリデータ転送の機能が相手機にありません
198	相手機はV.29のみ使用可能です
199	メッセージの送信でデータ転送が間に合いませんでした

番号	メッセージ
200	メッセージの受信でデータ転送が間に合いませんでした
201	メッセージの受信の1走査線当りのデータが確定しませんでした
202	メッセージの受信でメッセージキャリアが消滅しました
203	メッセージデータの受信を開始できませんでした
209	応答信号受信中にフレームの受信ができず信号キャリアが消えませんが
210	応答信号受信中にデータエラーがあり信号キャリアが消えませんが
211	応答信号受信中にDCN信号を受信した
212	命令信号受信中にフレームの受信ができず信号キャリアが消えませんが
213	命令信号受信中にデータエラーがあり信号キャリアが消えませんが
214	命令信号受信中にDCN信号を受信しました
215	TCF送信中に送信抜けエラーがありました
216	TCF受信中に受信抜けエラーがありました
217	TCF受信で受信データにエラーが多い
218	不要な受信キャリアがあり信号を送出できません
219	CTC送出後の応答がありません
220	CTC送出後無効な応答を受信しました
221	RR送出後の応答がありません
222	RR送出後無効な応答を受信しました
223	T5がタイムアップしました
224	EOR送出後の応答がない
225	EOR送出後無効な応答を受信した
226	RNR送出後無効な応答を受信した
248	相手ファクシミリからの応答がありません
249	TCF送出後FTTばかり受信しました
252	ダイヤルできませんでした
253	モデムとの通信ができません
254	相手先が電話に出ません

番号	メッセージ
255	話し中です
	通信エラーが発生しました。エラーコード×××
	COMポートを使用できません
	サポートされていないパソコン-モデム間の通信速度です
	モデムが見つかりません
	CLASS1 FAXモデムが接続されていません
	CLASS2 FAXモデムが接続されていません
	このPCでは使用できないモデムです
	モデムの反応がありません
	モデムに無効なコマンドを使用しました
	FAX端子がありません
	無効なドライブ名が指定されました
	送信する原稿ファイルが見つかりません
	指定されたフォルダが見つかりません
	ファイルを作成できません
	ファイルを開けません
	ドライブの準備が出来ていません
	ディスクの空き容量が足りません
	ファイルを読み込めません
	ファイルを書き込めません
	ファイルにデータがありません
	ディスクが書き込み禁止です
	サポートできないファイル形式です
	FAXファイルではありません
	TIFFファイルではありません
	TIFFファイルのタグ読み込みに失敗しました
	サポートできない形式のTIFFファイルです
	バージョンの古い共通ライブラリ (SFWDRV32.DLL) が存在します
	共通ライブラリ (SFWDRV32.DLL) でエラーが発生しました
	タイマー不足で処理が続行できません
	メモリ不足で処理が続行できません

STARFAXのサポート

ユーザーサポートを利用する

172
ページ

ユーザー登録の変更について

176
ページ

ユーザーサポートを利用する

ユーザーサポートをお受けになる前に… ユーザー登録を行ってください。

メガソフト株式会社ユーザーサポート係では、ユーザー登録をしていただいた正規ユーザー様に限り、ユーザーサポートサービスをご提供しております。

本書に巻末のユーザー登録ハガキに必要事項をご記入の上、弊社までご返送いただくか、弊社ホームページでオンライン登録を行ってください。

オンライン登録はメガソフトホームページ

<http://www.megasoft.co.jp/entry/index.html>

で受け付けています。

ユーザー登録の画面からの通信は、SSLを使用し暗号化しております。

ご住所やお名前などの内容の漏洩の危険はありません。

●メガソフトホームページもご覧ください

弊社では、インターネットのホームページでSTARFAXの最新のサポート情報、STARFAXの最新版のシステムのアップデートプログラムや各種情報をご提供しております。

<http://www.megasoft.co.jp/>

なお、郵送でのアップデート版のご提供は有償となります。悪しからずご了承ください。

ホームページからのお問い合わせについて

STARFAXユーザーズページのサポート情報コーナーで「トラブルシューティング」と「テクニカルインフォメーション」を公開しています。また、公開されている情報では解決しなかった場合、情報一覧の画面からメールサポートの受け付けもしています。

STARFAXユーザーズページのURL

<http://www.megasoft.co.jp/starfax/index.html>

お電話でのお問い合わせについて

■必要な事項

1. シリアル番号
巻末のユーザー登録はがきまたは、半券に記載されている番号
2. 使用環境
パソコンの機種、Windowsのバージョン、周辺機器、使用ソフトウェア、メモリ搭載量など
3. 購入年月日・購入店
4. お問い合わせの内容
再現できる内容をご説明ください。
エラーメッセージなどが出る場合は、そのメッセージも正確にお知らせください。
5. STARFAXと同時にご使用のアプリケーション類の状況
常駐して動作するプログラムをはじめ、その他、併用されているアプリケーションについてお知らせください。
6. 現象が発生したときにお使いのハードウェアなどの環境
モデムの名前、接続形態、回線の状況（トーンとパルス）、周辺機器など、現象の発生したときの環境をご連絡ください。

※必要な事項の内容の正確な情報提供のお願い

FAXの通信はミリ秒の単位で、相手との信号をやりとりします。

ですから、FAXの通信中にエラーが発生した場合、ソフトウェアやハードウェア環境に影響を受ける場合が少なからずあります。情報が多いほど、原因を特定しやすく、また対処を見つけやすくなります。

ご協力のほどをお願いいたします。

STARFAXサポート係

06-6386-2043

祝祭日を除く 月～金 9:30～11:45/13:00～17:00

FAX・郵送でのお問い合わせについて

ご依頼の場合は、次ページの「調査依頼書」をコピーし、お問い合わせ事項をご記入の後、お送りください。折り返しご連絡いたします。

なお、お問い合わせの内容によりましては、調査などのために回答に時間がかかる場合がございます。あしからずご了承ください。

調査依頼書

記入年月日	____年__月__日	●	記入年月日
ご購入年月日	____年__月__日	●	ご購入年月日
ご連絡先住所	〒	●	ご連絡先住所
会社名・所属		●	会社名・所属
ご連絡先氏名		●	ご連絡先氏名
ご連絡先電話・FAX番号	TEL: _____ FAX: _____	●	ご連絡先電話・FAX番号
ご連絡先メールアドレス		●	ご連絡先メールアドレス
平日昼間に連絡のとれる電話・FAX番号	TEL: _____ FAX: _____	●	平日昼間に連絡のとれる電話・FAX番号
製品名	STARFAX(パーソナル)		
シリアルナンバー	3160 <small>(ユーザー登録はがきまたは、平券に記載されているシリアルナンバーを記入してください。)</small>	●	ユーザー登録ハガキに記載されています。
リリースバージョン	<small>(STARFAX バージョン情報を実行して確認してください。)</small>	●	リリースバージョン
お問い合わせの内容をお選びください。	<input type="checkbox"/> 操作方法がわからない <input type="checkbox"/> インストールや環境設定がわからない <input type="checkbox"/> 送信ができない <input type="checkbox"/> 受信ができない <input type="checkbox"/> その他	●	お問い合わせの内容
いつから症状が出ていますか？	<input type="checkbox"/> 最初から <input type="checkbox"/> パソコンを変更した <input type="checkbox"/> OSを変更した <input type="checkbox"/> 利用回線を変更した <input type="checkbox"/> 他のソフトをインストールした <input type="checkbox"/> ハードウェアを変更した <input type="checkbox"/> その他	●	症状が出た原因と思われるもの
ご利用の電話回線	<input type="checkbox"/> 一般電話回線 <input type="checkbox"/> ADSL <input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> PHS <input type="checkbox"/> ビジネスフォン	●	ご利用の電話回線の環境
ご利用のOS (Windows)		●	ご利用のWindowsの種類
ご利用のFAXモデム		●	ご使用のFAXモデム
お問い合わせ内容なるべく具体的に(再現できるよう)ご記入ください。			
		●	ネットワーク構成図 再現出来る内容を具体的にご記入ください。 「動きません」もしくは、それに類する程度の情報ですと、再度、お問い合わせをこちらからすることとなり、迅速な解決につながりませんので、ご協力のほどをお願いいたします。 エラーメッセージなどが出る場合は、そのメッセージも正確にお知らせください。

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル
 メガソフト株式会社 STARFAXサポート係
 FAX : 06-6386-8894

調 査 依 頼 書

記入年月日	_____年____月____日		
ご購入年月日	_____年____月____日		
ご連絡先住所	〒		
会社名・所属			
ご連絡先氏名			
ご連絡先電話・FAX番号	TEL:	FAX:	
ご連絡先メールアドレス			
平日昼間に連絡のとれる電話・FAX番号	TEL:	FAX:	
製品名	STARFAXパーソナル		
シリアルナンバー	3160	<small>(ユーザー登録はがきまたは、半券に記載されているシリアルナンバーを記入してください。)</small>	
リリースバージョン	<small>(STARFAX バージョン情報を実行して確認してください)</small>		
お問い合わせの内容をお選びください。	<input type="checkbox"/> 操作方法がわからない <input type="checkbox"/> インストールや環境設定がわからない <input type="checkbox"/> 送信ができない <input type="checkbox"/> 受信ができない <input type="checkbox"/> その他		
いつから症状が出ていますか？	<input type="checkbox"/> 最初から <input type="checkbox"/> パソコンを変更した <input type="checkbox"/> OSを変更した <input type="checkbox"/> 利用回線を変更した <input type="checkbox"/> 他のソフトをインストールした <input type="checkbox"/> ハードウェアを変更した <input type="checkbox"/> その他		
ご利用の電話回線	<input type="checkbox"/> 一般電話回線 <input type="checkbox"/> ADSL <input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> PHS <input type="checkbox"/> ビジネスフォン		
ご利用のOS (Windows)			
ご利用のFAXモデム			
お問い合わせ内容:なるべく具体的に(再現できるよう)ご記入ください。	ネットワーク構成略図		

FAX.06-6386-8894

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル
メガソフト株式会社 STARFAX ユーザーサポート係 行

ユーザー登録の変更について

ユーザー登録の内容（住所や電話番号）に変更があった場合には、下記あてにご連絡をお願いいたします。

ご連絡の無い場合、ユーザーサポートやバージョンアップなどがご利用いただけなくなる場合があります。

なお、ご登録の変更は、お電話ではお受けできません。かならず次ページの「ユーザー登録変更届」をコピーして、必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送でお送りいただくか、弊社ホームページでオンライン登録変更を行ってください。



個人登録から、法人登録に変更したり、法人登録から、個人登録への変更はできません。また、販売・譲渡はできません。

■連絡先■

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル
メガソフト株式会社 STARFAXユーザー登録係
FAX : 06-6386-2123

■ホームページからのユーザー登録■

<http://www.megasoft.co.jp/entry/index.html>

ユーザー登録変更届

製品名	STARFAX/パーソナル		
シリアルナンバー	3160	(ユーザー登録はがきまたは、半券に記載されているシリアルナンバーを記入してください。)	
新	住所	〒	
	会社名		
	部署名		
	担当者名		
	連絡先	TEL:	FAX:
	メールアドレス		
旧	住所	〒	
	会社名		
	部署名		
	担当者名		
	連絡先	TEL:	FAX:
	メールアドレス		
備考			

● 個人登録から法人登録に変更したり、法人登録から個人登録への変更はできません。
● 販売・譲渡はできません。

FAX.06-6386-2123

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル
メガソフト株式会社 STARFAX ユーザー登録係 行

STARFAXパーソナル ユーザーズマニュアル

発行日：2003年5月 初版

発行者：メガソフト株式会社

〒564-0053

大阪府吹田市江の木町1-38 西谷東急ビル

MEGASOFT®